

令和4年度

# むつ市教育委員会の事務の 点検及び評価に関する報告書

－ 令和3年度の実績 －



むつ市教育委員会



## まえがき

おつ市教育委員会では、平成28年11月に「おつ市教育大綱」を策定し、【1 学力の向上】、【2 体育・健康教育の充実】、【3 夢を育む教育】、【4 地域とともにある学校】の4つの柱を機軸に据えて、おつ市の子供たちの未来のために各種教育施策の充実に努めております。

こうした取組は、様々な機会を通じて市民の皆様にお知らせしてきておりますが、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされております。

おつ市教育委員会では、今後の効果的な教育行政の推進及び市民への説明責任を果たすことを目的に、外部の学識経験者などから意見を伺いながら、実施事業の内容を充実させ、着実におつ市の教育を向上させることができるよう事務の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

市民の皆様には、この報告書を御覧いただき、おつ市の教育とおつ市教育委員会の取組について、御理解を深めていただければ幸いです。

おつ市教育委員会では、今後も、おつ市教育大綱事業実施計画に基づき教育施策の推進に努めてまいりますので、市民の皆様の御支援と御協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

令和4年8月

おつ市教育委員会

# 目 次

◇点検・評価に当たって	1
◇むつ市教育大綱の概要	3
◇令和3年度 むつ市教育大綱事業実施計画の概要	5
◇むつ市教育大綱における重点項目ごとの取組への評価	7
◇具体的な取組の点検・評価	
<b>1 総務課</b>	
(1) 安全・安心で夢を育む教育環境の整備	8
(2) 教職員の適正・適切な配置	1 2
(3) 通学区域制度の適切な運用及び再編	1 2
(4) 学校規模の適正化に係る研究・検討	1 3
(5) 就学困難な児童生徒等に係る就学援助	1 4
(6) コミュニティ・スクール制度の推進	1 6
(7) 奨学金制度の充実	1 6
(8) 学校保健の充実	1 8
(9) 学校給食の充実	2 2
<b>2 生涯学習課</b>	
(1) 生涯学習の推進	2 5
(2) 学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進	2 7
(3) 社会教育施設の機能充実	2 8
(4) 芸術・文化活動の奨励と振興	3 0
(5) 郷土の文化遺産の保護・保存と活用	3 1
<b>3 学校教育課</b>	
(1) 小中一貫教育の充実	3 9
(2) 質の高い教育課程の創造	4 1
(3) 学力向上対策の充実	4 2
(4) 生徒指導の充実と関係機関との連携強化	4 4
(5) 特別支援教育体制の充実	4 6
(6) 教育相談活動の充実	4 7
(7) 国際化に対応する教育と、郷土に対する 愛着と誇りを涵養する教育の推進	4 9
(8) 教育研修センター講座等の充実	5 1
(9) 弘前大学との連携強化	5 2
(10) キャリア教育の充実	5 3

#### 4 公民館(中央、川内、大畑、脇野沢)

(1) 公民館の適正管理と運営の充実	5 6
(2) 公民館事業の推進	5 8
(3) 社会教育関係団体等の育成支援	6 2
(4) 生涯学習関連施設等との連携促進	6 5
(5) 視聴覚ライブラリーの活用	6 6

#### 5 図書館

(1) 図書館施設の適正管理	6 7
(2) 資料の収集・保存と活用	6 8
(3) 図書館サービス活動の充実	7 0
(4) 子どもの読書活動の推進	7 3
(5) 人と本をつなげるまちづくり事業の推進	7 5

◇点検・評価対象事務事業一覧	7 7
----------------	-----

## ◇ 点検・評価に当たって

### 1 経緯

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され（平成20年4月施行）、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。

この法律改正を受け、むつ市教育委員会では、今後の効果的な教育行政の推進及び市民への説明責任を果たすことを目的として、教育委員会の事務の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

### 2 点検・評価の方法

#### (1) むつ市教育施策の方針

むつ市教育委員会では、「むつ市教育大綱事業実施計画」を定めるとともに、毎年度、各課（館）における重点項目を定め、具体的な取組（事業）を実施しています。

#### (2) 点検・評価の対象

令和4年度の点検・評価に当たっては、各重点項目を推進するために令和3年度に実施した具体的な取組を点検対象として、その点検結果を踏まえ、事業ごとに評価を行います。

#### (3) 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため「点検・評価アドバイザー会議」を開催し、学識経験者等からなる「点検・評価アドバイザー」に参集いただいた上で、その実施方法や内容について助言・指導をいただきました。

### 3 報告書の構成

(1) 教育大綱の基本方針ごとの評価は、各事業の成果や評価を踏まえて評価をしています。

#### (2) 全体構成

報告書は〔1 総務課〕、〔2 生涯学習課〕、〔3 学校教育課〕、〔4 公民館〕、〔5 図書館〕の施策ごとに構成しています。

#### (3) 重点項目の点検（令和3年度の具体的な取組状況）

重点項目を推進するための具体的な取組状況について、個々の事業が適切に実施されているかどうか、その概要・計画・実績を点検しています。

#### (4) 具体的な取り組み(事業)の評価（点検結果を踏まえた評価）

具体的な取組状況の点検結果を踏まえ、評価・課題等を確認しています。

～ 点検・評価アドバイザー会議の概要 ～

◆令和4年度点検・評価アドバイザー

氏名	団体・役職
大見竜人	むつ市連合PTA会長
金澤寿々子	元むつ市教育部長
祐川秀永	元苫生小学校長

(50音順、敬称略)

◆点検・評価アドバイザー会議の開催状況

- ・第1回点検・評価アドバイザー会議（令和4年7月27日）  
〈内容〉
  - ・教育委員会の事務の点検及び評価の概要について
  - ・点検及び評価の実施方法に関する意見について
  - ・質疑等に対する回答担当課：総務課、生涯学習課、学校教育課、公民館、図書館

◆アドバイザーからの主な意見

〈点検・評価の実施、報告書の作成に反映させた主な意見〉

- ・報告書空欄に、文字ばかりではなく、写真を取り入れました。
- ・文章の書き出しを1字下げること、統一しました。
- ・点検・評価対象一覧の文字を大きくする等、見やすくしました。

〈次年度以降、引き続き検討することとした主な意見〉

- ・評価について、何に基づいて評価しているのか分かりづらい。評価の観点に基づいた表記をしてほしい。
  - ・因果関係を説明してほしい。こういうことがあってこうなったという説明をしてほしい。
- その他、教育行政全般にわたり、適切な指導・助言をいただいた。

---

参考

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

- 第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
- 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## ◇むつ市教育大綱の概要

### 1 学力の向上

#### ① 明確な目標設定

「むつ市教育プラン」に具体的な数値目標を定め、P D C Aを着実に実践します。

#### ② 主体的な学習の推進

「主体的・対話的で深い学び」（アクティブラーニング）の視点で多様な学習活動に取り組みます。

#### ③ 教育環境の整備

校舎の長寿命化を図り、施設の維持・整備を進め、全ての子供たちにとって快適な学習環境の整備に努めます。

#### ④ 教職員の資質向上

新たな課題にも適切に対応できる力量を持った教職員が、チームとして子供たちの成長や発達を支援できるよう、学校内外での研修体制の整備・充実に努めます。

#### ⑤ 幼保小連携

幼児教育、義務教育の相互理解を深め、充実した幼児教育につなげていきます。

### 2 体育・健康教育の充実

#### ① 健康な体を育む学校づくり

健康についての正しい知識を身に付けさせ、自ら健康な生活を実践する能力や態度を育てます。

#### ② 安全・防災教育の推進

起こり得る危険を理解し、いかなる状況においても、子供たちが自ら安全に関する情報を正しく判断し、安全に行動できるような資質・能力を育てます。

#### ③ スポーツ環境整備

子供たちがスポーツに親しむ環境を充実させるとともに、スポーツを通じて子供たちの夢を育てていきます。

### 3 夢を育む教育

#### ① 学力の保障を通じた生きる力の育成

子供一人一人の良さや可能性を引き出す教育の充実に努め、基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力、学んだことを自分の人生や社会に生かそうとする豊かな人間性を育てていきます。

#### ② キャリア教育の充実

自分の生き方について自覚を深め、急速な社会の変化に適切に対応するため、キャリア教育のさらなる充実に努めます。

#### ③ 特別支援教育の充実

個々の状態に応じたきめ細かい指導・支援を更に充実させるとともに、進路に関する必要な情報を提供するなど教育相談体制の充実に努めていきます。

#### ④ 豊かな心の育成

他者への思いやりなど豊かな心の育成に努めるとともに、子供たちがいじめについて自ら考える機会を提供し、学校でのいじめ防止に向けて不断の取組を続けます。



#### 4 地域とともにある学校

##### ① 家庭・地域との連携強化

家庭や地域からの声を学校経営に反映させるよう努め、「開かれた学校づくり」「地域とともにある学校」を目指していきます。

##### ② 多様な学習機会の提供

変化する市民のニーズを的確に捉えた上で実施事業を整理し、市民が生涯を通じて学んでいくために、真に必要とされる学習機会の提供に努めていきます。

##### ③ 廃校校舎の利活用

「むつ市公共施設等総合管理計画」の趣旨に留意しながら、その利活用と解体を計画的に進めていきます。

##### ④ ふるさとむつ市への愛着と誇りを育む教育

文化財、伝統芸能などの地域資源について学び、知識を得ることができるよう学習機会の提供を推進します。

## ◇令和3年度 むつ市教育大綱事業実施計画の概要

この「むつ市教育大綱事業実施計画」は、「むつ市教育大綱」に示した理念を実現するために、大綱の趣旨に沿って教育委員会で実施する事業の具体的な実施計画となります。また、子供たちを育む家庭、学校、地域社会に期待される役割を明らかにし、事業を計画・実施するための基本的な指針としていきます。

計画には、各所属において毎年度の予算に基づき実施する事業を明記し、当該年度において着実に実施するとともに、実施した事業について毎年度検証及び評価を行い、子供たちにとってよりよい施策となるよう努めるものとします。

### 【各所属における重点項目】

#### 1 総務課

子供が豊かな心をもち、自ら学び、自ら考える力など「生きる力」を育成するための教育環境の整備を推進する。また、活力ある学校教育を推進するため、教職員の適切な配置を図るとともに、その他教育環境の整備と保健衛生及び学校給食の充実を図る。

- (1) 安全・安心で夢を育む教育環境の整備
- (2) 教職員の適正・適切な配置
- (3) 通学区域制度の適切な運用及び再編
- (4) 学校規模の適正化に係る研究・検討
- (5) 就学困難な児童生徒等に係る就学援助
- (6) コミュニティ・スクール制度の推進
- (7) 奨学金制度の充実
- (8) 学校保健の充実
- (9) 学校給食の充実

#### 2 生涯学習課

市民の皆様が生涯にわたって、自己の能力と可能性を最大限に高め、多くの人々と協働し、生きがいのある充実した生活を送り、豊かで住みよい地域社会をつくり出すことができるように「いつでも・どこでも・だれでも」学習できる環境の充実と、学びを活かした社会参加活動を支援していく。

また、地域に根ざした民俗芸能・伝統文化の継承活動を支援するとともに、自主的かつ主体的な芸術文化活動を推進する。併せて、文化財の保護・保存と活用に努める。

- (1) 生涯学習の推進
- (2) 学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進
- (3) 社会教育施設の機能充実
- (4) 芸術・文化活動の奨励と振興
- (5) 郷土の文化遺産の保護・保存と活用

### 3 学校教育課

知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童生徒を育成するために、校長の強力なリーダーシップのもと、「教育は人づくり」という視点に立ち、全教職員が協働して特色ある学校運営を図り、「郷土に根ざし、生きる力と夢をはぐくむ」学校教育の推進に努める。

- (1) 小中一貫教育の充実
- (2) 質の高い教育課程の創造
- (3) 学力向上対策の充実
- (4) 生徒指導の充実と関係機関との連携強化
- (5) 特別支援教育体制の充実
- (6) 教育相談活動の充実
- (7) 国際化に対応する教育と、郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進
- (8) 教育研修センター講座等の充実
- (9) 弘前大学との連携強化
- (10) キャリア教育の充実

### 4 公民館（中央、川内、大畑、脇野沢）

市民に最も身近な生涯学習施設として、学習活動の支援や豊かな地域づくり・人づくりのため、公民館活動の充実に努める。

- (1) 公民館の適正管理と運営の充実
- (2) 公民館事業の推進
- (3) 社会教育関係団体等の育成支援
- (4) 生涯学習関連施設等との連携促進
- (5) 視聴覚ライブラリーの活用

### 5 図書館

市民の多様化する学習意欲に応えるための施設として、快適な読書環境の保全に努めるとともに、多種多様な資料や情報等の積極的な収集・整備による読書活動の拠点として図書館機能の充実に図り、地域の教育・文化の向上発展に寄与する。

- (1) 図書館施設の適正管理
- (2) 資料の収集・保存と活用
- (3) 図書館サービス活動の充実
- (4) 子どもの読書活動の推進
- (5) 人と本をつなげるまちづくり事業の推進

## ◇むつ市教育大綱における重点目標ごとの取組への評価

### 1 学力の向上

#### ■ 総括評価 ■

学力の向上を図るために、指導の方針と重点を全小・中学校に周知し、組織的な取組を進め、主体的・対話的で深い学びによる授業改善について指導助言しました。

また、全国学力・学習状況調査と青森県学習状況調査の結果に差があることから、安定した学力を示すことが出来るよう、ICT等を活用して学力の向上を図る必要があります。

教育環境の整備においては、GIGAスクール整備が進んだことから、今後は、デジタル教材の充実と活用の推進、教師の資質向上を図っていきます。

### 2 体育・健康教育の充実

#### ■ 総括評価 ■

弘前大学と連携し、健康に関心を持ち、生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培うための授業を実施できました。

しかし、肥満傾向児の出現率が県を上回る傾向が続くなど、健康課題解決に向けた取組を継続する必要があります。

各小中学校では、「体力向上計画」を作成し、計画的に運動習慣の形成に向けた取組を進めており、今後も必要に応じて支援・指導していきます。

### 3 夢を育む教育

#### ■ 総括評価 ■

各調査において、児童生徒が将来の夢や希望を持ち主体的に学習に取り組んだり努力したりしようとする意識が高いことが確認出来ました。

キャリア教育講演会の評価が高かったことから、児童生徒が夢を育み、将来を考えて目標に向かって努力する機会となるよう講演会の一層の充実を図ります。

教育相談を受けた児童生徒の約6割が適応指導教室を利用し、さらにチャレンジ登校をするなど、学校復帰につながったケースもありました。また、通室する中学3年生全員が進路達成しました。

### 4 地域とともにある学校

#### ■ 総括評価 ■

引き続き、学校運営協議会が開催され、定例会の開催にとどまらず、学校評価の際に、委員の皆様からも意見をいただき、次年度の教育課程の編成に生かすなど、学校運営において果たす役割が大きくなりました。

ジオパーク活動をとおして、今までよりも地域のことに興味を持つようになり、実際行ってみたいとする声がありました。

社会教育事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、縮小や中止等で計画どおり実施できなかった事業がありました。

一方、感染対策をしっかりと行い、野外での自然観察や文化賞・文化奨励賞受賞者紹介展は予定どおり実施されました。全体的に利用者数はコロナ前の水準にはなりませんでした。

文化財の活用として、重要文化財である大湊水源地水道施設周辺を案内するボランティアガイド養成で1名のガイド登録がありました。

◇具体的な取組の点検・評価

1 総務課

■ 重点項目の点検（令和3年度の具体的な取組状況） ■

（1）安全・安心で夢を育む教育環境の整備

事業名		スクールバス運行管理事業	
概要	学校統合により徒歩での通学が困難な児童生徒の安全な輸送を行うため、スクールバスの運行を行う。		
計画	<p>○下記地区から通学する児童生徒の安全な輸送を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関根地区（烏沢）</li> <li>・奥内地区（大室平・金谷沢・中野沢）</li> <li>・大湊地区（角違・城ヶ沢）</li> <li>・川内地区（戸沢・蛸崎・湯野川）</li> <li>・大畑地区（小目名・釣屋浜）</li> <li>・脇野沢地区（源藤城・九艘泊・小沢）</li> </ul> <p>※計画人数：190人</p>	実績	<p>○運行時の事故もなく、安全に輸送を行うことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関根地区：28人</li> <li>・奥内地区：18人</li> <li>・大湊地区：24人</li> <li>・川内地区：54人</li> <li>・大畑地区：40人</li> <li>・脇野沢地区：13人</li> </ul> <p>合計：177人</p>
予算	<p>予算総額 93,640,217 円</p> <p>(内訳) バス委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関根地区 8,063,440 円</li> <li>奥内地区 16,192,000 円</li> <li>大湊地区 11,769,912 円</li> <li>川内地区 28,004,020 円</li> <li>大畑地区 15,333,120 円</li> <li>脇野沢地区 14,277,725 円</li> </ul>	決算	<p>決算総額 91,042,952 円</p> <p>(内訳) バス委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関根地区 7,891,400 円</li> <li>奥内地区 16,005,000 円</li> <li>大湊地区 11,515,152 円</li> <li>川内地区 26,400,000 円</li> <li>大畑地区 15,206,400 円</li> <li>脇野沢地区 14,025,000 円</li> </ul>
評価	対象地区に居住している児童生徒のフォローに対しては確実に対応出来ている。しかしながら、対象区域外の児童生徒（例大湊小学校路線における桜木町住民）等の要望には応えられていない状態にある。		
課題	<p>感染症等の対策に向けた各事業者への対応依頼を徹底する。</p> <p>令和4年度から5か年計画で二枚橋地区のスクールバスに係る補助金を申請しているが、当該補助金終了後の財源確保を検討する必要がある。</p>	今後の方針	<p>児童生徒の減少に伴うバス停留所の適正配置について検討する。</p> <p>学校規模の適正化に付随してスクールバスの運行経路等について検討することとする。（脇野沢地区の見直し等）</p>

※参考：スクールバス運行経路

地区	運行区間	地区	運行区間
関根地区	烏沢～川代～関根小	大畑地区	小目名～関根橋～正津川～大畑小～大畑中
奥内地区	大室平～金谷沢～奥内小～近川中 中野沢～近川中～奥内小		釣屋浜～孫次郎間～大畑中
大湊地区	大川目～角違～大湊中～大湊小	脇野沢地区	源藤城～滝山～脇野沢小・中
川内地区	戸沢～田野沢～川内小・中 蛸崎～宿野部～川内小・中 湯野川～安部城～川内小・中		九艘泊～寄浪～脇野沢小・中 小沢～稲平～脇野沢小・中

事業名		まさかり高校医学部進学・特進コース事業	
概要	むつ下北地域の学力向上と医師不足解消を目的として、むつ下北活性化応援プロジェクトである「まさかり高校」の中に医学部進学・特進コースを開設し、医師や国立大学等選抜制の高い大学への進学を希望する高校生を対象に、大手予備校講師を招聘し、難関大学合格に向けた、レベルの高い学習の場を提供する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○予備校講師派遣プログラム（3回） 夏期：60人 冬期：60人 春期：40人</li> <li>○東京大学見学ツアー：20人</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○予備校講師派遣プログラム（2回） 夏期：35人（リモート形式） 冬期：24人（リモート形式） 春期：中止</li> <li>○東京大学見学ツアー：中止</li> <li>○弘前大学医学部ほか国公立大学へ17名合格（講習会等参加経験者・令和3年度卒業生実績）</li> </ul>
予算	予算総額 5,784,000 円 （内訳） 報 償 費 0 円 旅 費 136,000 円 需 用 費 0 円 委 託 料 5,648,000 円	決算	決算総額 992,820 円 （内訳） 報 償 費 0 円 旅 費 0 円 需 用 費 0 円 委 託 料 992,820 円
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、リモート形式による開催となったものの、約96%が実力養成に効果的である、また、約94%が次回の講習会に参加したいとの回答があるなど高い評価を受けている。また、当該事業に参加実績のある令和3年度卒業生の進学実績等を踏まえれば、一定の受講生の支援につながっているものと考えている。		
課題	コロナ禍に対応しながら成果を挙げていくために、リモート形式による講習会の実施などといった新たな対応が求められている。	今後の方針	これまでの継続した取組等により、高等学校の理解と協力は得られているものの、新型コロナウイルス感染症を取り巻く状況を踏まえながら、受験生の学力向上と受験対策に関する意識改革が図られるよう、さらなる事業内容の充実を目指す。

事業名		下北Project（学びのイノベーション）事業	
概要	東京大学との連携を主軸とし、4つのテーマである「学力の向上」、「スポーツの振興」、「起業創業の支援」、「音楽によるまちづくり」の実現という下北の狙いと、「研究成果の社会実装」という東京大学の狙い双方を掛け合わせ、「学びのイノベーション」を起こす。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学力の向上」 ・東大生を当市に派遣してもらい小中学生に対し、勉強法の指導等を実施</li> <li>○「スポーツの振興」 ・サッカー教室、フェンシング教室、野球の指導者講習会の実施</li> <li>○「起業創業の支援」 ・起業創業に関わる者を招いての後援会等の実施</li> <li>○「音楽によるまちづくり事業」 ・東京佼成ウインドオーケストラを講師として、下北ジュニアウインドオーケストラへの指導を実施</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学力の向上」</li> <li>○「起業創業の支援」 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施見送り</li> <li>○「スポーツの振興」 ・元横浜F・マリノス監督の木村浩吉氏を講師に招き、市内児童生徒及び保護者を対象に講習を実施</li> <li>○「音楽によるまちづくり事業」 ・リモートによる指導を計5回実施 ・東京佼成ウインドオーケストラによるオンラインコンサートを実施</li> </ul>
予算	予算総額 22,000,000 円 （内訳） 負 担 金 22,000,000 円	決算	決算総額 22,000,000 円 （内訳） 負 担 金 22,000,000 円

評価	令和3年度においては新型コロナウイルス感染症のため事業の実施が限られたものとなり、サッカー教室及び音楽によるまちづくり事業の実施のみとなったが、運動部及び文化部活動に係るフォローアップという面では一定の効果があったと考える。		
課題	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を予定していた事業の複数が中止・延期となった。 リモート会議環境整備を行っているため、令和4年度においても引き続き可能な範囲からリモートでの事業構築を進める。	今後の方針	リモートに視点を置きつつ事業の実施を模索する。 「距離」という下北における一番のハードルを取り払った状態で事業の実施が可能となるために当該メリットを最大限に活かした取組を検討する。

事業名	G I G Aスクール端末等購入事業		
概要	文部科学省のG I G Aスクール構想における児童生徒1人1台端末を整備する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和2年度 小学4年生～中学3年生分 計3,066台購入</li> <li>○令和3年度 小学3年生分 計471台購入</li> <li>○令和4年度 小学2年生分 計468台購入 小学1年生にパソコン教室の端末配布</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和2年度 小学4年生～中学3年生分 計3,066台購入</li> <li>○令和3年度 小学3年生分 計461台購入</li> </ul>
予算	予算総額 30,050,000 円 (内訳) 備品購入費 30,050,000 円	決算	決算総額 23,554,795 円 (内訳) 備品購入費 23,554,795 円
評価	計画のとおり整備でき、問題なく端末が利用できている。		
課題	膨大な端末を管理運用するための体制。端末の経年劣化等による更新に係る費用。	今後の方針	計画のとおり端末を購入・配布し、令和4年度に児童生徒1人1台端末の整備を完了する。

事業名	学校情報通信環境管理運営事業		
概要	市内小中学校のネットワークや端末等のICT環境の維持管理や、ICT環境の変化により業務負担が増加する教員の支援などを行う。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校の通信回線の維持管理、モバイルルーターの購入及び維持管理。</li> <li>○学校のICT環境の維持管理。</li> <li>○教員の支援</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○18校分の通信回線の維持管理。モバイルルーター6台の購入・維持管理。</li> <li>○ICT環境保守業務委託、進級に伴うICT環境変更業務委託の契約締結。</li> <li>○ICT支援業務委託の契約締結。端末等操作研修を実施。(40名参加)</li> </ul>
予算	予算総額 46,181,000 円 (内訳) 役員費 4,498,000 円 委託料 41,683,000 円 備品購入費 0 円	決算	決算総額 31,071,778 円 (内訳) 役員費 3,804,318 円 委託料 27,065,500 円 備品購入費 201,960 円

評価	計画のとおり I C T 環境の維持管理及び教員の支援を行うことができた。		
課題	学校の要望に応じて I C T 支援を行ったが、要望自体が少なかった。しかし学校に行くと要望が多数あることから、訪問型の支援により要望を引き出す必要がある。	今後の方針	引き続き、I C T 環境の維持管理及び教員の支援を行う。 I C T 支援については、訪問型の支援を行う。

事業名	小学校大規模改修事業（市立苦生小学校空調改修工事）		
概要	暖房用ボイラー及び空調設備改修工事を実施し、安心・安全な学校運営に努める。		
計画	暖房用ボイラー及び関連設備の更新 屋内運動場への暖房機新設 保健室、特別支援教室、職員室へ冷暖房機設置	実績・成果	※令和2年度からの繰越事業 左記工事を実施 令和4年1月21日完成
予算	予算総額 295,751,000 円 (内訳) 役務費 4,669,000 円 工事請負費 291,082,000 円	決算	決算総額 265,705,000 円 (内訳) 役務費 4,235,000 円 工事請負費 261,470,000 円
評価	当該工事により児童の学習・生活環境の向上を図ることができた。また、指定避難所でもある体育館の防災機能強化も果たすことができた。		
課題	経年劣化への対応を含め、学校のニーズに合わせた設備改修を、財源の確保を図りながら計画的に実施していく必要がある。	今後の方針	安心・安全な学校運営に資するため、必要な設備改修を計画的に行っていく。

事業名	小学校大規模改修事業（市立第二田名部小学校空調改修工事）		
概要	屋内運動場暖房及び校内の空調改修と電気設備の更新を実施し、安心・安全な学校運営に努める。		
計画	キュービクルの更新 屋内運動場への暖房機新設 保健室、特別支援室、職員室、校長室への冷暖房機設置 給食室への暖房設備設置	実績・成果	左記工事を実施 令和4年3月4日完成
予算	予算総額 104,651,000 円 (内訳) 委託料 1,515,000 円 工事請負費 103,136,000 円	決算	決算総額 98,626,000 円 (内訳) 委託料 1,375,000 円 工事請負費 97,251,000 円
評価	当該工事により児童の学習・生活環境の向上を図ることができた。また、指定避難所でもある体育館の防災機能強化も果たすことができた。		
課題	経年劣化への対応を含め、学校のニーズに合わせた設備改修を、財源の確保を図りながら実施していく必要がある。	今後の方針	安心・安全な学校運営に資するため、必要な設備改修を計画的に行っていく。



(2) 教職員の適正・適切な配置

事業名		県費負担職員の任免、服務、その他の人事管理	
概要	より良い環境をつくるため、適正な人事配置を行うとともに、休暇・休職等の服務管理を行う。		
計画	○県の人事異動方針に基づき、適正な人員配置を行う。 ○代替教員の配置を適正に行う。	実績・成果	○人事異動については、概ね適正な配置が行われた。 ○代替教員の配置については、人材が確保できず配置できない学校もあった。
予算	0 円 (内訳)	決算	0 円 (内訳)
評価	県の指導及び助言等に基づき、概ね適正な配置、管理等がなされているものと考えているが、代替人材の不足等により、一部において定数人員を確保できず、学校に負担が生じている状況にある。		
課題	通常学級において、個別の支援を要する児童生徒に対する、学校からの教員の増員要望に必ずしも応えられていない状況にある。 また、令和3年度は教職員の懲戒免職事案（覚醒剤所持）や停職事案（セクハラ行為）が発生したことから、これまで以上に法令遵守及び服務規律の確保が求められている。	今後の方針	引き続き、市のスクールサポーターによる対応の強化に努めていくほか、教科指導のできる教員の増員について、県教委へ要望していく。 引き続き、服務規律確保の徹底について強く指導していく。

(3) 通学区域制度の適切な運用及び再編

事業名		むつ市通学区域審議会の設置	
概要	小学校又は中学校に就学する児童生徒の通学区域の適正化を図るため、通学区域の新設又は改廃に関する事項を調査審議し、その結果を答申する。		
計画	○必要に応じて行う	・実績・成果	○なし
予算	予算額 0 円 (内訳)	決算	決算額 0 円 (内訳)
評価	現状において審議対象事案がないことから評価できない。		
課題	なし	今後の方針	現在、審議対象がなく、設置されていないが、審議対象が生じた場合設置する。

(4) 学校規模の適正化に係る研究・検討

事業名	学校規模適正化のための地域説明会等の開催		
概要	むつ市教育プランに沿ったより良い教育環境を実現するために、小規模校の統廃合についてPTAや地域住民の理解・協力を得られるよう話し合いの場を設ける。		
計画	○大畑地区の正津川小学校について説明会を開催する。	実績	○保護者・住民説明会 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、学校行事等も制限されていた状況であったこともあり、不特定の地域住民が集まる説明会を開催することができなかった。
予算	予算額 (内訳) 0円	決算	決算額 (内訳) 0円
成果	新型コロナウイルス感染症の影響により、説明会の開催という成果を残すことができなかった。		
課題	正津川小学校については、保護者、地域とも学校統合について合意に至っていない状況にある。同校は、津波の浸水区域に指定されており、避難場所の確保についても課題となることから、統合についての説明会の実施については、感染症の状況も踏まえつつ、引き続き、ねばり強く行っていく。		

令和3年度 学校数、学級数、児童・生徒数

R3.5.1現在

小学校			中学校		
学校名	学級数	児童数	学校名	学級数	生徒数
第一田名部小	17	338	むつ中	7	159
第二田名部小	18	412	田名部中	25	637
苦生小	20	476	近川中	5	24
第三田名部小	13	249	関根中	3	24
奥内小	5	17	大平中	10	243
関根小	7	48	大湊中	5	48
大平小	17	431	川内中	5	59
大湊小	8	98	大畑中	5	115
川内小	8	99	脇野沢中	2	8
大畑小	10	209			
正津川小	4	11			
二枚橋小	2	3			
脇野沢小	3	12			
	0	0			
計13校	132	2,403	計9校	67	1,317

(5) 就学困難な児童生徒等に係る就学援助

事業名		要保護児童生徒援助事業	
概要	経済的な理由によって就学困難な児童生徒に対して修学旅行費を給付し就学の援助を図る。(生活保護受給世帯)		
計画	○対象者：12人 ○支給額：912,000円	実績・成果	○対象者：10人 ○支給額：444,907円
予算	予算総額 912,000 円 (内訳) 小学生(4名) 192,000 円 中学生(7名) 720,000 円	決算	決算総額 444,907 円 (内訳) 小学生(3名) 134,872 円 中学生(7名) 310,035 円
評価	要保護の世帯へは修学旅行費を援助しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、計画していた修学旅行が中止や規模縮小などになったことにより支給額は予定よりも少なくなっている。		
課題	年度途中で要保護対象者となる場合があるため、生活福祉課との連携が必要となる。月例の異動報告は月末に一括しての報告となるため、生活保護認定のタイミングによっては就学支援制度認定のタイミングまで時間差が生じる。	今後の方針	引き続き生活福祉課との連携をしっかりと行う。月例の異動報告だけではなく、随時の異動報告についても検討を実施する。

事業名		準要保護児童生徒援助事業	
概要	経済的な理由によって就学困難な児童生徒に対して、学用品費等を給付し就学の援助を図る。		
計画	○対象者：456人 ○支給額：48,883,510円	実績・成果	○対象者：436人 ○支給額：41,454,397円
予算	予算総額 48,883,510 円 (内訳) 学用品費 8,424,000 円 新入学学用品費 5,050,000 円 修学旅行費 7,572,000 円 校外活動費 515,000 円 給食費 27,322,510 円	決算	決算総額 41,454,397 円 (内訳) 学用品費 7,988,309 円 新入学学用品費 3,964,000 円 修学旅行費 3,387,798 円 校外活動費 124,020 円 給食費 25,990,270 円
評価	準要保護における就学援助費は、修学旅行費において大幅な執行残がある。これは新型コロナウイルス感染症の影響により、計画していた修学旅行の中止や規模縮小が主な要因である。		
課題	認定基準の拡大や支給費目の拡大に対する要望が市民及び市民団体より寄せられているので、経済的な支援が必要な児童生徒に援助するために財務部と協議の上、検討していく必要がある。	今後の方針	支給費目の拡大及び認定基準の緩和などを検討していく。

事業名		医療的ケア児童生徒就学支援事業	
概要	医療的ケアを必要とする児童生徒の健康の維持・増進及び安全な学習環境の整備を図るため、訪問看護師の派遣による専門的な処置を行う。		
計画	○対象者：1名 ○事業額：1,229,250円 ・週3日まで @5,550×120日=666,000円 ・週4日以降 @6,550×80日=524,000円 ・延長料金（1日6時間） @5,200×5回=26,000円 ・緊急訪問看護加算 @2,650×5日=13,250円	実績・成果	○対象者：1名（第一田名部小学校 2年） ○内容：気管カニューレ内の喀痰吸引 ○事業額：524,500円 ・週3日まで @5,550×65日=360,750円 ・週4日以降 @6,550×25日=163,750円 ※対象児童は令和3年10月に気管カニューレの抜去を行い、医療的ケアが不要となったため、令和3年10月で訪問看護を終了した。
予算	予算総額 1,230,000 円 （内訳） 訪問看護委託料 1,230,000 円	決算	決算総額 524,500 円 （内訳） 訪問看護委託料 524,500 円 ※決算総額のうち174,000円は国補助額
評価	対象児童の登校日に加え、遠足等の校外活動を行う日にも訪問看護を実施することで、安心して児童を参加させることができたことと保護者から感謝の声をいただいた。 保護者・主治医・実施校・実施事業所に参加いただく打合せの場を設けることで、保護者の要望を直接聞き取り、実施方針を関係者全員で確認し共有する体制を構築できた。		
課題	事例の蓄積がまだ少なく、宿泊を伴う校外活動等への対応の可否など、未検討の課題も多い。時間的・人力的な制約により、保護者や学校の要望に対応しきれないケースが出てくることが懸念される。	今後の方針	児童生徒が安心して通える環境の整備を万全にするため、主治医・保護者・学校・訪問看護事業所・子育て支援課（学校休業日の学童保育における医療的ケア実施担当課）等関係者との連携を密にしながら実施していく。

事業名		特別支援教育就学奨励事業	
概要	小中学校の特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の普及、奨励を図ることを目的として奨励費を支給する。		
計画	○対象者：131人 ○支給額：7,107,205円	実績・成果	○対象者：110人 ○支給額：5,135,818円
予算	予算総額 7,107,205 円 （内訳） 学用品費 1,023,270 円 新入学学用品費 647,670 円 修学旅行費 1,132,120 円 校外活動費 296,485 円 通学費 0 円 給食費 4,007,660 円	決算	決算総額 5,135,818 円 （内訳） 学用品費 853,200 円 新入学学用品費 552,320 円 修学旅行費 419,478 円 校外活動費 83,370 円 通学費 0 円 給食費 3,227,450 円
評価	特別支援学級在籍児童生徒の大半が支給対象（一部辞退者、所得による対象外あり）となっており、保護者の経済的な負担軽減に寄与している。		
課題	生活保護基準の見直しにより、対象者数が大きく変わる場合がある。 年度途中で入級する児童生徒の申請について、学校と連携して対応する必要がある。	今後の方針	今後も対象者に対し適正に支給を行う。 学用品費について、令和4年度から定額支給の取扱（支給額同額）とし、実費確認・精算戻入等による保護者の負担を減らす方針。

(6) コミュニティ・スクール制度の推進

事業名		学校運営協議会の設置	
概要	学校の教育目標、教育方針、教育活動の実施、地域の連携、学校運営に地域の意見を反映させ、開かれた学校づくりを推進するために配置している学校評議員から、法律改正に伴い設置する学校運営協議会への移行を実施するものである。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校運営協議会実施校 市内全校 ※合同で実施する地区も有り</li> <li>○実施回数 各校（地区）3回程度を目安とする</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校運営協議会実施校 ・単一校実施 12校 ・地区実施 10地区（10校）</li> <li>○実施回数 各校（地区） 合計48回実施</li> </ul>
予算	予算総額 1,452,000 円 （内訳） 報酬 600,000 円 費用弁償 632,000 円 需用費 220,000 円	決算	決算総額 947,801 円 （内訳） 報酬 218,000 円 費用弁償 591,146 円 需用費 138,655 円
評価	保護者や地域の意見が反映された学校運営がなされる事を期待しているが、導入直後ということもあり、思い描く効果はまだ出ていない。		
課題	学校及び地域関係者において「学校運営協議会」そのもののあり方、考え方に差があるため、制度の意義等に関し、更なる周知徹底を図る。	今後の方針	令和2年度からの導入に伴い各学校に対する制度の周知及び活用について進め、併せて先進地区の優良事例等があれば共有し、対応することとする。

(7) 奨学金制度の充実

事業名		奨学金貸付事業	
概要	当市に住所を有する者の子弟で高等学校又はそれと同等以上の学校に修学している者に対して、修学上必要な学費の一部を貸与し、人材の育成を図る。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○貸与 ・高校生：2,880,000円 （継続6人、新規10人 計16人） ・大学生等：35,280,000円 （継続58人、新規40人 計97人）</li> <li>○返還 ・現年度分：39,450,000円 ・滞納分：20,125,000円</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○貸与 ・高校生：1,800,000円 （継続6人、新規4人 計10人） ・大学生等：33,480,000円 （継続57人、新規36人 計93人）</li> <li>○返還 ・現年度分：37,770,000円 ・繰上返還分：4,950,000円 ・滞納分：2,674,500円</li> </ul>
予算	予算総額 83,194,000 円 （内訳） 委員報酬 65,000 円 費用弁償 109,000 円 需用費 20,000 円 役務費 33,000 円 委託料 184,000 円 貸付金 38,160,000 円 積立金 44,623,000 円	決算	決算総額 81,847,640 円 （内訳） 委員報酬 39,000 円 費用弁償 42,781 円 需用費 1,078 円 役務費 0 円 委託料 0 円 貸付金 35,280,000 円 積立金 46,484,781 円

評価	令和3年度は新規40名を含む103名への貸与を行った。本奨学金はあくまで貸与型であり、貸与額も高校生で月額1万5千円、大学生等で月額3万円とやや少額であるが、無利子で返還しやすいこともあり、修学に係る経済的負担を軽減する制度の一つとして求められている。		
課題	<p>他の制度と併用している方が多いため、国や県、他自治体の動向を注視し、給付型奨学金の創設を含め奨学金制度の見直しについて調査研究していく必要がある。</p> <p>経済的理由により進学を断念することがないように、市内の中学校及び高等学校の生徒や保護者、学校関係者に対して十分に制度を周知していく必要がある。</p>	今後の方針	<p>給付型奨学金の実施には新たな財源が必要となるため現状では難しい。他の制度と併せて検討し利用してもらえるよう、引き続き周知・運用していく。</p> <p>加えて、国や県、他自治体等の多様な取組を参考に、進学を望む生徒たちのよりよい将来を考え、制度設計や運用について柔軟に検討していく。</p>

事業名	次代を担うプラチナ人材育成プロジェクト（未来人材育成奨学金プロジェクト）		
概要	市内の高等学校から大学に進学し、医学を履修する課程を修学する者に対し、修学上必要な学費の一部を助成し、将来医師となる人材を育成するとともに、市の医師不足の解消、明確な目的を持った学習による市内の高等学校の学力の向上を図る。		
計画	<p>○募集人数：5人 （継続4人、新規1人）</p> <p>○助成金額：2,500,000円 （1人当たり500,000円）</p>	実績・成果	<p>○応募人数：4人 （継続4人）</p> <p>○助成金額：2,000,000円 （1人当たり500,000円）</p>
予算	<p>予算総額 2,500,000 円</p> <p>（内訳）助成金 2,500,000 円</p>	決算	<p>決算総額 2,000,000 円</p> <p>（内訳）助成金 2,000,000 円</p>
評価	令和3年度は新規申請が0件であったが、継続申請が4件あり、助成を実施した。まだ実際に医師になった対象者がいないため、評価が難しい面もあるが、医学部修学に係る経済的負担を軽減することで、将来医師となる人材の育成に寄与していると考えられる。		
課題	<p>当市の医師不足の解消につなげることが本事業の趣旨の一つであるが、それが「しぼり」のように感じられ、学生の負担となるという市民からの指摘もあった。</p> <p>また、毎年度目標値を掲げてはいるが、新規の申請者数の増減を予測しづらい面もある。</p>	今後の方針	<p>市長からの助成金贈呈式の際に当市の医療の現状について説明し、問題意識を持ってもらう取組をしている。</p> <p>制度のあり方について、今後の議論も注視しつつ、継続して実施していきたい。</p>

○貸付金 (単位：人、円)

区 分	貸与者数	貸与額	
高校生	継続貸与者	6	1,080,000
	新規貸与者	4	720,000
大学生等	継続貸与者	57	20,520,000
	新規貸与者	36	12,960,000
合 計	103	35,280,000	

○育英基金の状況

歳入	前年度末残高	163,732,558円
	奨学金貸付金元金収入	45,484,500円
	寄附金	1,000,000円
	預金利息	3,591円
	今年度歳入合計	210,220,649円
今年度奨学金貸付金		△35,280,000円
今年度末基金残高		174,940,649円

(8) 学校保健の充実

事業名		健康診断委託事業	
概要	学校保健安全法の規定により、当該児童生徒並びに教職員（県費）の健康管理及び健康維持のために教職員の健康診断並びに児童生徒の尿検査（全学年）、心電図（小学1年・4年、中学1年）、貧血検査（小学5～6年、中学1～3年）を毎年定期に実施する。		
計画	○対象児童生徒数：3,740人 ○対象教職員数：408人	実績・成果	○受診児童生徒数：3,699人 ○受診教職員数：277人 ※未受診者は、個別に人間ドック等を受診
予算	予算総額 7,970,000 円 （内訳）委託料内訳 円 尿検査 748,000 円 心電図検査 1,796,000 円 貧血検査 526,000 円 教職員健診 4,694,000 円 教職員ストレスチェック 206,000 円	決算	決算総額 7,193,635 円 （内訳）委託料内訳 円 尿検査 739,800 円 心電図検査 1,759,500 円 貧血検査 500,698 円 教職員健診 3,987,895 円 教職員ストレスチェック 205,742 円
評価	教職員健診は毎年全4日間（うち1日は脇野沢診療所）で実施しているが、令和元年度から1日のみ夏季休業中に実施し、大変好評をいただいている。本年度は夏季休業中の実施日に受診希望が集中し、人数調整をする必要が生じたが、他は滞りなく実施することができた。		
課題	教職員健康診断について、平日の早朝に実施後、通常勤務のため、体力的に厳しいという声があり、夏季休業中の実施日に受診希望が集中しやすくなっている。	今後の方針	教職員健康診断について、実施時期や1日あたりの受診可能人数を青森県総合健診センターと相談のうえ、より受診しやすい形で実施できるよう調整していく。



事業名		学校医委託事業																													
概要	学校における児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図るよう各種健康診断（児童生徒の内科・歯科・耳鼻科・眼科検診）や健康相談業務を行うため、学校保健安全法の規定に基づき、産業医、学校医及び学校歯科医並びに学校薬剤師を委嘱する。																														
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校医 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒400人以下 @226,000円×13人</li> <li>・児童生徒401人以上700人以下 @293,800円×13人</li> </ul> </li> <li>○学校歯科医 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒数500人以下 @224,000円×17人</li> <li>・児童生徒数501人以上 @291,200円×2人</li> </ul> </li> <li>○学校薬剤師 @157,000円×22人</li> <li>○産業医 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員数50人以上 @360,000円×1人</li> </ul> </li> <li>○眼科耳鼻科医 (川内・大畑・脇野沢検診) <ul style="list-style-type: none"> <li>・眼科医（大畑） @200,000円×1人</li> <li>・眼科医（川内・脇野沢） @100,000円×2人</li> <li>・耳鼻科医（大畑） @200,000円×1人</li> <li>・耳鼻科医（川内・脇野沢） @100,000円×2人</li> </ul> </li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校医 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒400人以下 @226,000円×16人</li> <li>・児童生徒401人以上700人以下 @293,800円×10人</li> </ul> </li> <li>○学校歯科医 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒数500人以下 @224,000円×18人</li> <li>・児童生徒数501人以上 @291,200円×1人</li> </ul> </li> <li>○学校薬剤師 @157,000円×22人</li> <li>○産業医 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員数50人以上 @360,000円×1人</li> </ul> </li> <li>○眼科耳鼻科医 (川内・大畑・脇野沢検診) <ul style="list-style-type: none"> <li>・眼科医（大畑） @200,000円×1人</li> <li>・眼科医（川内・脇野沢） @100,000円×2人</li> <li>・耳鼻科医（大畑） @200,000円×1人</li> <li>・耳鼻科医（川内・脇野沢） @100,000円×2人</li> </ul> </li> </ul>																												
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">予算総額</td> <td style="text-align: right;">15,762,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 委託料内訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学校医</td> <td style="text-align: right;">6,757,400 円</td> </tr> <tr> <td>学校歯科医</td> <td style="text-align: right;">4,390,400 円</td> </tr> <tr> <td>学校薬剤師</td> <td style="text-align: right;">3,454,000 円</td> </tr> <tr> <td>産業医</td> <td style="text-align: right;">360,000 円</td> </tr> <tr> <td>眼科耳鼻科医</td> <td style="text-align: right;">800,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	15,762,000 円	(内訳) 委託料内訳		学校医	6,757,400 円	学校歯科医	4,390,400 円	学校薬剤師	3,454,000 円	産業医	360,000 円	眼科耳鼻科医	800,000 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">決算総額</td> <td style="text-align: right;">15,491,200 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 委託料内訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学校医</td> <td style="text-align: right;">6,554,000 円</td> </tr> <tr> <td>学校歯科医</td> <td style="text-align: right;">4,323,200 円</td> </tr> <tr> <td>学校薬剤師</td> <td style="text-align: right;">3,454,000 円</td> </tr> <tr> <td>産業医</td> <td style="text-align: right;">360,000 円</td> </tr> <tr> <td>眼科耳鼻科医</td> <td style="text-align: right;">800,000 円</td> </tr> </table>	決算総額	15,491,200 円	(内訳) 委託料内訳		学校医	6,554,000 円	学校歯科医	4,323,200 円	学校薬剤師	3,454,000 円	産業医	360,000 円	眼科耳鼻科医	800,000 円
予算総額	15,762,000 円																														
(内訳) 委託料内訳																															
学校医	6,757,400 円																														
学校歯科医	4,390,400 円																														
学校薬剤師	3,454,000 円																														
産業医	360,000 円																														
眼科耳鼻科医	800,000 円																														
決算総額	15,491,200 円																														
(内訳) 委託料内訳																															
学校医	6,554,000 円																														
学校歯科医	4,323,200 円																														
学校薬剤師	3,454,000 円																														
産業医	360,000 円																														
眼科耳鼻科医	800,000 円																														
評価	学校医等の委嘱や前年度分の委託料支払いは滞りなく実施できた。新型コロナウイルス感染症の影響により、児童生徒の耳鼻科・眼科検診について日程を決め直す必要が生じたが、学校及び学校医等としっかりと連携をとり、年度末までに全ての検診項目を実施できた。																														
課題	児童生徒の各種検診について、新型コロナウイルス感染症等の影響で、日程を急遽変更する必要がある場合がある。	今後の方針	児童生徒の健康診断の時期が近くなったら、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、予定どおり実施可能かどうかを学校や医師と相談し、臨機応変に対応していく。																												



事業名		学校災害共済給付事業	
概要	保護者の同意を得て文部科学省が所管する日本スポーツ振興センターとの間に災害共済給付契約を締結し、学校管理下の災害に対して児童生徒に当該医療費を給付する。		
計画	○日本スポーツ振興センター 災害共済掛金（1人当たり） ・一般： 945円 ・要保護： 55円	実績・成果	○日本スポーツ振興センター 災害共済掛金（加入者数：3,720人） ・一般：935円（市負担：475円） ・準要保護：935円（全額市負担） ・要保護：55円（全額市負担） ※令和2年度からは準要保護は計上しない。 ○日本スポーツ振興センター災害共済 ・災害発生件数： 275件 ・医療費給付額： 3,101,156円
予算	予算総額 3,453,275 円 （内訳）負担金内訳 一般 3,023,790 円 準要保護 403,360 円 要保護 2,750 円 転入者分 23,375 円	決算	決算総額 3,398,480 円 （内訳）負担金内訳 一般 3,396,275 円 準要保護 0 円 要保護 2,205 円 転入者分 0 円
評価	学校管理下の災害に対して、日本スポーツ振興センターの災害共済に加入していることで、医療費を給付するものであるが、昨年度は小中学校に在籍する全世帯に加入してもらっている。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、課外活動・部活動の頻度も減少していることから災害件数は令和元年度より約100件ほど少なくなっている。		
課題	給付の請求漏れがないよう、保護者の制度への認知、理解度を深めることが必要となる。	今方後の針	給付制度について、保護者の理解、認知度を高めるため、学校を通じ制度の周知を図る。

事業名		学校保健会補助事業	
概要	学校保健安全教育を推進し、地域社会の協力を得て心身ともに健全な児童、生徒の育成に寄与することを目的としたむつ市学校保健会及びむつ下北学校保健会に協賛する。		
計画	○負担金 ・むつ市学校保健会 20,000円 ・むつ下北学校保健会 134,800円	実績・成果	○負担金 ・むつ市学校保健会 20,000円 ・むつ下北学校保健会 134,800円
予算	予算総額 155,000 円 （内訳）負担金 155,000 円	決算	決算総額 154,800 円 （内訳）負担金 154,800 円

評価	学校保健会の補助申請に対して、遅滞なく負担金を支出した。		
課題	負担金の大半が、むつ下北学校保健会への支出であるため、圧縮が難しい。	今後の	むつ下北学校保健会の決算状況を精査していく。

【参考】肥満傾向児数及び肥満傾向児出現率

1. 令和2年度

性別	市町村	単位	小 学 校							中 学 校			
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計
			男子	むつ市	人	214	217	207	249	196	244	1,327	210
			18	13	13	26	16	25	111	21	17	19	57
			5	17	18	26	19	20	105	15	15	14	44
			5	9	5	10	4	8	41	5	5	9	19
			28	39	36	62	39	53	257	41	37	42	120
			13.08	17.97	17.39	24.90	19.90	21.72	19.37	19.52	17.29	18.58	18.46
		%	9.93	15.36	9.99	20.78	15.59	20.86	/	16.57	14.82	14.37	/
		%	5.85	8.77	11.67	13.58	14.24	13.31	/	12.71	12.18	10.94	/
女子	むつ市	人	187	207	181	213	199	208	1,195	210	235	218	663
			8	17	14	19	6	15	79	10	20	15	45
			6	12	7	12	11	11	59	6	15	11	32
			1	5	3	5	3	2	19	3	4	7	14
			15	34	24	36	20	28	157	19	39	33	91
			8.02	16.43	13.26	16.90	10.05	13.46	13.14	9.05	16.60	15.14	13.73
		%	5.13	9.11	11.80	16.53	10.42	13.17	/	16.95	14.57	11.00	/
		%	5.16	7.25	8.89	9.32	9.47	9.36	/	8.89	8.53	8.29	/

※出典：令和2年度学校保健統計調査、むつ市学校保健会報第44号

2. 令和3年度

性別	市町村	単位	小 学 校							中 学 校			
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計
			男子	むつ市	人	191	216	207	210	250	192	1,266	234
			13	10	16	18	20	18	95	23	14	13	50
			14	19	21	20	31	15	120	13	13	15	41
			3	4	11	6	4	6	34	11	5	5	21
			30	33	48	44	55	39	249	47	32	33	112
			15.71	15.28	23.19	20.95	22.00	20.31	19.67	20.09	15.46	15.07	16.97
		%	8.67	13.78	16.89	15.69	16.83	14.94	/	16.19	12.74	13.24	/
		%	5.25	7.61	9.75	12.03	12.58	12.48	/	12.58	10.99	10.25	/
女子	むつ市	人	158	183	206	180	212	196	1,135	207	207	229	643
			9	13	18	9	16	11	76	18	15	16	49
			9	9	15	11	10	9	63	9	3	9	21
			1	1	5	2	7	6	22	3	2	4	9
			19	23	38	22	33	26	161	30	20	29	79
			12.03	12.57	18.45	12.22	15.57	13.27	14.19	14.49	9.66	12.66	12.29
		%	5.74	10.25	11.62	11.59	12.83	11.50	/	12.51	14.47	12.68	/
		%	5.15	6.87	8.34	8.24	9.26	9.42	/	9.15	8.35	7.80	/

※出典：令和3年度学校保健統計調査

(注) 肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。

$$\text{肥満度} = (\text{実測体重} - \text{身長別標準体重}) / \text{身長別標準体重} \times 100(\%)$$

事業名		学校災害入院補償事業	
概要	児童生徒が学校管理下において発生した事故で負傷し入院した場合に、当該児童生徒へ入院補償保険金（見舞金）を支払う。		
計画	○入院日数別の補償金額及び想定件数 ・15日以下 : 10,000円×10件 ・16日以上30日以下 : 20,000円×5件	実績・成果	○補償金の支給件数 ・15日以下 : 10,000円×3件 ・16日以上30日以下 : 20,000円×1件
予算	予算総額 200,000 円 (内訳) 補償補填 200,000 円	決算	決算総額 50,000 円 (内訳) 補償補填 50,000 円
評価	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、課外活動・部活動の頻度も減少していることから学校管理下における入院が伴う負傷件数が少なかった。		
課題	給付の請求漏れがないよう保護者の制度への認知、理解度を深めることが必要となる。	今後の方針	給付制度について、保護者の理解、認知度を高めるため、学校を通じ制度の周知を図る。

### (9) 学校給食の充実

事業名		学校給食管理事業	
概要	共同調理場3施設、単独調理場9施設において「安全・安心」な給食を提供するため、学校給食運営及び給食施設の維持管理を行う。		
計画	市直営の共同調理場2施設、単独調理場9施設の維持管理等を行っている。また、共同調理場1施設の調理・運搬業務委託を行い、市内小中学校21校に「安全・安心」な給食を提供する。	実績・成果	市直営の共同調理場2施設、単独調理場9施設の維持管理等を行っている。また、共同調理場1施設の調理・運搬業務委託を行い、市内小中学校21校に「安全・安心」な給食を提供した。
予算	予算総額 163,282,000 円 (内訳) 給料 56,106,000 円 職員手当 8,431,000 円 需用費 22,249,000 円 役務費 2,825,000 円 委託料 73,606,000 円 原材料費 0 円 負担金 40,000 円 公課費 25,000 円	決算	決算総額 156,970,445 円 (内訳) 給料 51,845,365 円 職員手当 7,443,209 円 需用費 22,099,233 円 役務費 2,243,956 円 委託料 73,281,600 円 原材料費 2,582 円 負担金 39,500 円 公課費 15,000 円

評価	「安全・安心」な給食を提供することができ、また、学校給食運営及び給食施設の維持管理を安全に行うことができた。		
課題	食中毒防止のため、調理場及び学校内での衛生管理に努めているが、老朽化した調理施設が多く、衛生環境の維持が困難になってきている状況である。近年、食物アレルギーを有する児童生徒が増加傾向にあり、独立した調理スペースを確保できず、十分な対応とはいえない状況である。	今後の方針	現在の調理施設の機能維持に必要な修繕等を実施しつつ、衛生管理基準に適合、また、アレルギー対応が可能な（仮称）防災食育センターの建設に向け、準備を進めていく。

事業名		学校給食設備整備事業	
概要	「安全・安心」な学校給食を提供するため、老朽化や耐用年数の超過した調理機器・用具の修繕又は購入をとおして調理環境の整備を図る。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現有機器の修繕及び点検・調整等</li> <li>○老朽機器の更新</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現有機器の修繕及び点検・調整等・修繕（ガス回転釜部品交換等） 28件 1,916,919円</li> <li>・点検・調整等 2件 403,334円</li> <li>○老朽機器の更新（食器洗浄機購入等） 7件 3,518,570円</li> </ul>
予算	予算総額 6,353,000 円 （内訳） 需用費 1,305,000 円 役務費 88,000 円 備品購入費 4,960,000 円	決算	決算総額 5,217,609 円 （内訳） 需用費 1,494,321 円 役務費 3,520 円 備品購入費 3,719,768 円
評価	「安全・安心」な学校給食を提供するため、調理機器・用具の修繕等を行い、調理環境の整備を図ることができた。		
課題	耐用年数が過ぎた機器が多いため故障が多く、修繕費が高む傾向にある。	今後の方針	老朽化した調理機器等の計画的な更新を実施しつつ、衛生管理基準に適合できる（仮称）防災食育センター建設準備を進めていく。

事業名		（仮称）防災食育センター建設事業	
概要	平時は児童生徒に、より安全で安心な給食を提供するために使用しながら、災害発生時には防災機能を果たすことができる総合的な施設を建設することで、学校給食と防災両面の環境改善・向上を図る。		
計画	令和2年度中に策定した基本計画をもとに、令和4年度からの建設開始に向け、基本設計や調査測量及び実施設計を行う。	実績・成果	建設場所の再検討を重ねたため時間を要し、基本設計までの進捗となった。調査測量と実施設計は令和4年度の実施とした。
予算	予算総額 92,046,000 円 （内訳） 旅費 1,352,000 円 役務費 807,000 円 委託料 89,887,000 円	決算	決算総額 2,743,440 円 （内訳） 旅費 103,440 円 役務費 0 円 委託料 2,640,000 円

評価	建設予定地の再検討を重ねた結果、事業計画に遅れが生じ、事業全体を1年後ろ倒しとすることとなった。今後は令和7年度からの操業開始に向け、東北防衛局と補助についての協議を重ねながら、滞りなく事業を実施していく。		
課題	調査測量、実施設計、建設までの工程を滞りなく進めるのと並行し、現給食提供体制からスムーズな移行ができるよう、運営体制についても詳細な検討が必要である。	今後の方針	令和4年度で調査測量及び実施設計、令和5～6年度で建設工事を行う。また運営方式（直営／委託）の比較検討を行いながら、新施設への移行体制を構築していく。

■ 総務課の重点項目の評価 ■

<p>コロナ禍において、各事業の工夫を重ね、可能な限り実施方法を検討した。各学校との連携を図り、学校活動が継続できるよう対応できた。また、GIGAスクール構想によるタブレットの利用環境の整備や、防災食育センターの基本設計の策定など、教育環境の改善に向けた取組を行うことができた。</p>
---

## 2 生涯学習課

### 重点項目の点検（令和3年度の具体的な取組状況）

#### （1）生涯学習の推進

事業名		社会教育委員の設置																					
概要	社会教育法第15条1項の規定に基づき、社会教育に関する諮問に対して意見を述べ、諸計画の立案を行うため必要な研究調査を行い、教育委員会に助言することができる社会教育委員を配置する。																						
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○委員定数 13人以内</li> <li>○任命期間 2年間</li> <li>○会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・むつ市社会教育委員会議</li> <li>・下北地区社会教育委員連絡協議会</li> <li>・青森県社会教育委員連絡協議会</li> </ul> </li> <li>○団体構成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・青森県社会教育委員連絡協議会及び下北地区社会教育委員連絡協議会の構成団体として活動する。</li> </ul> </li> <li>○研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・資質向上のため各種研修会へ参加する。</li> </ul> </li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○委員定数 13人（うち新委員3名）</li> <li>○任命期間 令和3年10月1日～令和5年9月30日（2年間）</li> <li>○会議開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・むつ市社会教育委員会議 2回</li> <li>・下北地区社会教育委員連絡協議会 4回</li> <li>・青森県社会教育委員連絡協議会 4回</li> </ul> <p style="text-align: center;">（書面開催含む）</p> </li> <li>○研修参加 <ul style="list-style-type: none"> <li>・青森県社会教育研究大会 中止</li> <li>・下北地区社会教育研究会 風間浦大会 中止</li> <li>・社会教育委員, 文化財保護審議委員 合同研修会</li> </ul> </li> </ul>																				
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">予算総額</td> <td style="text-align: right;">742,000 円</td> </tr> <tr> <td>（内訳） 報酬</td> <td style="text-align: right;">462,000 円</td> </tr> <tr> <td>費用弁償</td> <td style="text-align: right;">249,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品</td> <td style="text-align: right;">20,000 円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td style="text-align: right;">11,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	742,000 円	（内訳） 報酬	462,000 円	費用弁償	249,000 円	消耗品	20,000 円	負担金	11,000 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">決算総額</td> <td style="text-align: right;">282,509 円</td> </tr> <tr> <td>（内訳） 報酬</td> <td style="text-align: right;">162,500 円</td> </tr> <tr> <td>費用弁償</td> <td style="text-align: right;">90,049 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品</td> <td style="text-align: right;">18,960 円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td style="text-align: right;">11,000 円</td> </tr> </table>	決算総額	282,509 円	（内訳） 報酬	162,500 円	費用弁償	90,049 円	消耗品	18,960 円	負担金	11,000 円
予算総額	742,000 円																						
（内訳） 報酬	462,000 円																						
費用弁償	249,000 円																						
消耗品	20,000 円																						
負担金	11,000 円																						
決算総額	282,509 円																						
（内訳） 報酬	162,500 円																						
費用弁償	90,049 円																						
消耗品	18,960 円																						
負担金	11,000 円																						
評価	社会教育委員から教育委員会で実施している事業における計画及び実績に関する意見、要望がいただいた。今後の事業への参考となった。																						
課題	コロナ禍でも会議や研修会を開催できるよう、従来よりも広い会場の確保が課題である。	今後の方針	新型コロナウイルス感染症拡大防止をしながら、会議を開催し、研究大会等を通して委員のスキルアップに努める。																				

事業名		社会教育指導員による学習支援	
概要	社会教育の振興を図るため、社会教育指導員を配置する。		
計画	○社会教育指導員を1人配置する。	実績・成果	○社会教育指導員の配置：1人 ・任期：令和3年4月1日～令和4年3月31日 ・社会教育団体に関する情報収集 ・自然観察会の企画、実施 ・学習相談への対応 ・「むつ市の社会教育行政」の作成
予算	予算総額 1,114,659 円 (内訳) 報酬 919,527 円 職員手当等 91,532 円 費用弁償 103,600 円	決算	決算総額 1,114,659 円 (内訳) 919,527 円 91,532 円 103,600 円
評価	市民のニーズに注視し、内容の精査、及び変化を加え、企画を計画し、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め実行することができた。		
課題	教員免許取得者や当業務に精通した経験者等、専門性が求められるため、人選が難しい。	今後の針	多様化している学習課題や学習ニーズに対応するため、より一層の情報収集を図り、活動を周知していく。

事業名		成人式の開催	
概要	二十歳を迎える若者を祝福し、将来を担う市民としての自覚を促す。令和3年1月開催予定が延期した分も開催する。		
計画	○令和3年12月対象者（見込） 600人  ○令和4年1月対象者（見込） 604人	実績・成果	○式典開催日 令和3年12月26日（日） むつマエダアリーナ 参加者226人  ○式典開催日 令和4年1月9日（日） 下北文化会館 参加者354人
予算	予算総額 4,081,848 円 (内訳) 報償費 560,000 円 費用弁償 42,000 円 消耗品 1,523,850 円 印刷製本費 465,000 円 食料費 71,000 円 役務費 358,430 円 委託料 1,032,000 円 使用料 29,568 円	決算	決算総額 4,009,921 円 (内訳) 報償費 531,000 円 費用弁償 600 円 消耗品 1,523,733 円 印刷製本費 464,640 円 食料費 70,700 円 役務費 358,430 円 委託料 1,031,250 円 使用料 29,568 円
評価	予定していた成人式はワクチン・検査パッケージにより開催し、参加した成人からは非常に好評を得た。企画で参加いただいた団体からも来年もお願いしたいという返答をいただいた。		
課題	時期的なものだが、新型コロナの拡大が見込まれ、かつスタッフにも影響が及ぶ。コロナ対応のため従来より多くのスタッフが必要となっている。	今後の針	コロナ禍を見据えた開催方法、経費を抑えた安全安心の確保が必要となることから、国の動向を情報収集しながら開催する。

事業名		自然観察会の開催	
概要	市民の心豊かな暮らしを実現するため、地域の自然に触れながら季節の移ろいを感じていただく自然観察会を開催する。		
計画	○季節ごとの観察会を開催する。	実績・成果	○春：水源池公園自然観察 令和3年5月9日 参加者16人 ○秋：川内川周辺の自然観察 令和3年10月4日 参加者14人 ○冬：川内川越冬する野鳥観察 令和4年1月16日 参加者18人
予算	予算総額 41,000 円 (内訳) 報償費 38,000 円 費用弁償 3,000 円	決算	決算総額 40,100 円 (内訳) 報償費 37,500 円 費用弁償 2,600 円
評価	コロナ禍のため他の事業が中止となったこともあって、毎回、募集人数を超えた応募があり、参加者からは好評をいただいた。		
課題	コロナ禍のため参加人数を減らしている。募集人数について検討が必要である。	今後の方針	市民の学習ニーズを把握し、内容などを検討していく。

## (2) 学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進

事業名		放課後子ども教室推進事業	
概要	文部科学省の「放課後子ども教室推進事業」と厚生労働省の「放課後児童健全育成事業（こどもみらい部所管「なかよし会）」で構成される「放課後子ども総合プラン」に基づき実施。 全ての子どもが放課後を安心安全に過ごすことができる環境作りを、地域とともに目指す。		
計画	○年に2回、事業計画の策定やなかよし会との情報交換の場として、「むつ市地域学校協働本部運営委員会」を開催する。 ○各教室ごとにコーディネーターと教育活動サポーターを配置し、事業を実施する。 ○費用負担：(国1/3、県1/3、市1/3)	実績・成果	○運営委員会：委員12人 会議開催2回(1回は書面) ○子ども教室数：4教室 ○コーディネーターの配置：4人 ○教育活動サポーターの登録：17人 任期：令和3年4月1日～令和4年3月31日 ○内容：スポーツ、畑づくり、読み聞かせ、工作、学習補助 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年の9割ほどの活動となった。
予算	予算総額 2,607,000 円 (内訳) 報償費 1,911,000 円 費用弁償 267,000 円 需用費 240,000 円 役務費 79,000 円 備品購入費 110,000 円	決算	決算総額 2,258,305 円 (内訳) 報償費 1,910,450 円 費用弁償 198,514 円 需用費 129,341 円 役務費 20,000 円 備品購入費 0 円
評価	新型コロナウイルス感染症の影響により9割ほどの活動となったものの、様々な活動を行い、安全安心な居場所づくりは確保できたと考える。		
課題	地域学校協働活動本部の中に子ども教室が位置づけられた。子ども教室と地域学校協働活動の連携が求められる。	今後の方針	地域学校協働活動本部を運営しながら子どもたちの安心安全な居場所づくりを目指す。地域人材の掘り起こしを図り、子ども教室と地域学校協働活動の連携を構築していく。



(3) 社会教育施設の機能充実

事業名		むつ市海と森ふれあい体験館の管理・運営	
概要	<p>恵まれた自然環境の中で、市民の生涯学習や子ども達の体験学習の場として活用しながら、地域の情報発信に寄与することを目的に施設を運営する。 指定管理者制度を導入し、質の高い事業内容と利用者の増加を図り、安定した施設運営を目指す。</p>		
計画	<p><b>【指定事業】</b> ○貝殻の常設、企画展示及び貝殻を使ったワークショップ ○海の生物展示及びワークショップ <b>【自主事業】</b> ○本州最北端の下北から最先端「THE SHIMOKITA」へ！ 海と森を楽しむアドベンチャーツーリズム構築事業 ○陸奥湾イートシェルプロジェクト ○地域の高中生や住民とともに、地域を活性化するプロジェクト</p>	実績・成果	<p><b>【指定管理者】</b> NPO法人シェルフォレスト川内 <b>【指定管理期間】</b> 令和3年4月1日～令和6年3月31日 <b>【年度中の施設利用者（人数）】</b> 1,892人 <b>【事業実施状況】</b> ○常設展示 ・「山口和雄コレクション 世界の貝」 （世界の貝殻約100種） ・海の生きもの生態展示 「下北の自然 むつ湾の生きもの」 「陸奥湾のイルカとジオパーク」</p>
予算	<p>予算総額 6,025,000 円 （内訳） 委託料 6,025,000 円           使用料 0 円</p>	決算	<p>決算総額 6,122,152 円 （内訳） 委託料 6,025,000 円           使用料 97,152 円</p>
評価	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一時期休館したが、従来どおりの活動を行い、自主事業については継続的な事業を複数展開している。</p>		
課題	<p>建物（電気設備等）の更新について、川内庁舎と連携が必要となる。</p>	今後の方針	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止をしながら利用者の増加を図る。 施設の修繕について、川内庁舎と連携して改修を計画していく。</p>



大学生のアクティビティ体験



館内利用の様子

【写真提供 NPO法人シェルフォレスト】

事業名		むつ市下北自然の家の管理・運営																	
概要	<p>本施設は、豊かな自然環境を活かし、集団宿泊、野外活動、自然体験等を通じて健全で心身ともに調和のとれた青少年を育成するための場を提供すること、また市民が生涯学習の場として利用し、結果として地域振興に寄与することを目的に設置された。</p> <p>指定管理制度を活用することで、質の高い住民サービスの提供、利用者数の増加、安定した施設運営をめざす。</p>																		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主催事業の実施</li> <li>○自主事業の実施</li> <li>○受入事業の実施</li> </ul>	実績・成果	<p>【指定管理者】 一般財団法人むつ市教育福祉振興会</p> <p>【指定管理期間】 令和2年4月1日～ 令和5年3月31日</p> <p>【施設の利用状況（総数）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用団体数 203団体</li> <li>・利用者実人数 2,964人</li> <li>・利用者延人数 3,619人</li> <li>・宿泊者人数 653人</li> </ul> <p>【事業の実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○主催事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・23事業</li> <li>・23団体</li> <li>・利用者実人数 272人</li> <li>・主な事業名 黒森山登山、ツリーイング体験</li> </ul> </li> <li>○自主事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・9事業</li> <li>・9団体</li> <li>・利用者実人数 296人</li> <li>・主な事業名 そば打ち体験、べこもち作り</li> </ul> </li> <li>○受入事業及び出張講座等の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・受入事業 76事業</li> <li>・出張講座等 95事業</li> <li>・利用者実人数 2,396人</li> <li>・主な団体名 MASAKARI陸上クラブ まさかりトレッキングクラブ</li> </ul> </li> </ul>																
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">予算総額</td> <td style="text-align: right;">85,929,000 円</td> </tr> <tr> <td>（内訳） 委託料</td> <td style="text-align: right;">85,402,000 円</td> </tr> <tr> <td>          使用料</td> <td style="text-align: right;">76,000 円</td> </tr> <tr> <td>          工事請負費</td> <td style="text-align: right;">451,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	85,929,000 円	（内訳） 委託料	85,402,000 円	使用料	76,000 円	工事請負費	451,000 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">決算総額</td> <td style="text-align: right;">85,928,240 円</td> </tr> <tr> <td>（内訳） 委託料</td> <td style="text-align: right;">85,402,000 円</td> </tr> <tr> <td>          使用料</td> <td style="text-align: right;">75,240 円</td> </tr> <tr> <td>          工事請負費</td> <td style="text-align: right;">451,000 円</td> </tr> </table>	決算総額	85,928,240 円	（内訳） 委託料	85,402,000 円	使用料	75,240 円	工事請負費	451,000 円
予算総額	85,929,000 円																		
（内訳） 委託料	85,402,000 円																		
使用料	76,000 円																		
工事請負費	451,000 円																		
決算総額	85,928,240 円																		
（内訳） 委託料	85,402,000 円																		
使用料	75,240 円																		
工事請負費	451,000 円																		
評価	<p>主催事業、自主事業とも新型コロナウイルス感染症拡大防止をしながら事業を実施していた。利用者からの評価も高い。しかし、豪雨災害により繁忙期である8月9月の2ヶ月は避難所運営となってしまった。2月から3月にかけては新型コロナウイルス感染症が拡大し、事業実施ができなかった。</p>																		
課題	<p>建物の老朽化で修繕等が必要な箇所が多々ある。また、備品についても古くなっており更新が必要である。</p>	今後の方針	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止として出張講座を増やすなどの対策を取っており、質の高い事業実施ができていくことから、建物の老朽化対策と備品の更新について計画的に行っていく。</p>																

(4) 芸術・文化活動の奨励と振興

事業名		むつ市文化賞・文化奨励賞受賞者作品展示																	
概要	むつ市表彰条例に基づき、むつ市において主に文化芸術分野で著しい功績をあげた方を文化賞・文化奨励賞の対象者として選定、推薦し、審査会に諮る。 また、受賞者の功績を広く市民に紹介するため受賞者紹介展を開催する。																		
計画	むつ市の文化賞・文化奨励賞対象者を抽出選定し、推薦する。 また、受賞者が出た場合は受賞者紹介展を開催する。	実績・成果	○文化奨励賞対象団体1名推薦 (田名部の山車行事保存会) ○文化賞・文化奨励賞受賞者紹介展 ・期間：令和3年11月13日～11月24日 ・会場：北の防人大湊 式番館																
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>78,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>45,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>26,000 円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>7,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	78,000 円	(内訳) 報償費	45,000 円	消耗品費	26,000 円	役務費	7,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>46,494 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>30,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>16,494 円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>0 円</td> </tr> </table>	決算総額	46,494 円	(内訳) 報償費	30,000 円	消耗品費	16,494 円	役務費	0 円
予算総額	78,000 円																		
(内訳) 報償費	45,000 円																		
消耗品費	26,000 円																		
役務費	7,000 円																		
決算総額	46,494 円																		
(内訳) 報償費	30,000 円																		
消耗品費	16,494 円																		
役務費	0 円																		
評価	文化奨励賞の対象となる顕著な活動をした団体を選出・推薦し、受賞に繋げることができた。																		
課題	文化芸術の分野において、地域に根差した活動をしている方が減っていることから、候補者選定が年々難しくなっている。	今後の方針	社会教育団体等から情報収集するなど、幅広く候補者の洗い出しを図る。																

事業名		東京藝術大学出身演奏家による芸術鑑賞教室																	
概要	東京藝術大学佐野教授の御協力のもと、新進気鋭の若手演奏家を派遣いただき、小中学生の情操教育に寄与する。																		
計画	○東京藝術大学出身の若手演奏家を市内小中学校に招聘し鑑賞教室を開催。 音楽をとおして児童生徒と交流する。	実績・成果	○大湊中学校にて開催予定であったが、感染症拡大防止のため中止とした。																
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>579,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>210,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>358,000 円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>11,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	579,000 円	(内訳) 報償費	210,000 円	旅費	358,000 円	需用費	11,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算額</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>0 円</td> </tr> </table>	決算額	0 円	(内訳) 報償費	0 円	旅費	0 円	需用費	0 円
予算総額	579,000 円																		
(内訳) 報償費	210,000 円																		
旅費	358,000 円																		
需用費	11,000 円																		
決算額	0 円																		
(内訳) 報償費	0 円																		
旅費	0 円																		
需用費	0 円																		
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止により開催できなかった。																		
課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止により開催が危ぶまれる。しかも、学校の中において演奏することからより慎重な対応が求められる。	今後の方針	ハイレベルの演奏を間近で聞くことができ、児童生徒にとって貴重な経験となっていることから事業を継続していく。																

(5) 郷土の文化遺産の保護・保存と活用

事業名		むつ市文化団体、民俗芸能の保存と伝承活動等支援事業	
概要	市内の芸術文化団体（32団体）で組織され、相互の交流と芸術文化活動の振興を目的に市民文化祭を開催している「むつ市文化団体協議会」に補助金を交付するとともに、民俗芸能の伝承団体等に対し、保存、伝承活動に関する助成金等の情報を提供し、活動を支援する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「市民文化祭」などの事業に対して活動費等の補助を行う。</li> <li>○民俗芸能の伝承団体に対し、保存、伝承活動に関わる補助及び助成金に関する情報を提供し、活動を支援する。</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○むつ市文化団体協議会の事業への補助 51,544円</li> <li>・第51回むつ市民文化祭（感染症拡大防止のため中止）</li> <li>○文化芸術活動に対する共催・後援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・共催承認 1件</li> <li>・後援承認 7件</li> </ul> </li> <li>○財団等助成金情報の提供 7件</li> </ul>
予算	予算総額 74,000 円 （内訳） 補助金 74,000 円	決算	決算総額 51,544 円 （内訳） 補助金 51,544 円
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、文化祭は中止となったが、文化団体協議会への補助や文化芸術活動に対する共催・後援の承認は実施できた。民俗芸能の伝承団体へも財団等助成金情報の提供をすることができた。		
課題	コロナ禍にあっても文化芸能、民俗芸能などの活動が途切れないよう継続的な支援が必要となる。	今後の方針	コロナ禍での活動方法などについて各団体に情報提供し、文化芸能や民俗芸能などの活動の活性化を図る。

事業名		文化財保護審議会の設置	
概要	文化財保護法第190条第1項、及びむつ市文化財保護条例第4条の規定に基づき、むつ市文化財保護審議会を設置し、本市における文化財の保存及び活用に資する。 また、下北地方文化財審議委員連絡協議会会員として、下北管内全域の文化財保護に資する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○委員について <ul style="list-style-type: none"> <li>・定数：15人以内（現在13人）</li> <li>・任期：2年（令和3年12月1日～令和5年11月30日）</li> </ul> </li> <li>○会議の開催：年2回</li> <li>○下北地方文化財審議委員連絡協議会（下文審）の活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・審議委員は会員となっている</li> <li>・生涯学習課が下文審事務局</li> <li>・年1回の総会、年2回の研修会を開催</li> </ul> </li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文化財保護審議会会議：2回開催</li> <li>○下文審総会、前期研修会（むつ市）むつ市中央公民館講堂にて実施。10人参加</li> <li>○下文審後期研修会（むつ市）むつ市立図書館にて実施。11人参加（うち、2人発表）</li> </ul>
予算	予算総額 742,000 円 （内訳） 報酬 410,000 円 費用弁償 301,000 円 需用費 14,000 円 負担金 17,000 円	決算	決算総額 440,410 円 （内訳） 報酬 247,000 円 費用弁償 165,410 円 需用費 11,000 円 負担金 17,000 円
評価	会議では、文化財指定候補物件に関して積極的な意見を聞くことができた。会議時間も決めることで集中的な審議、協議ができた。 また、下文審研修会では講師による貴重な話しを聞き、有意義な研修会となった。		
課題	来期の委員委嘱に向けて、候補者の抽出、選定することが必要となってくると思われる。	今後の方針	高齢化に伴う委員辞退の可能性もあることから、高等教育機関をはじめとする関係機関専門家との折衝を進めていきたい。

事業名		文化財収蔵庫の管理・運営	
概要	<p>市内2ヶ所の文化財収蔵庫について、施設及び収蔵品の適正な管理（収蔵品の状態、所在確認と清掃等）に務める。</p> <p>未整理の収蔵品に関しては調査、整理、データベース化等を行い、むつ地区においては重要文化財指定品を収蔵しているため、施設管理人を配置する。</p>		
計画	<p>○施設管理人を1人配置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データ化作業（計測、写真撮影）、収集、管理</li> </ul> <p>○整理人夫による所在確認、清掃作業の実施</p> <p>○収蔵品の公開と活用</p>	実績・成果	<p>○施設管理人：1人（会計年度任用職員）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料寄贈受理 1件</li> <li>・資料貸出 3件</li> <li>・写真提供 10件</li> </ul> <p>○整理人夫作業（3人）</p> <p>○見学受入：48人（2団体、3組）</p> <p>○出前授業：2件（大湊小2年、3年）</p> <p>○むつ・川内地区収蔵品の活用展示を式番館で実施</p>
予算	<p>予算総額 5,846,681 円</p> <p>(内訳) 給料 2,072,194 円</p> <p>消耗品費 183,287 円</p> <p>燃料費 2,000 円</p> <p>電気料 1,481,000 円</p> <p>上下水道料 172,000 円</p> <p>役務費 345,000 円</p> <p>委託料 648,000 円</p> <p>工事請負費 943,200 円</p>	決算	<p>決算総額 5,660,427 円</p> <p>(内訳) 給料 2,069,389 円</p> <p>消耗品費 273,954 円</p> <p>燃料費 0 円</p> <p>電気料 1,400,339 円</p> <p>上下水道料 163,894 円</p> <p>役務費 336,051 円</p> <p>委託料 646,800 円</p> <p>工事請負費 770,000 円</p>
評価	<p>約10,000点もの資料のデータ化作業については7割弱が終了しているが、3年度は写真整理を中心に作業を進め、学習などに活用することができた。歴史資料については慎重に進めている。</p> <p>出前授業については、「むかしのあそび」や「くらし」の学習で資料を実際に見せたり、触れさせるなど体験をすることで、学習に一定の効果があつた。来年度もお願いしたいと学校からの依頼もあつた。</p>		
課題	<p>今後も増えていく資料等受入に伴う、収蔵場所が不足している。</p>	今後の方針	<p>資料整理と収蔵品の適正な管理及び活用を図る。</p> <p>出前授業の実施について、学校へ活用を促す。</p>



文化財収蔵庫見学の様子

事業名		北の防人大湊式番館の活用とガイド活動支援																													
概要	<p>自主事業を開催し、北の防人大湊式番館の活用を図る。 また、歴史や自然に親しんでもらうため、説明案内するガイドを養成するとともに、ガイドの拠点施設として施設を活用し、ガイド活動支援に努める。</p>																														
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自主事業の企画、実施</li> <li>○ガイド養成講座の開講</li> <li>○ガイド活動団体の支援</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自主事業の実施：3回 <ul style="list-style-type: none"> <li>・GW企画 写真展 大湊のさくら</li> <li>・企画事業1 タイムスリップ</li> <li>・企画事業2 収蔵品展ぼろの世界</li> </ul> </li> <li>○ガイド養成講座…実施（新規登録1人）</li> <li>○ガイド活動団体の支援（活動保険16人分、活動に必要な物品の購入等）</li> <li>○総合的な学習に伴うジュニアガイド養成講座とその活動として市民の皆さんをガイドするツアーの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施校：大湊小学校</li> <li>・ツアー参加者：42人</li> <li>・あわせて県重点事業「小学生による地域の文化財体験事業」実施校</li> </ul> </li> </ul>																												
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td style="text-align: right;">454,891 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">30,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">20,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">95,000 円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td style="text-align: right;">184,091 円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">26,000 円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td style="text-align: right;">99,800 円</td> </tr> </table>	予算総額	454,891 円	(内訳) 報償費	30,000 円	旅費	20,000 円	消耗品費	95,000 円	印刷製本費	184,091 円	役務費	26,000 円	備品購入費	99,800 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td style="text-align: right;">407,491 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">15,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">131,581 円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td style="text-align: right;">147,510 円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">13,600 円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td style="text-align: right;">99,800 円</td> </tr> </table>	決算総額	407,491 円	(内訳) 報償費	15,000 円	旅費	0 円	消耗品費	131,581 円	印刷製本費	147,510 円	役務費	13,600 円	備品購入費	99,800 円
予算総額	454,891 円																														
(内訳) 報償費	30,000 円																														
旅費	20,000 円																														
消耗品費	95,000 円																														
印刷製本費	184,091 円																														
役務費	26,000 円																														
備品購入費	99,800 円																														
決算総額	407,491 円																														
(内訳) 報償費	15,000 円																														
旅費	0 円																														
消耗品費	131,581 円																														
印刷製本費	147,510 円																														
役務費	13,600 円																														
備品購入費	99,800 円																														
評価	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により施設閉鎖などの制限があり、途中で中止になった事業もあったが、3回実施することができた。 また、ガイド活動については、学校活動や観光客の減により、活動時間も短縮するなど影響があったが協力し合い、市内小学校や団体など、拡大防止を講じながら案内することができた。 ジュニアガイドの取り組みについては、地元小学校の総合的な学習として実施しているが、大人のガイドがツアー本番に向けての練習で子供たちにアドバイスするなど、地域と学校との連携が図られ、成功に導いていると思われる。自衛隊の協力も大きく、今後も連携し続けていきたい。</p>																														
課題	ガイド活動や案内についての周知が不十分である。	今後の方針	<p>現ガイド員と協力しながら、ガイド員の確保と周知活動を行う。 様々な観光パンフレット等へ掲載してもらえるよう、関係部署と調整する。</p>																												



ジュニアガイド活動の様子

事業名		文化財・自然調査事業																					
概要	むつ市における貴重な動植物を継続調査することにより、生態系や希少生物の生息を把握する。また、その調査について文化財調査報告にまとめ情報発信する。																						
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・芦崎調査：5回</li> <li>・釜臥山周辺調査</li> </ul> </li> <li>○文化財調査報告第51集 芦崎の自然3の刊行</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・芦崎調査：5回</li> <li>・釜臥山周辺調査：5回</li> </ul> </li> <li>○文化財調査報告第51集 200部刊行</li> </ul>																				
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">予算総額</td> <td style="text-align: right;">841,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報 償 費</td> <td style="text-align: right;">325,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">20,000 円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td style="text-align: right;">484,000 円</td> </tr> <tr> <td>食 糧 費</td> <td style="text-align: right;">12,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	841,000 円	(内訳) 報 償 費	325,000 円	消耗品費	20,000 円	印刷製本費	484,000 円	食 糧 費	12,000 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">決算総額</td> <td style="text-align: right;">799,394 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報 償 費</td> <td style="text-align: right;">318,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">38,445 円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td style="text-align: right;">433,400 円</td> </tr> <tr> <td>食 糧 費</td> <td style="text-align: right;">9,549 円</td> </tr> </table>	決算総額	799,394 円	(内訳) 報 償 費	318,000 円	消耗品費	38,445 円	印刷製本費	433,400 円	食 糧 費	9,549 円
予算総額	841,000 円																						
(内訳) 報 償 費	325,000 円																						
消耗品費	20,000 円																						
印刷製本費	484,000 円																						
食 糧 費	12,000 円																						
決算総額	799,394 円																						
(内訳) 報 償 費	318,000 円																						
消耗品費	38,445 円																						
印刷製本費	433,400 円																						
食 糧 費	9,549 円																						
評価	継続的な調査を実施し、30年分の調査のまとめとして報告書を刊行することができた。市内小中学校、郡内高等学校、郡内教育委員会の他、県内の図書館、博物館などに配付した。																						
課題	まとめた報告書の今後の活用方法と地元調査員の育成	今後の方針	報告書概要版として図鑑を作成し、散策することができるよう、関係機関と協議し事業化する。事業化をきっかけとして、調査員の育成を図る。																				

事業名		埋蔵文化財発掘調査事業																																					
概要	遺跡(市内184ヶ所)における開発行為に対し、現場の事前確認や試掘などの予備調査を実施する。また、遺跡外であっても、大規模開発の場合には同様に予備調査を実施する。																																						
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○業者等の遺跡照会に対する窓口対応</li> <li>○遺跡内で開発行為が行われる場合及び遺跡外でも大規模開発等が行われる場合の事前協議を実施</li> <li>○状況に応じて予備調査(現場確認、踏査、試掘確認調査等)を実施</li> <li>○昨年度の調査報告書刊行</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○業者等による照会件数：101件</li> <li>○試掘確認調査：0件</li> <li>○遺跡の工事立会：3件</li> <li>○報告書刊行：300部</li> </ul>																																				
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">予算総額</td> <td style="text-align: right;">1,486,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報 酬</td> <td style="text-align: right;">13,000 円</td> </tr> <tr> <td>給 料</td> <td style="text-align: right;">811,000 円</td> </tr> <tr> <td>職員手当等</td> <td style="text-align: right;">72,000 円</td> </tr> <tr> <td>報 償 費</td> <td style="text-align: right;">7,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅 費</td> <td style="text-align: right;">105,000 円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td style="text-align: right;">323,000 円</td> </tr> <tr> <td>役 務 費</td> <td style="text-align: right;">58,000 円</td> </tr> <tr> <td>賃 借 料</td> <td style="text-align: right;">97,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	1,486,000 円	(内訳) 報 酬	13,000 円	給 料	811,000 円	職員手当等	72,000 円	報 償 費	7,000 円	旅 費	105,000 円	需用費	323,000 円	役 務 費	58,000 円	賃 借 料	97,000 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">決算総額</td> <td style="text-align: right;">281,417 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報 酬</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>給 料</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>職員手当等</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>報 償 費</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>旅 費</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td style="text-align: right;">237,417 円</td> </tr> <tr> <td>役 務 費</td> <td style="text-align: right;">44,000 円</td> </tr> <tr> <td>賃 借 料</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> </table>	決算総額	281,417 円	(内訳) 報 酬	0 円	給 料	0 円	職員手当等	0 円	報 償 費	0 円	旅 費	0 円	需用費	237,417 円	役 務 費	44,000 円	賃 借 料	0 円
予算総額	1,486,000 円																																						
(内訳) 報 酬	13,000 円																																						
給 料	811,000 円																																						
職員手当等	72,000 円																																						
報 償 費	7,000 円																																						
旅 費	105,000 円																																						
需用費	323,000 円																																						
役 務 費	58,000 円																																						
賃 借 料	97,000 円																																						
決算総額	281,417 円																																						
(内訳) 報 酬	0 円																																						
給 料	0 円																																						
職員手当等	0 円																																						
報 償 費	0 円																																						
旅 費	0 円																																						
需用費	237,417 円																																						
役 務 費	44,000 円																																						
賃 借 料	0 円																																						
評価	本年度の照会案件では緊急に調査を要する案件が無く、予算要求時に調査を想定していた地点も開発事業の進捗状況の関係で調査を行わなかった。そのため、調査に対応する予算の支出は生じなかった。なお、報告書刊行については計画通り実施した。																																						
課題	発掘調査を行い、整理作業を進め、報告書を刊行するという一連の体制が整っていない。また、発掘作業員の確保に苦慮している。	今後の方針	必要な作業量から人員を割り出し、一連の体制づくりに向けて人員の確保を進めていく。また、発掘作業員養成講座を適宜開催することにより、発掘作業員の確保を進めていく。																																				

事業名		田名部館遺跡本発掘調査事業																																									
概要	都市整備部で管轄する代官山公園の整備事業に伴う園路整備工事に先立ち、遺跡の本発掘調査を実施する。当地点は田名部館遺跡の範囲内であり、令和2年に確認調査を実施した結果により工事前に本格的な調査が必要となったもので、工事の一環として実施する事業である。																																										
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○野外調査を5ヶ月間実施</li> <li>○野外調査の結果次第で、適宜室内整理作業を進める</li> <li>○野外調査時に、調査状況により現場を一般に公開する機会を設ける</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○野外調査実施期間 4月19日(月)～10月1日(金)</li> <li>○作業員延べ人数: 650人</li> <li>○現場公開 7月31日(土) 見学者 80名</li> </ul>																																								
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>11,770,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>26,000 円</td> </tr> <tr> <td>給料</td> <td>6,807,000 円</td> </tr> <tr> <td>職員手当等</td> <td>960,000 円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>28,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>438,000 円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>105,000 円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>45,000 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>2,798,000 円</td> </tr> <tr> <td>賃借料</td> <td>563,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	11,770,000 円	(内訳) 報酬	26,000 円	給料	6,807,000 円	職員手当等	960,000 円	報償費	28,000 円	旅費	438,000 円	需用費	105,000 円	役務費	45,000 円	委託料	2,798,000 円	賃借料	563,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>7,611,178 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>給料</td> <td>3,833,686 円</td> </tr> <tr> <td>職員手当等</td> <td>875,040 円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>71,264 円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>93,844 円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>9,344 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>2,640,000 円</td> </tr> <tr> <td>賃借料</td> <td>88,000 円</td> </tr> </table>	決算総額	7,611,178 円	(内訳) 報酬	0 円	給料	3,833,686 円	職員手当等	875,040 円	報償費	0 円	旅費	71,264 円	需用費	93,844 円	役務費	9,344 円	委託料	2,640,000 円	賃借料	88,000 円
予算総額	11,770,000 円																																										
(内訳) 報酬	26,000 円																																										
給料	6,807,000 円																																										
職員手当等	960,000 円																																										
報償費	28,000 円																																										
旅費	438,000 円																																										
需用費	105,000 円																																										
役務費	45,000 円																																										
委託料	2,798,000 円																																										
賃借料	563,000 円																																										
決算総額	7,611,178 円																																										
(内訳) 報酬	0 円																																										
給料	3,833,686 円																																										
職員手当等	875,040 円																																										
報償費	0 円																																										
旅費	71,264 円																																										
需用費	93,844 円																																										
役務費	9,344 円																																										
委託料	2,640,000 円																																										
賃借料	88,000 円																																										
評価	野外調査は計画通り終わることができ、その後、工事が進められた。調査中はほぼ毎日数名の見学者が訪れていた他、現場公開日には80名の見学者が訪れるなど、埋蔵文化財の啓発について一定の成果があった。																																										
課題	発掘調査を行い、整理作業を進め、報告書を刊行するという一連の体制が整っていない。また、野外調査時の作業環境の改善が必要である。	今後の	必要な作業量から人員を割り出し、一連の体制づくりに向けて人員の確保を進めていく。																																								



田名部館遺跡発掘調査の様子



事業名		文化財保護保存管理事業																																	
概要	指定文化財及び天然記念物の保護や保存に努めるとともに、管理する施設（旧大湊水源地水道施設、むつ・川内地区文化財収蔵庫、壱番館等）について物の修繕や環境整備等を行う。																																		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文化財等施設管理 修繕、除草作業等の実施</li> <li>○啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財防火デー（1/26） 文化庁、消防庁が主唱する行事の実施</li> </ul> </li> <li>○天然記念物関連 <ul style="list-style-type: none"> <li>・カモシカについては死体処理及び滅失届の提出と、生体の場合は状況に応じて対応</li> <li>・ハクチョウについては大湊湾内について対応</li> </ul> </li> <li>○文化財パトロール(県事業)</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設管理 壱番館他の除草作業の実施、侵入防止杭の設置、砂利等整備</li> <li>○啓発活動 文化財防火デーの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・田名部地区 訓練：常念寺 ほか、査察等</li> <li>・大湊地区 火災予防査察：常楽寺</li> <li>・川内地区 訓練：川内八幡宮 ほか、査察等</li> <li>・脇野沢地区 訓練：船小屋休憩所</li> </ul> </li> <li>○天然記念物 <ul style="list-style-type: none"> <li>・カモシカ 滅失届：9件</li> <li>・ハクチョウ 特になし 紹介看板の修繕 (大湊航空隊ゲート)</li> </ul> </li> <li>○文化財パトロール 遺跡：66件実施</li> </ul>																																
予算	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>予算総額</td> <td style="text-align: right;">436,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">10,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">28,235 円</td> </tr> <tr> <td>燃料費</td> <td style="text-align: right;">3,000 円</td> </tr> <tr> <td>修繕料</td> <td style="text-align: right;">95,000 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">210,787 円</td> </tr> <tr> <td>原材料費</td> <td style="text-align: right;">48,978 円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td style="text-align: right;">40,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	436,000 円	(内訳) 報償費	10,000 円	消耗品費	28,235 円	燃料費	3,000 円	修繕料	95,000 円	委託料	210,787 円	原材料費	48,978 円	備品購入費	40,000 円	決算	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>決算総額</td> <td style="text-align: right;">217,976 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">7,563 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">30,128 円</td> </tr> <tr> <td>燃料費</td> <td style="text-align: right;">1,177 円</td> </tr> <tr> <td>修繕料</td> <td style="text-align: right;">94,930 円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>原材料費</td> <td style="text-align: right;">48,978 円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td style="text-align: right;">35,200 円</td> </tr> </table>	決算総額	217,976 円	(内訳) 報償費	7,563 円	消耗品費	30,128 円	燃料費	1,177 円	修繕料	94,930 円	委託料	0 円	原材料費	48,978 円	備品購入費	35,200 円
予算総額	436,000 円																																		
(内訳) 報償費	10,000 円																																		
消耗品費	28,235 円																																		
燃料費	3,000 円																																		
修繕料	95,000 円																																		
委託料	210,787 円																																		
原材料費	48,978 円																																		
備品購入費	40,000 円																																		
決算総額	217,976 円																																		
(内訳) 報償費	7,563 円																																		
消耗品費	30,128 円																																		
燃料費	1,177 円																																		
修繕料	94,930 円																																		
委託料	0 円																																		
原材料費	48,978 円																																		
備品購入費	35,200 円																																		
評価	施設等管理については、定期的に見回りを行い景観保護にも努めることができた。天然記念物関連について、特にカモシカは、死骸処理等を粛々と適正に対応したが、対応できる人員の不足を実感した。ハクチョウについては、大湊航空隊ゲート付近に設置していた看板が経年劣化により破損したため、説明内容等を見直し再設置することができた。																																		
課題	天然記念物の場合、事故や感染症などのリスクを背負いながら対応しなければならないこと。	今後の方針	天然記念物の死体処理の場合、滅失届の提出が求められているため業者への委託は難しい。関係機関に相談し、連携して対応できるよう取り組んでいく。																																



文化財防火デー 消火訓練の様子



壱番館での収蔵品展示の様子

事業名		重要文化財保存修理事業(二枚橋2遺跡出土品)	
概要	平成24年9月に国の重要文化財に指定された「二枚橋2遺跡出土品」1,308点のうち、320点について、今後の保存活用のために修復する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○専門業者に委託して修復業務を実施する。業務を進める際は、文化庁の指導監督を受け、当市担当者が立ち会う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・石刀5点、石製玉25点の修復</li> <li>・上記修復資料を含む一括保存台計2点作製</li> </ul> </li> <li>○情報発信</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○修復業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・台付鉢1点、石刀5点、石製玉25点の修復</li> <li>・一括保存台計2点作製</li> <li>・指導監督3回 (開始前、中間、最終)</li> <li>※感染症の影響で開始前、最終の2回について、当市担当者の立会ができなかった。</li> </ul> </li> <li>○情報発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>・HP上で紹介</li> </ul> </li> </ul>
予算	<p>予算総額 3,710,000 円</p> <p>(内訳) 旅 費 48,424 円</p> <p>需用費 213,076 円</p> <p>委託料 3,448,500 円</p>	決算	<p>決算総額 3,708,536 円</p> <p>(内訳) 旅 費 46,960 円</p> <p>需用費 213,076 円</p> <p>委託料 3,448,500 円</p> <p>※決算総額のうち1,854,000円は国庫補助額</p>
評価	修復業務について、入札の執行残により当初計画のものだけでなく、対象資料を追加しており、計画は順調に進んでいる。		
課題	修復対象資料の見直しが必要である。また、保存修理事業後の公開活用の構築に課題がある。	今後の方針	適宜、修復すべき資料を抽出し、今後の計画を見直す。展示場等の整備について検討を進める。一時的な一般公開等の機会を検討する。



出土品修理後 (石刀)

事業名		重要文化財保存修理事業（旧大湊水源地水道施設）	
概要	重要文化財である旧大湊水源地水道施設の修理事業を実施する。 この修理事業は国庫補助金を活用し、平成28年度から令和5年度までの8年計画で実施する予定である。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保存修理事業の実施（国庫補助事業） <ul style="list-style-type: none"> <li>・沈澄池堰堤設計及び監理業務委託</li> <li>・沈澄池堰堤保存修理工事</li> <li>・文化庁調査官による現地指導</li> </ul> </li> <li>○修理専門委員会の開催</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保存修理事業の実施（国庫補助事業） <ul style="list-style-type: none"> <li>・沈澄池堰堤設計及び監理業務委託</li> <li>・沈澄池堰堤保存修理工事</li> <li>・文化庁調査官による現地指導2回 県内委員同行、県外委員オンライン</li> </ul> </li> <li>○修理専門委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催見送り (進捗状況、コロナ感染影響による)</li> </ul> </li> </ul>
予算	<p>予算総額 72,655,000 円</p> <p>(内訳) 報酬 78,000 円 旅費 577,000 円 消耗品費 10,000 円 委託料 11,428,000 円 工事請負費 60,562,000 円</p> <p style="text-align: right;">円</p>	決算	<p>決算総額 30,530,469 円</p> <p>(内訳) 報酬 19,500 円 旅費 151,811 円 消耗品費 9,658 円 委託料 5,710,000 円 工事請負費 24,639,500 円</p> <p>決算総額のうち、17,028,000円は国庫補助金 ※1 委託料5,718,000円、工事請負費35,922,500円は令和4年度に繰越 ※2 令和2年度繰越分 委託料：2,240,980円 工事請負費：7,870,500円 計10,111,480円のうち、5,084,000円は国庫補助金</p>
評価	令和3年8月の豪雨により工事中断を余儀なくされた。安全が確保されるまで中断したため、工期変更が生じ、計画通りに工事が実施できなく繰越となった。		
課題	通常の土木工事と異なるため、計画どおりの進捗管理が難しい状況である。	今後の方針	工事担当者、現場設計監理者と綿密な打ち合わせを行い、安全第一に考え、完成を目指す。

### ■ 生涯学習課の重点項目の評価 ■

<p>令和3年度の社会教育活動については、新型コロナウイルス感染症拡大のため、活動を制限された時期が多く、学習できる環境は限定されました。しかしながら感染予防対策をとりながら事業を実施することができ参加者も徐々に回復してきたと感じている。重要文化財旧大湊水源地施設保存事業については、8月の大雨被害により工期に遅れが生じ完了できない部分もあった。また、自然の家が避難所として活用されたため事業を自粛した。しかしながら数少ないイベント等開催時には市民の方の参加者も多いことから、学びたいという市民の意欲を再認識する1年であった。</p>
---

### 3 学校教育課

#### ■ 重点項目の点検（令和3年度の具体的な取組状況） ■

##### （1）小中一貫教育の充実

事業名		9ブロックでの小中一貫教育推進研究	
概要	次代を担う人づくりに資するために、小・中学校間の連携を重視した教育課程を編成し、9年間を一貫としてとらえた指導体制や教育環境を創るための研究を深化させるとともに、今後の進むべき方向性を市内小・中学校全職員で確認し、学力向上と生徒指導の充実を図る。		
計画	○市内の9つの中学校ブロックへ、小中一貫教育の充実に資する研究を依頼する。	実績・成果	○全9ブロックの研究実施計画書集及び研究実施報告書集の作成、配付 ○小中一貫教育全国サミット(北海道北広島市、令和3年11月12日)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンラインでの開催となった。 ○各ブロックの実情に応じて全員協議会や部会を開催し、小・中学校間の共通理解が図られている。 ○落ち着いた学校生活環境の中で充実した教育活動が実践されていることにより、生徒指導上の問題行動が減少したが、学力に関しては伸び悩んでいる。
予算	予算総額 30,000 円 (内訳) 負担金 30,000 円	決算	決算総額 30,000 円 (内訳) 負担金 30,000 円
評価	コロナ禍ではあったが、各ブロックでは、実状に合わせて工夫しながら小中一貫教育の取組を推進してきたことから、目的は達成できたといえる。		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議等の増加に伴う教員の多忙化</li> <li>・合同行事での移動手段と時間の確保</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点による、集合形式での開催の是非</li> </ul>	今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の多忙化解消に向け、学校訪問時に事業の精選等を依頼していく。</li> <li>・移動手段については、必要に応じて市のバスを配車して対応する。</li> <li>・開催形式については、状況に応じて、柔軟な対応をお願いする。</li> </ul>

事業名		むつ市小中一貫教育推進委員会開催	
概要	小中一貫教育の各ブロックの進捗状況について情報を共有し、9つの各ブロック長と協議を重ね、より一層の推進を図る。		
計画	○9つの各ブロック長による評価委員会を3回開催し、ブロックごとの成果と課題を確認し合う。	実績・成果	○第1回推進委員会：令和3年7月8日 ・各ブロックの取組内容の共有 ・アクションプランの総括 ○第2回推進委員会：令和3年11月18日 ・アンケート結果についての説明 ○第3回推進委員会：開催中止 ・意識調査結果の送付 ○推進委員会での協議を通して他ブロックの取組等について共有できている。
予算	予算総額 98,000 円 (内訳) 旅費 98,000 円	決算	決算総額 65,004 円 (内訳) 旅費 65,004 円

評価	3回目の推進委員会は開催を取りやめ、意識調査結果の送付のみとしたが、第1回、第2回の推進委員会での協議等を踏まえて情報を共有し、次期学校教育プランについての検討も進められたことから、目的は達成できたといえる。		
課題	意識調査の結果について、むつ市全体やブロックごとの集計結果を共有しているが、学校・ブロックの規模により、成果と課題が異なる。	今後の方針	これまでの推進委員会での協議内容と、各ブロックの規模や実状に応じた小中一貫教育の在り方を踏まえ、新しい教育プラン策定に向けた取組を進めていく。

事業名		小中一貫教育非常勤講師配置																	
概要	小中一貫教育における乗り入れ授業（中学校教員による小学校での学習指導等）、小学校高学年一部教科担任制、きめ細かい学習指導、複式学級（一人の教員による複数年での指導）解消など、学力向上と生徒指導の充実を図るため、非常勤講師として教員免許所持者を採用し各中学校ブロックに配置する。																		
計画	○乗り入れ授業、小学校高学年一部教科担任制、きめ細かい学習指導、複式学級解消など、学力向上と生徒指導の充実を図るため、非常勤講師として全9中学校ブロックに9人配置する。	実績・成果	○配置人数：全9中学校ブロックに1人ずつ配置 ○任期：令和3年4月1日～令和4年3月31日 ○小学校における一部教科担任制や少人数指導、ティームティーチングなど、学校の実態に即した取組が進められている。																
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>19,993,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>16,904,000 円</td> </tr> <tr> <td>期末手当</td> <td>1,921,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>1,168,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	19,993,000 円	(内訳) 報酬	16,904,000 円	期末手当	1,921,000 円	旅費	1,168,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>17,729,285 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>15,624,342 円</td> </tr> <tr> <td>期末手当</td> <td>1,713,337 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>391,606 円</td> </tr> </table>	決算総額	17,729,285 円	(内訳) 報酬	15,624,342 円	期末手当	1,713,337 円	旅費	391,606 円
予算総額	19,993,000 円																		
(内訳) 報酬	16,904,000 円																		
期末手当	1,921,000 円																		
旅費	1,168,000 円																		
決算総額	17,729,285 円																		
(内訳) 報酬	15,624,342 円																		
期末手当	1,713,337 円																		
旅費	391,606 円																		
評価	各ブロックに配置された小中一貫教育非常勤講師は、ブロックの実状に応じて児童生徒の指導に当たった。児童生徒のアンケート結果からも85%程度のポジティブ評価を得られていることから、目的は達成できたといえる。																		
課題	学校やブロックの規模により活用状況に違いはあるものの、学校からの要望は高い。しかし、教員免許を所持する適任者の確保がより難しい状況となっている。	今後の方針	配置者に対する学校での効果的な活用の工夫をお願いするとともに、全9中学校ブロックに継続して配置できるように、定年による退職教員へ積極的に周知するなど人材の確保に努める。																



指導の方針と重点説明会

(2) 質の高い教育課程の創造

事業名		指導の方針と重点に関する指導・支援	
概要	「指導の方針と重点」に係る説明会・研修会の開催、説明冊子の発行・配付及び学校計画訪問等により、むつ市学校教育の課題である学力の向上と生徒指導の充実に向けた教育活動がより一層推進されるよう指導・支援を行う。		
計画	○説明会の開催、説明冊子の発行・配付、指導主事による学校訪問により、むつ市学校教育の課題解決と各学校の教育目標の実現を支援する。	実績・成果	○説明会を開催するとともに、説明冊子を全教職員へ配付した。 ○学校訪問時の全体会において方針と重点の説明を行い、全教職員に直接伝える事ができた。
予算	予算総額 128,000 円 (内訳) 消耗品費 23,000 円 印刷製本費 103,000 円 材料費 2,000 円	決算	決算総額 114,701 円 (内訳) 消耗品費 14,876 円 印刷製本費 99,825 円 材料費 0 円
評価	説明会開催、冊子の作成・配付、学校訪問での説明を予定通り実施することができたため、目的は達成できたといえる。		
課題	全教職員に方針と重点を説明する機会を確保する。 冊子については、事業等についての説明も記載されており、教職員にとって使い勝手が良くなるよう、内容の精選も含めた改善が必要である。	今後の方針	次年度もこれまで同様計画訪問時に全体会を開催し、直接先生方に方針と重点について説明していく。 また次年度は、学校教育プランを策定することとなるため、プランの内容に沿って冊子の内容の改善・見直しを行っていく。

事業名		幼稚園・保育園と小学校の情報交換	
概要	小学校入学後3ヶ月程度の間、児童の情報交換を各小学校の実態に応じて行うことで児童理解を深め、指導改善を進める。		
計画	○入学後3ヶ月の間、小学校ごとに幼稚園・保育園との新入学児童に関する情報交換を行い、入学後の児童への適切な指導ができるようにする。	実績・成果	○入学後3ヶ月程度の間実施した学校はなかったが、夏季休業中に行ったり、前年度末に小学校から幼稚園・保育園に向いて入学予定園児の情報収集をしたりしているため、入学後の指導は適切に行われた。
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円
評価	各学校が必要に応じて時期をずらして情報交換を実施しているほか、学習や行事での交流も工夫して行われているため、目的は達成できたといえる。		
課題	小1プロブレムの解消や児童一人一人の実態に応じた指導のために、各小学校では入学前に進んで幼稚園・保育園との情報交換を行っているが、入学後の連携も充実させていく必要がある。	今後の方針	情報交換のみならず、学習や行事での連携等、各校の実情に応じて工夫した取組がなされるよう支援する。

(3) 学力向上対策の充実

事業名		総合学力調査・知能検査実施	
概要	児童生徒対象の学力検査及び知能検査に関する実態把握を通し、学力向上に向けた基礎資料の作成を行う。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○むつ市総合学力調査を小学校4年生から中学校3年生まで実施する。</li> <li>○知能検査を小学校2年生、5年生、中学校1年生で実施する。</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○4月に小学校2年生、5年生、中学校1年生を対象に知能検査を実施した。</li> <li>○4月に小学校4年生から中学校3年生までを対象に学力調査を実施した。今回、対象学年を広げ、小学校4年生の国語、算数の調査も実施したため、より多くの学年の実態把握をすることができた。</li> </ul>
予算	予算総額 4,504,000 円 (内訳) 消耗品費 400,000 円 委託料 4,104,000 円	決算	決算総額 4,332,424 円 (内訳) 消耗品費 385,744 円 委託料 3,946,680 円
評価	予定通り実施することができ、目的は達成できたといえる。		
課題	小学校4年生は2教科、5年生は3教科の実施であり、学力の全体像を捉えにくい面がある。また、小学校5・6年生の外国語の成果についても把握する必要がある。	今後の方針	中学校1年生の実施教科に外国語を加える方向で予算編成していく。

事業名		活用力育成講座開催	
概要	むつ市学校教育の課題である活用力を育成するために、全国学力・学習状況調査等の実態に基づき、各教科における活用力の育成に向けた実践的な研修を行う。また、活用型問題集「ドリームワーク」について周知する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○活用力育成講座を開催する。（「むつ必修講座」として各校1名以上必ず参加）</li> <li>○活用型問題集「ドリームワーク」について学習指導要領の内容に沿った形に改訂する。</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○活用力育成講座               <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和3年8月2日</li> <li>・参加者：24人</li> <li>・講師：前川内小・中学校 校長 葛野 一彦 先生</li> <li>・講義・演習：「探究型授業の可能性を考える」</li> </ul> </li> <li>○活用型問題集「ドリームワーク」について内容を見直し、市内全小中学校に周知した。</li> </ul>
予算	予算額 0 円 (内訳) 旅 費 2,711 円	決算	決算総額 11,711 円 (内訳) 報 償 費 9,000 円 旅 費 2,711 円
評価	講座後の評価アンケートでは、A評価が87.5%に達した。また、活用型問題集の改訂・周知も行うことができたため、目的を達成することができたといえる。		
課題	講座の持ち方について、活用力育成に向けた取組が教科ごとで若干異なるため、共通の視点で研修することができるような工夫改善が必要である。	今後の方針	講座の内容について、小中学校や教科の別なく研修することができるよう、次年度は「総合的な学習の時間」における活用力の育成に焦点を当てて講座を運営する。

事業名		研究大会への派遣助成	
概要	授業研究に関する全国規模の県外研修等に参加し、最新情報を得ることで教員の資質・能力を伸ばすとともに、校内研修を活性化することで、新学習指導要領への対応も含め、本市学校教育の課題である学力向上の改善を図る。		
計画	○各教科や学力向上に関する県外研修等の費用を、予算の範囲内において各校1名分助成する。(対象とする研修会は神奈川県以北とする。)	実績・成果	○7月に中学校教員1名が中学校理科全国大会に、2月に小学校教員1名が筑波大附属小学校初等教育研修会に参加した。(いずれもオンライン開催) ○2名の研修報告書をグループウェアsynerG上のキャビネットに掲載し、各校で閲覧できるようにした。
予算	予算総額 1,541,000 円 (内訳) 旅 費 1,541,000 円 負 担 金 0 円	決算	決算額 0 円 (内訳) 旅 費 0 円 負 担 金 6,000 円
評価	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、多くの研究大会が中止になったりオンライン開催に変更になったりして参加者が少なくなったため、目的が達成されたとは言えない。		
課題	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、研究大会の要項等の公開が遅くなっているため、各校で参加の予定が立てにくくなっていることが予想される。	今後の方針	年度途中における参加希望の追加や変更に対して、臨機応変に対応していく。

事業名		デジタル教科書購入	
概要	児童生徒の学習面での課題(特に小学校算数)である思考力・判断力・表現力等の育成には、ICT機器を使用した活用型の授業改善が効果的なことから、デジタル教科書を購入する。		
計画	○児童生徒の学力の向上を図るため、中学校に対して国語・社会・地図・数学のデジタル教科書を配付し、小学校に対しては、算数・理科の指導者用デジタル教科書を補充する。 ○知識・技能の定着に向け、小学校算数、中学校英語のデジタル教材を配備する。	実績・成果	○中学校デジタル教科書購入 ・国語、社会、地図、数学 ○小学校デジタル教科書購入 ・算数、理科 ○デジタル教材購入 ・小学校算数、中学校英語
予算	予算総額 11,470,300 円 (内訳) 消耗品費 11,470,300 円	決算	決算総額 7,800,534 円 (内訳) 消耗品費 7,800,534 円
評価	指導者用デジタル教科書及びデジタル教材を購入して各校に配付することができたことから、目的を達成できたといえる。		
課題	各学校に、デジタル教材の使用に対するマニュアルを送付したが、使用頻度を高めるために、更なる周知が必要である。また、教科の増加を望む声が多くあるため、教科の増加に向けて検討する。	今後の方針	・指導者用のデジタル教科書は配備が完了したため、活用に向けて周知していく。 ・デジタル教材については、配備する教科を拡充する。



事業名	新聞を活用した学習への支援		
概要	むつ市の小・中学生が新聞に親しみ、新聞を読む習慣を身に付けるとともに、授業等で新聞を活用した教育活動を推進するため、市内全ての小・中学校全学年（特別支援学級を含む）を対象に各学校の希望数により新聞を配備する。		
計画	○市内小学校5, 6年生と中学校全学年の希望する学級（特別支援学級を含む）に新聞を配備する。	実績・成果	○新聞配備部数 小学校：79部 中学校：71部 ○出前授業 小学校5校 中学校1校 ○学校では、短学活でのニュース発表や各教科の学習、個人新聞の作成や児童生徒に読ませたい記事を掲示するなど、児童生徒の実態に応じた多様な活用をした。
予算	予算総額 2,932,000 円 (内訳) 2,932,000 円	決算	決算総額 2,885,605 円 (内訳) 2,885,605 円
評価	アンケート結果から、本事業を通して新聞を毎日読む児童生徒と、週1～3日読むと回答した児童生徒の割合の合計は、小学校28%、中学校40%となり、前年度より割合が増えていることから、目標をおおむね達成できたといえる。		
課題	各学校からは、読解力や情報リテラシーの一層の向上を図るために、複数紙の購読を希望する声上がるが、要望に添った新聞配備ができていない。	今後の方針	今後も各学校からの購読希望部数に最大限応じたい。また、備品（新聞ばさみやストッカー等）の整備等にも応じていきたい。

#### (4) 生徒指導の充実と関係機関との連携強化

事業名	生徒指導検査実施		
概要	学校環境適応感尺度「アセス」を実施し、児童生徒の対人関係能力を育成するとともに、学校の人的環境への適応を促進する。 「いじめ・不登校対策研修講座」を開催し、いじめ・不登校の具体的な支援策およびリスクの高い児童生徒への個別の対応について講義と演習を行い、教員の指導力の向上を目指す。		
計画	○検査対象 小学校3年生から中学校3年生 ○「いじめ・不登校対策研修講座」で不登校への対応とSOSの出し方に関する方法を学び、各校で実践する。	実績・成果	○引き続き、市内すべての小・中学校で各校の実態に合わせ「アセス」を実施した。また、各学校では全学年対象の生活アンケート等も定期的実施し、児童生徒の支援につなげている。 ○成果と課題をまとめた生徒指導検査実施報告書を年度末に作成し、教育系イントラネット上に掲載することで校内研修の一助とした。
予算	予算総額 61,000 円 (内訳) 消耗品費 61,000 円	決算	決算総額 60,500 円 (内訳) 消耗品費 60,500 円
評価	報告書によると、各学校では生徒指導検査の結果をもとにその後の相談活動を行ったり、スクールカウンセラーからのアドバイスを児童生徒の支援に生かしたりしていることから、目的は概ね達成できたといえる。		
課題	市内全小・中学校で「アセス」を実施することができた。今後も「アセス」と各学校独自の生活アンケートを組み合わせながら、児童生徒の困り感を早期にキャッチし、適切な支援につなげていく必要がある。	今後の方針	各学校では「アセス」に加え、生活アンケートや教育相談の実施など児童生徒の状況を多様な方法で把握し、学年・学級経営や生徒指導の充実に向けているため、今後も継続した取組を依頼していく。

事業名		むつ市いじめ問題対策委員会開催	
概要	むつ市のいじめ防止基本方針に基づく対策について、実施状況を定期的に点検及び評価し、不断の見直しを行う。		
計画	○いじめ問題対策委員会を開催する。 (年1回、委嘱期間2年)	実績・成果	○委員の方々に前年度のいじめ防止に関する取組を報告するとともに、今年度の取組について確認いただいた。
予算	予算総額 96,000 円 (内訳) 報酬 46,000 円 旅費 20,000 円 負担金 30,000 円	決算	決算総額 82,451 円 (内訳) 報酬 39,000 円 旅費 16,451 円 負担金 27,000 円
評価	いじめ問題に関する委員の方々の意識は高く、特にネットやSNSを介したいじめが増えていくことを懸念する意見が多く寄せられた。実施状況について点検、評価していただくという観点から、目的は達成できたといえる。		
課題	各校のいじめ防止基本方針及びいじめ防止プログラムの点検と見直しが定期的に行われているかを確認し、必要な情報を適宜提供していく必要がある。	今後の方針	本委員会が出された意見や要望について、校長会と教育委員会との合同会議や、生徒指導担当者が出席する学校警察連絡協議会の定例協議会等を利用し、各校への周知を図る。

事業名		むつ市いじめ防止宣言フォーラム	
概要	「いじめ根絶」に向けた児童・生徒会活動に対する理解を深めるとともに、児童生徒をいじめから守り、市民総がかりでいじめ防止に取り組むという意識の啓発を図る。		
計画	○令和3年11月17日 ・大湊中学校ブロック	実績・成果	○大湊小学校6年生と大湊中学校全校生徒による、いじめ防止につながる取組の発表と、「いじめのない大湊を創るために」をテーマに意見交換が行われた。
予算	予算総額 30,000 円 (内訳) 30,000 円	決算	決算総額 29,552 円 (内訳) 29,552 円
評価	来賓・一般参加者のアンケートでは、回答した全員がフォーラムによって市民総がかりでいじめ防止に取り組むという意識が深まったと答えた。また、児童生徒のアンケートでも、全員がフォーラムを通してこれまで以上にいじめ防止について考えることができたことと回答したことから、目的を達成できたといえる。		
課題	開催校の過度な負担とならないよう、日常におけるいじめ防止の取組を核としたフォーラムの実施に向けて、最大限サポートしていかなければならない。	今後の方針	開催校を通して、フォーラムの開催案内を保護者・地域の方に広く周知するとともに、終了後にフォーラムの様子をリーフレットやむつ市HPへ掲載していく。

(5) 特別支援教育体制の充実

事業名		スクールサポーター配置	
概要	小・中学校の通常学級並びに特別支援学級に在籍する多動傾向や要介助など、特別な配慮を必要とする児童生徒の学校生活や学習活動を支援するため、各学校にスクールサポーターを配置し、特別支援教育体制の充実に努める。		
計画	<p>○33人を配置する。</p> <p>○1日6時間以内、年間1,218時間以内で活用する。</p>	実績・成果	<p>○配置人数：33人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校：8校 26人</li> <li>・中学校：3校 7人</li> </ul> <p>○任期：令和3年4月1日～令和4年3月31日</p> <p>○1日6時間以内、年間1,218時間以内で活用した。</p>
予算	<p>予算総額 47,624,000 円</p> <p>(内訳) 報酬 40,247,000 円</p> <p>期末手当 5,540,000 円</p> <p>旅費 1,837,000 円</p>	決算	<p>決算総額 45,270,287 円</p> <p>(内訳) 報酬 38,821,984 円</p> <p>期末手当 5,356,681 円</p> <p>旅費 1,091,622 円</p>
評価	校長による勤務評定や、教員のアンケート結果から、児童生徒への支援におけるスクールサポーターの重要性を確認することができた。目的は達成できたといえる。		
課題	採用を予定していたスクールサポーターが急遽辞退し、必要な人員が確保できない状況だったが、応募があつて何とか配置できた経緯がある。人材確保に向けた取組が必要である。	今後の方針	今後もハローワークへの求人票提出や市HPへの掲載等、人材確保に取り組んでいく。

事業名		むつ市就学事務説明会・就学相談研修会開催	
概要	未就学児及び児童生徒の適切な就学に向けて、保育所（園）・幼稚園と小・中学校が連携しながら、見通しをもって、より充実した就学相談及び就学指導を行うことができるようにする。		
計画	<p>○市内小・中学校の特別支援教育コーディネーター及び保育所（園）・幼稚園の就学相談担当者を対象に就学指導説明会・就学相談研修会を開催する。</p>	実績・成果	<p>○令和3年5月11日（火）に、下北文化会館にて開催した。参加人数42人。</p> <p>○担当指導主事からの就学事務についての説明のほか、県立むつ養護学校校長湯田秀樹氏による講演を行った。参加者からのアンケートでは、4段階評定でA評価79%、B評価21%と高評価だった。</p>
予算	<p>予算総額 4,000 円</p> <p>(内訳) 旅費 4,000 円</p>	決算	<p>決算総額 3,636 円</p> <p>(内訳) 旅費 3,636 円</p>
評価	特別な支援を要する園児、児童生徒が増加している現状において、参加者のニーズに合った研修内容を提供できたという点で、目的を達成できたといえる。		
課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今回は参加者を増やすことはできなかったが、今後、児童発達センター等の事業所との連携も必要である。	今後の方針	未就学児を支援している児童発達センター等の事業所にも参加を呼びかける。

事業名		むつ市特別支援教育推進委員会開催																									
概要	特別支援教育推進委員会を開催し、適切な教育環境のもとで能力及び特性に応じたきめ細かな指導や、適切な就学ができるよう指導・助言を行う。また、総合判断並びに学校の要請による専門検査及び医学検査を実施する。																										
計画	<p>○定例会は年4回の開催だが、必要に応じ、臨時の特別支援教育推進委員会を開催する。委員会の総合判断の結果を教育長に具申する。</p>	実績・成果	<p>○定期開催：4回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回：令和3年5月13日 委員17人 専門調査員5人</li> <li>・第2回：令和3年9月16日 委員17人 専門調査員7人</li> <li>・第3回：令和3年11月25日 委員17人 専門調査員5人</li> <li>・第4回：令和4年2月17日 委員15人</li> </ul> <p>○臨時開催：8回 ○対象児童生徒数：78人</p>																								
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>864,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>134,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>521,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>118,000 円</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>75,000 円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>16,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	864,000 円	(内訳) 報酬	134,000 円	旅費	521,000 円	消耗品費	118,000 円	手数料	75,000 円	負担金	16,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>678,758 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>97,500 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>419,478 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>115,610 円</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>30,170 円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>16,000 円</td> </tr> </table>	決算総額	678,758 円	(内訳) 報酬	97,500 円	旅費	419,478 円	消耗品費	115,610 円	手数料	30,170 円	負担金	16,000 円
予算総額	864,000 円																										
(内訳) 報酬	134,000 円																										
旅費	521,000 円																										
消耗品費	118,000 円																										
手数料	75,000 円																										
負担金	16,000 円																										
決算総額	678,758 円																										
(内訳) 報酬	97,500 円																										
旅費	419,478 円																										
消耗品費	115,610 円																										
手数料	30,170 円																										
負担金	16,000 円																										
評価	推進委員会での判断に資するため、事務局が学校や園と情報共有し、支援が必要な子供とその保護者との面談や検査を適切に遂行することができた。目的は達成できたといえる。																										
課題	<p>専門検査を必要とする児童生徒が増加する一方で、検査を行うことができる教員(特にWISCIV)が不足している。また、一つの学校に委員、専門調査員が複数いる状況も見られ、同時に推進委員会に出席したり検査を実施したりすることが難しい場合がある。</p>	今後の方針	<p>専門調査員の人数確保のため、検査資格取得のための遠方への研修参加に対する支援を推進する。また、現職教員以外の検査者にも依頼できるようにするために予算編成を検討していく。</p>																								

#### (6) 教育相談活動の充実

事業名		むつ市教育相談室開設																					
概要	いじめや不登校などの悩みを抱える児童生徒及び保護者、教職員に対する一般教育相談・就学相談並びに適応指導などを行うことによって、児童生徒が健全に成長するよう援助する。																						
計画	<p>○むつ市教育研修センターに教育相談員2人を配置する。</p> <p>○むつ市教育研修センターにむつ市教育相談室を開設し、教育相談員を中心に児童生徒とその保護者、学校関係者に対する相談業務を行う。</p>	実績・成果	<p>○教育相談員配置人数：2人</p> <p>○任期：令和3年4月1日～令和4年3月31日</p> <p>○教育相談者数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来室：26件</li> <li>・電話：7件</li> <li>・メール：1件</li> </ul>																				
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>5,226,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>4,611,000 円</td> </tr> <tr> <td>期末手当</td> <td>450,000 円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>56,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>109,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	5,226,000 円	(内訳) 報酬	4,611,000 円	期末手当	450,000 円	報償費	56,000 円	旅費	109,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>5,088,079 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>4,557,728 円</td> </tr> <tr> <td>期末手当</td> <td>449,241 円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>56,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>25,110 円</td> </tr> </table>	決算総額	5,088,079 円	(内訳) 報酬	4,557,728 円	期末手当	449,241 円	報償費	56,000 円	旅費	25,110 円
予算総額	5,226,000 円																						
(内訳) 報酬	4,611,000 円																						
期末手当	450,000 円																						
報償費	56,000 円																						
旅費	109,000 円																						
決算総額	5,088,079 円																						
(内訳) 報酬	4,557,728 円																						
期末手当	449,241 円																						
報償費	56,000 円																						
旅費	25,110 円																						

評価	児童生徒のみならず、保護者とも面談を行い、悩みや不安に寄り添い、状況に応じて適切なアドバイスをすることができた。目的は達成できたといえる。		
課題	不登校に関する相談の場合、教育相談のみで終結しないケースに関しては、適応指導教室の見学や通室を提案し、再登校に向けて適切な支援をする必要がある。 教育相談室が、通室する児童生徒と保護者に対して定期的な面談を実施し、学校に情報提供することで、学校につなぐ役割を果たす必要がある。	今後の方針	今後、保護者面談等の一層の充実を図るために、教育相談室と適応指導教室の運営体制を更に改善し、一人一人に応じた長期目標と短期目標を明確にすることで、より見通しをもった指導ができるようにする。 青森大学むつキャンパスと連携し、学生ボランティアを募集して、適応指導教室の通室生とふれ合う場を設ける予定である。

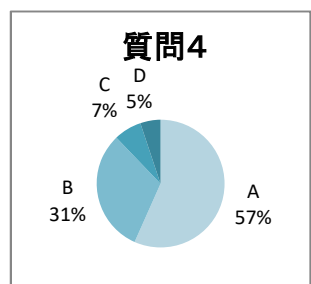
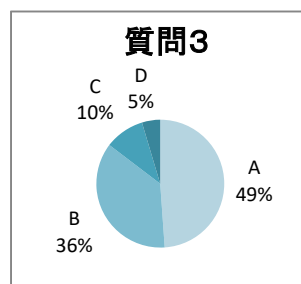
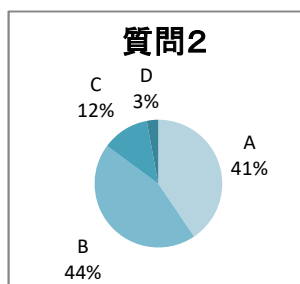
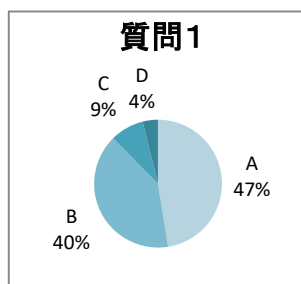
事業名		自立支援相談員配置																	
概要	不登校などの悩みを抱える児童生徒に対して家庭訪問や学校訪問を行い、教育相談活動を実施する。また、適応指導教室に通室している児童生徒の実情を細かく把握し、適切な援助を行う。																		
計画	○むつ市教育研修センターに自立支援相談員を6人配置する。 ○不登校または不登校傾向にある児童生徒への支援の充実を図る。	実績・成果	○自立支援相談員配置人数：6人 ○任期：令和3年4月1日～令和4年3月31日 ○適応指導教室通室生20人に対し、延べ2,612時間程度の支援を行った。																
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>8,371,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>6,985,000 円</td> </tr> <tr> <td>期末手当</td> <td>1,008,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>378,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	8,371,000 円	(内訳) 報酬	6,985,000 円	期末手当	1,008,000 円	旅費	378,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>7,796,517 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>6,788,754 円</td> </tr> <tr> <td>期末手当</td> <td>947,133 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>60,630 円</td> </tr> </table>	決算総額	7,796,517 円	(内訳) 報酬	6,788,754 円	期末手当	947,133 円	旅費	60,630 円
予算総額	8,371,000 円																		
(内訳) 報酬	6,985,000 円																		
期末手当	1,008,000 円																		
旅費	378,000 円																		
決算総額	7,796,517 円																		
(内訳) 報酬	6,788,754 円																		
期末手当	947,133 円																		
旅費	60,630 円																		
評価	来室した児童生徒に寄り添い、登校時に同行するなど積極的な支援を行うことができた。目的は達成できたといえる。																		
課題	自立支援相談員の人員の入れ替わりにより、通室生に対する支援力が下がらないよう工夫が必要である。 適応指導教室に通室する児童生徒が増加傾向にあるため、適切に対応していく必要がある。	今後の方針	自立支援相談員の通室生への支援力を高めるため、教育相談に関する研修を実施し、適切な支援が行えるようにする。 様々なケースに適切に対応するため、チーム支援体制を強化する。																

事業名		適応指導教室開設																					
概要	むつ市教育相談室に適応指導教室を開設し、不登校をはじめとする学校不適応などの課題を抱える児童生徒の学校復帰に向けた指導と支援を行う。																						
計画	○不登校等の悩みを抱える児童生徒への支援の充実を図る。	実績・成果	○適応指導を受けた児童生徒：20人 ○実施した行事等 開閉級式、始業式、終業式、科学技術館体験活動、バス遠足、音楽教室、スポーツ教室、自然の家体験活動、フラワーアレンジメント																				
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>112,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 消耗品費</td> <td>100,000 円</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td>5,000 円</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>2,000 円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>5,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	112,000 円	(内訳) 消耗品費	100,000 円	食糧費	5,000 円	使用料	2,000 円	負担金	5,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>108,399 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 消耗品費</td> <td>99,799 円</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td>2,460 円</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>1,140 円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>5,000 円</td> </tr> </table>	決算総額	108,399 円	(内訳) 消耗品費	99,799 円	食糧費	2,460 円	使用料	1,140 円	負担金	5,000 円
予算総額	112,000 円																						
(内訳) 消耗品費	100,000 円																						
食糧費	5,000 円																						
使用料	2,000 円																						
負担金	5,000 円																						
決算総額	108,399 円																						
(内訳) 消耗品費	99,799 円																						
食糧費	2,460 円																						
使用料	1,140 円																						
負担金	5,000 円																						

評価	来室した児童生徒に寄り添い、学校復帰に向けたきめ細かい支援を行うことができた。目的は達成できたといえる。		
課題	通室生の学校復帰に向けて、個に応じたきめ細かな支援体制を構築する必要がある。	今後の方針	適応指導プログラムの更なる充実を図り、個別の支援計画を基に、組織的・計画的な支援を継続して行う。 青森大学むつキャンパスと連携し、学生ボランティアを募集して、適応指導教室の通室生とふれ合う場を設ける予定である。

(7) 国際化に対応する教育と、郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進

事業名	外国語指導助手配置																										
概要	小学校での外国語活動及び外国語科、中学校での英語科、小・中学校における諸活動に外国語指導助手（ALT）を派遣することによって、日常的な国際理解教育の充実を目指す。																										
計画	○ALT 5人のうち、小学校に4人、中学校に1人を配置し、外国語活動、英語科の授業等において活用を図る。	実績・成果	○ALT配置人数 ・小学校：4人 ・中学校：1人 ○1学級あたりの年間活用時間 ・小学校：約30時間 ・中学校：約15時間 ○市内小学校6年生を対象とした英会話ワークショップ“Enjoy English”を開催することができたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響があり、参加者が5名のみであった。全員A評価であった。																								
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>20,439,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>19,215,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>652,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>572,000</td> <td>円</td> </tr> </table>	予算総額	20,439,000	円	(内訳) 報酬	19,215,000	円	旅費	652,000	円	負担金	572,000	円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>16,861,199</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報酬</td> <td>16,009,426</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>289,473</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>562,300</td> <td>円</td> </tr> </table>	決算総額	16,861,199	円	(内訳) 報酬	16,009,426	円	旅費	289,473	円	負担金	562,300	円
予算総額	20,439,000	円																									
(内訳) 報酬	19,215,000	円																									
旅費	652,000	円																									
負担金	572,000	円																									
決算総額	16,861,199	円																									
(内訳) 報酬	16,009,426	円																									
旅費	289,473	円																									
負担金	562,300	円																									
評価	小学校での外国語学習が本格化したことから、ALTの派遣についてもニーズが高まってきている。また、ALTが意欲的に中学生の英語弁論大会の練習に関わり、昨年度も中学生1名が全国大会への出場資格を獲得した。児童生徒へのアンケート結果でポジティブ評価が概ね85%を超えたことから、目的を達成できたといえる。																										
課題	学校の規模により、各小学校の1学級あたりの派遣回数に格差が見られる。学校規模に応じてALTの複数配置による指導を浸透させ、積極的なALTの活用を促す必要がある。	今後の方針	学校規模に応じた派遣計画作成のため、今後も学校からの要望をうかがいつつ、派遣回数等について検討していく。																								



1. ALTの先生との学習でもっと英語によるコミュニケーションを試みたいと思いましたか。

2. ALTの先生との学習で、積極的に英語を使おうとしましたか。

3. ALTの先生との学習で、外国への興味・関心が高まりましたか。

4. 将来、仕事をするにあたって、英語は必要になると思いますか。

児童生徒によるALTアンケート結果より

【凡例】

A:とてもそう思う B:ややそう思う  
C:あまり思わない D:全く思わない

事業名		むつ市ジュニア大使派遣事業	
概要	むつ市内の中学生をアメリカ合衆国ポートエンジェルス市に派遣し、姉妹都市交流の充実を目指すとともに、次代を担う人材の育成を図る。		
計画	○中学生10人を7日間の行程で派遣する。 ○事前・事後研修会、結団式、報告会の開催及び報告書を作成する。	実績・成果	○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施
予算	予算総額 7,394,000 円 (内訳) 報償費 90,000 円 旅費 2,417,000 円 消耗品費 50,000 円 印刷製本費 54,000 円 食糧費 508,000 円 手数料 10,000 円 委託料 4,245,000 円 使用料 20,000 円	決算	決算総額 0 円 (内訳) 報償費 0 円 旅費 0 円 消耗品費 0 円 印刷製本費 0 円 食糧費 0 円 手数料 0 円 委託料 0 円 使用料 0 円
評価	ステーブンス中学校とのオンライン交流も計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止したことから、評価できない。		
課題	なし	今後の方針	コロナ禍のため、ジュニア大使派遣事業の代替措置として大学等での国際交流を通して、英語力向上を図る。

事業名		中華民国陽明國民中学との友好交流	
概要	旧川内町立川内中学校と中華民国陽明國民中学の姉妹校交流を引き継ぎ、中華民国から中学生と教職員を受け入れ、学校訪問をとおして交流を図る。		
計画	○中華民国陽明國民中学からの訪問団を受け入れ、学校訪問等をとおして交流する。	実績・成果	○12月17日(金)、近川中学校で陽明國民中学の生徒とオンライン友好交流を行い、日本の伝統文化を英語で紹介した。近川中学校の生徒は身近な話題について陽明中学の生徒と問答し合い、楽しく、有意義な交流となった。
予算	予算総額 425,000 円 (内訳) 報償費 70,000 円 旅費 21,000 円 消耗品費 30,000 円 印刷製本費 48,000 円 食糧費 235,000 円 洗濯料 10,000 円 使用料 11,000 円	決算	決算総額 5,760 円 (内訳) 報償費 5,760 円 旅費 0 円 消耗品費 0 円 印刷製本費 0 円 食糧費 0 円 洗濯料 0 円 使用料 0 円
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため訪問は中止となったが、オンライン交流では、生徒24名のポジティブ評価が100%であったことから、目的は達成できたといえる。		
課題	各学校でオンライン友好交流を図るために、準備や練習に多く時間が取られている。今後は、負担軽減のために、日常の英語授業の異文化理解の学びを生かした英語での交流を推進する必要がある。	今後の方針	陽明國民中学とのオンライン友好交流を通して、中学校の生徒が英語でコミュニケーションをする楽しさを味わえるように、中学校と綿密に連絡し合い、計画的に準備を進めていく。

事業名		ジオパーク体験活動推進	
概要	ジオサイトの見学やジオサイトに関する学習を実施する小・中学校に対して、移動に要するバス借上料や教材等の活動費等を助成する。		
計画	○ジオサイトを活用した校外学習にあたって、必要な経費の一部を助成する。	実績・成果	○小学校6校、中学校4校へ助成した。見学先では、北部海岸、尻屋崎、川内ダム、鯛島等が多かった。また、体験活動の前後に、ジオパーク推進課や生涯学習課から講師を招いて学習会を行う学校も多かった。 ○本事業を活用していない小・中学校でも地域学習は継続的に行われている。
予算	予算総額 2,000,000 円 (内訳) 報償費 66,000 円 旅費 78,000 円 消耗品費 278,000 円 自動車借上料 1,578,000 円 恐山入山料 0 円	決算	決算総額 1,429,010 円 (内訳) 報償費 15,000 円 旅費 2,711 円 消耗品費 72,029 円 自動車借上料 1,324,070 円 恐山入山料 15,200 円
評価	校長会との合同会議で事業について周知し、半数程度の学校から申請があった。予算編成の段階では全小中学校を対象としているため、目的の達成度も半分程度であるが、申請のあった学校については申請額の全額を助成している。		
課題	ガイドや講師を積極的に活用したり、体験以外にも自然や伝統文化を調べ、新聞やポスターにまとめる活動を行う学校が増えている。これらの実践を報告書で取り上げることで、さらに活動を広めていく。	今後の方針	児童生徒の実態に応じた体験活動の実施と、事前・事後活動を充実させるために、ボランティアガイドや講師を積極的に活用していくよう学校に促していく。

#### (8) 教育研修センター講座等の充実

事業名		教職員研修講座開設	
概要	教職員の専門性や資質の向上を図り、実践的な指導力を高めるために授業改善等に係る研修講座を開催する。 また、講座内容の改善を図るため、各講座担当指導主事が全国的な研修会に参加する。		
計画	○弘前大学教育学部との連携による授業づくり講座など16講座を開催する。 ○各講座担当指導主事が全国的な研修会に参加する。	実績・成果	○開設講座：15講座 計画では16講座を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1講座を中止せざるを得ず、15講座の開催となった。 ○受講者数：延べ380人 ○全国的な研修会への参加 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため派遣中止
予算	予算総額 906,000 円 (内訳) 報償費 136,000 円 旅費 750,000 円 消耗品費 20,000 円	決算	決算総額 196,776 円 (内訳) 報償費 90,000 円 旅費 86,866 円 消耗品費 19,910 円
評価	指導主事の全国的な研修会への派遣は中止した。研修講座も16の講座を開設予定であったが、1講座開催できなかった。しかし、講座後の評価アンケートではA評価が80%をこえるなど、受講者からは概ね好評であり、目的は達成できたといえる。		
課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止措置を踏まえて講座を開催する必要がある。	今後の方針	研修講座は基本的にむつ市教育研修センターで開催しているが、受講者が多くなることが予想される講座については、別会場で開催する。



(9) 弘前大学との連携強化

事業名		教育研修センター講座等連携																	
概要	弘前大学教育学部との連携による国語、算数・数学、社会、理科、外国語活動・英語の「授業づくり講座」を実施し、下北・むつ市内の各小・中学校から必修で参加する中で、思考力・判断力・表現力等の育成を中心とした活用型の授業づくりを推進する。 また、「心と体の健康教育講座」を実施し、子供の心と体に関する今日的な課題への対応を進める。																		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○5教科の授業づくり講座を開催し、テーマを活用型の授業づくりの研修会とする。</li> <li>○養護教諭等を対象とした健康づくりに関する講座を開催する。</li> <li>○小規模校からの参加にあたっては、過度な負担を課さないよう配慮する。</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○受講者数 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語：25人</li> <li>・算数・数学：32人</li> <li>・社会：25人</li> <li>・理科：31人</li> <li>・外国語活動・英語：31人</li> <li>・心と体の健康教育：21人</li> </ul> </li> <li>○受講者アンケート (4件法によるA評価の割合) <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語：80%</li> <li>・算数・数学：68.8%</li> <li>・社会：65.2%</li> <li>・理科：80.6%</li> <li>・外国語活動・英語：90.3%</li> <li>・心と体の健康教育：65.2%</li> </ul> </li> </ul>																
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">予算総額</td> <td style="text-align: right;">295,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">136,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">139,000 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">20,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	295,000 円	(内訳) 報償費	136,000 円	旅費	139,000 円	消耗品費	20,000 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">決算総額</td> <td style="text-align: right;">143,300 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td style="text-align: right;">81,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td style="text-align: right;">62,300 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> </table>	決算総額	143,300 円	(内訳) 報償費	81,000 円	旅費	62,300 円	消耗品費	0 円
予算総額	295,000 円																		
(内訳) 報償費	136,000 円																		
旅費	139,000 円																		
消耗品費	20,000 円																		
決算総額	143,300 円																		
(内訳) 報償費	81,000 円																		
旅費	62,300 円																		
消耗品費	0 円																		
評価	今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意しながら、弘前大学教育学部との連携による講座を開催することができた。講座後の評価アンケートではA評価が75%をこえており、受講者からは概ね好評であったことから、目的は達成できたといえる。																		
課題	学習指導要領の完全実施に伴い、授業における評価の在り方に関する研修の重要性が増してきており、次年度の講座内容の検討が必要となる。	今後の方針	弘前大学教育学部には、講座で授業における評価の在り方についても取り上げていただくよう、講義を依頼したい。																

事業名		学生との交流									
概要	ラボ・バス実験教室では、科学実験を行うことをとおして科学への関心を高めるとともに、大学生との交流によるキャリア教育の充実を図る。										
計画	○小学校を対象とし、弘前大学教育学部の教授、学生等が指導する「ラボ・バス実験教室」を開催する。	実績・成果	○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施								
予算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">予算総額</td> <td style="text-align: right;">48,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 消耗品費</td> <td style="text-align: right;">48,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	48,000 円	(内訳) 消耗品費	48,000 円	決算	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">決算額</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 消耗品費</td> <td style="text-align: right;">0 円</td> </tr> </table>	決算額	0 円	(内訳) 消耗品費	0 円
予算総額	48,000 円										
(内訳) 消耗品費	48,000 円										
決算額	0 円										
(内訳) 消耗品費	0 円										
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ラボバス実験教室を中止したことから、評価できない。										
課題	なし	今後の方針	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を万全に行った上で、複数校の合同開催の在り方を工夫し、各学校の業務の負担軽減を図る。また、他校との交流を深めながら児童生徒が楽しく活動できるようにする。								

事業名		「健康の未来」を変えるプロジェクト授業	
概要	社会医学の第一人者である弘前大学大学院医学研究科の中路重之特任教授の協力を得て、健康に関心を持ち、生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培うことができるよう、授業実践を推進する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実施校の選定を行う。</li> <li>○開催に向けて日程調整を行う。</li> <li>○保護者の参加を呼びかける。</li> </ul>	実績・成果	市内2中学校において授業を実施した。 ○期 日 令和3年11月11日 ○対象校 田名部中学校、大平中学校 ○対象生徒 田名部中：1学年194名 大平中：2学年72名
予算	予算総額 77,000 円 (内訳) 旅 費 17,000 円 消耗品費 60,000 円	決算	決算総額 68,058 円 旅 費 8,770 円 消耗品費 59,288 円
評価	プロジェクト授業実施後の生徒アンケートでは、全ての生徒が肯定的な回答をしていることから、目的は達成できたといえる。		
課題	実施を希望する学校が限られており、事業の効果も踏まえて、各校に周知する必要がある。	今後の方針	食育、運動、睡眠など、総合的な観点で授業ができること、専門の先生の助言をいただけることを中心に、各学校に対してアピールし、実施校を決定していく。

#### (10) キャリア教育の充実

事業名		むつ市子ども夢育成基金	
概要	むつ市の小・中学生の文化、芸術、スポーツ活動を積極的に支援し、むつ市を担う子供たちを育成するための安定的財源確保を目的とした基金を設立する。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○むつ市の小・中学生が参加する文化・芸術活動の大会派遣に係る経費について補助する。</li> <li>○むつ市の小・中学生が参加するスポーツ活動の大会派遣に係る経費について補助する。</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○むつ市の小・中学生の文化・芸術活動大会派遣補助 317,200円</li> <li>・ピティナ・ピアノコンペティション</li> <li>・第49回東北アンサンブルコンテスト</li> <li>○むつ市の小・中学生のスポーツ活動大会派遣補助 2,767,500円</li> <li>・東北中学校体育大会 (陸上、水泳、ソフトテニス、柔道、駅伝、スキー)</li> <li>・全国中学校駅伝大会 等</li> <li>○基金積立金 2,685,000円</li> <li>○寄附金積立金 3件 405,000円</li> <li>○利子収入積立金 180円</li> <li>○令和3年度末基金残高 9,288,041円</li> <li>※令和2年度末基金残高 9,287,797円</li> </ul>
予算	予算総額 10,025,000 円 (内訳) 補 助 金 5,000,000 円 積 立 金 5,025,000 円	決算	決算総額 6,174,880 円 (内訳) 補 助 金 3,084,700 円 積 立 金 3,090,180 円

評価	新型コロナウイルス感染症の影響も少なくなり、申請件数は例年通りに近づいた。そのため、前年度と比較し支出は多くなったが、その分積み立てることができたため安定的な財源確保ができたといえる。		
課題	安定的な財源確保の継続と、団体のみならず個人での申請も可能であることの周知が必要となる。	今後の方針	継続して広報むつやホームページ等で周知し、電話等で問い合わせが来た時の対応についてわかりやすく丁寧に伝えることを心掛け、身近な補助金として市民に浸透するように努める。

事業名	むつ市こども議会		
概要	むつ市の小学生が、議会傍聴をとおして市政と市議会のしくみを理解するとともに、次代を担う市民としての自覚を深める機会とする。		
計画	○市内小学校6年生20名を対象として、学校規模に合わせて各校1～2名を募集する。 ○6月、9月議会の一般質問（議員1～2）を傍聴する。	実績・成果	○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施。
予算	予算総額 34,000 円 (内訳) 旅 費 34,000 円	決算	決算額 0 円 (内訳) 旅 費 0 円
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、むつ市こども議会を中止したことから、評価できない。		
課題	新型コロナウイルス感染症への対応により、各小学校の議会傍聴人数が減っている。	今後の方針	新型コロナウイルス感染症への対応により、議会傍聴が制限されているが、可能な限り多くの児童が議場で傍聴できるようにしていく。

事業名	むつ市中学生夢はぐくむ体験入学事業		
概要	大学での体験活動をとおして、将来の職業に対する意識と学習意欲を向上させるとともに、各中学校でのキャリア教育推進の一助とする。 地域の医療や住民の健康状態等の現状と課題を知らせ、健康に対する意識を高め、健康的な生活を送る態度を育てるとともに、地域の課題解決に向けて積極的に関わろうとする意欲を持たせる。		
計画	○青森中央学院大学で体験活動を行う。 ○対象となる市内中学生を募集する。 (定員20人)	実績・成果	○新型コロナウイルス感染症拡大のため、辞退する生徒もあり、参加者は5名であった。
予算	予算総額 24,000 円 (内訳) 食 糧 費 24,000 円	決算	決算総額 5,236 円 (内訳) 食 糧 費 5,236 円
評価	生徒のアンケート結果からA評価が100%であったことから、目的を達成できたといえる。		
課題	今後、他大学での事業実施の可能性についても検討する必要がある。	今後の方針	新型コロナウイルス感染症の感染状況も踏まえながら、複数の大学に事業実施について働きかけていく。

事業名		関係機関との連携	
概要	海洋研究開発機構むつ研究所による海洋教室や、東北放射線科学センターによる理科教室を行うことにより、科学への関心を高めるとともに、研究者との交流をとおして、夢と希望を育てる。		
計画	○小・中学校において、海洋教室及び理科教室を開催する。	実績・成果	○海洋教室 ・令和3年11月10日 大畑中学校2年生 : 36人  ○理科教室 ・令和3年11月18日 第三田名部小学校5年生 : 42人
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円
評価	海洋教室では、身近な場所にある水の水質検査の実験を通して、海洋環境の保全について考えを深めることができた。児童のアンケート結果ではポジティブ評価が97%であったことから、目的を達成できたといえる。理科教室では、身の回りにある放射線を観察する活動を通して、自然の事物・現象に関する考えを深めることができた。		
課題	科学への関心を高めるとともに、専門家との交流を通じて夢と希望をはぐくめるよう運営の工夫を図る必要がある。	今後の方針	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を万全に行った上で、児童生徒が楽しく活動できるよう関係機関と連携していく。

事業名		キャリア教育推進事業	
概要	キャリア教育の一環として、むつ下北または青森県出身者を中心に全国的な活躍をしている方の講話を聴く体験をとおして、将来の職業に対する意識や学習意欲を向上させ、本市の未来を担う人材を育成することにつなげる。		
計画	○実施校の選定を行う。 ○開催に向けて日程調整を行う。	実績・成果	○市内小・中学校7校で実施。 脇野沢小学校、脇野沢中学校、大湊小学校、大湊中学校、むつ中学校、第三田名部小学校、奥内小学校
予算	予算総額 834,000 円 (内訳) 報 償 費 330,000 円 旅 費 504,000 円	決算	決算総額 115,727 円 (内訳) 報 償 費 84,000 円 旅 費 31,727 円
評価	児童生徒のアンケート結果では、ポジティブ評価は89%で高い評価を得られたことから、目的は達成できたといえる。		
課題	新型コロナウイルス感染症の対応に伴い、県内を中心とした講師派遣となり、学校で選択できる講師の幅が狭くなった。	今後の方針	今後も、市内小中学校で講演を実施する予定であるが、今後は、講師の範囲を広げて、児童生徒の学習意欲向上につなげていく。

## ■ 学校教育課の重点項目の評価 ■

<p>令和3年度もジュニア大使の派遣や陽明国民中学の生徒の来訪が中止となるなど、新型コロナウイルス感染症感染拡大に影響を受けた事業があった。しかしながら、陽明国民中学との友好交流がオンラインで行われたり、教員の研究大会への派遣についてオンラインでの参加が実現するなど、インターネットを活用した事業展開が見られ、事業の実施について新たな展望が感じられた1年でもあった。</p> <p>いまだに新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に配慮しながらの教育活動実施を余儀なくされている状況にあるが、全教職員の叡智を結集して学校運営に取り組んでいる学校現場を支えるため、学校教育課事業全般において、ICTの活用も含め、新たな実施の可能性を探りながら、必要な改善を図っていく。</p>
---

#### 4 公民館（中央、川内、大畑、脇野沢）

##### ■ 重点項目の点検（令和3年度の具体的な取組状況） ■

##### （1）公民館の適正管理と運営の充実

事業名		公民館運営審議会委員の委嘱													
概要	公民館運営審議会は、館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議するものである。 むつ市公民館条例第5条に基づき公民館運営審議会の委員を委嘱する。														
計画	委員の定数は、15人以内とし、任期は2年とする。 令和3年8月31日をもって任期満了となることから、改めて15名を委員に委嘱する。 審議会については、むつ市中央公民館長が必要に応じて招集し開催する。	実績・成果	○令和3年4月14日 第182回むつ市公民館運営審議会開催 （前年度運営の現況報告、本年度事業概要の説明等） ○委嘱状交付式（新任2名、再任13名） コロナ感染防止対策のため中止、郵送による交付 ○令和3年10月1日 第183回むつ市公民館運営審議会開催 （組織会、中間実績報告等）												
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>355,000 円</td> </tr> <tr> <td>（内訳） 報 酬</td> <td>228,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅 費</td> <td>127,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	355,000 円	（内訳） 報 酬	228,000 円	旅 費	127,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>221,000 円</td> </tr> <tr> <td>（内訳） 報 酬</td> <td>130,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅 費</td> <td>91,000 円</td> </tr> </table>	決算総額	221,000 円	（内訳） 報 酬	130,000 円	旅 費	91,000 円
予算総額	355,000 円														
（内訳） 報 酬	228,000 円														
旅 費	127,000 円														
決算総額	221,000 円														
（内訳） 報 酬	130,000 円														
旅 費	91,000 円														
評価	公民館運営審議会を開催し、委嘱された委員よりこれまでの運営状況及び今後の運営方針について審議していただき、目的は達成されている。														
課題	コロナ禍による事業の中止等の影響か、委員からの意見も少なくなっている。	今後の方針	審議会の機能を生かしながら、市民のニーズに沿った事業を推進していく。												

事業名		地区館長・分館長の委嘱													
概要	むつ市公民館組織等規則第4条に基づき地区館長・分館長を任命し、適正な地区館・分館の運営についての協議を行うとともに、年間の事業計画及び報告等を行う。														
計画	地区館長・分館長の任期は2年となっており、令和3年3月31日をもって任期満了とったことから、新たに地区館長・分館長を任命し、運営についての会議を開催する。	実績・成果	○令和3年4月16日 分館長・地区館長委嘱状交付式 中央公民館分館長会議  ○令和3年10月15日 川内公民館地区館長会議  ※コロナ感染症拡大防止のため 大畑公民館地区館長会議は中止												
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>1,087,000 円</td> </tr> <tr> <td>（内訳） 報 酬</td> <td>944,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅 費</td> <td>143,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	1,087,000 円	（内訳） 報 酬	944,000 円	旅 費	143,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>971,000 円</td> </tr> <tr> <td>（内訳） 報 酬</td> <td>913,813 円</td> </tr> <tr> <td>旅 費</td> <td>57,187 円</td> </tr> </table>	決算総額	971,000 円	（内訳） 報 酬	913,813 円	旅 費	57,187 円
予算総額	1,087,000 円														
（内訳） 報 酬	944,000 円														
旅 費	143,000 円														
決算総額	971,000 円														
（内訳） 報 酬	913,813 円														
旅 費	57,187 円														
評価	地区館長・分館長を置き運営についての協議等が行われ、適正な地区館・分館の運営ができています。														
課題	施設の老朽化が進み、安全・安心に利用できない分館・地区館も見受けられる。	今後の方針	各地区館において積極的に見まわり等を行い、安全・安心を確保していく。												

事業名		中央公民館照明器具LED化事業等	
概要	平成4年の竣工後25年以上経過し、経年劣化している中央公民館の照明器具について、経費削減と環境負荷の低減を目的としてLED化を図る。		
計画	対象場所 むつ市中央公民館 (講堂舞台照明設備は除く)  工事期間 令和3年8月～令和4年3月	実績・成果	むつ市中央公民館照明器具LED化工事 契約日 令和3年9月30日 契約額 25,190,000円 工期 令和3年10月1日 ～令和4年2月25日  既存照明器具を撤去処分し、LED照明器具を設置(講堂舞台照明設備は除く)
予算	予算総額 27,082,000 円 (内訳) 工事価格 24,620,000 円 消費税 2,462,000 円	決算	決算総額 25,190,000 円 (内訳) 工事価格 22,900,000 円 消費税 2,290,000 円
評価	今後、照明器具の経費削減と環境負荷の低減が図られると見込まれる。		
課題	照明器具以外の設備の老朽化も進んでいるため、改修が必要である。	今後の方針	老朽度調査等を行った上で計画的な改修を実施し、施設の長寿命化を図っていく。

○各中央館の利用状況 (回、人)

		令和3年度	令和2年度	増減
中 央	回数	1,164	1,027	137
	人数	18,154	13,572	4,582
川 内	回数	146	66	80
	人数	2,293	1,102	1,191
大 畑	回数	592	521	71
	人数	6,653	5,777	876
脇野沢	回数	304	219	85
	人数	2,461	1,599	862
計	回数	2,206	1,833	373
	人数	29,561	22,050	7,511

(2) 公民館事業の推進

事業名		子ども向け各種講座開設	
概要	公民館を身近に親しんでもらい、様々な活動を通じて仲間づくりを行い、児童の健全育成を推進する。		
計画	<p>①こどもゼミナール（中央公民館）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生を対象に、体験型の講座を提供する。</li> </ul> <p>②こども仕事体験館「GOOD JOB（グッジョブ）!!」（中央公民館）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学4～6年生を対象に、職業への理解促進と地元での就業活動について考えるきっかけをつくる。</li> </ul> <p>③子どもお楽しみ会（中央公民館）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児から小学生までを対象に大型紙芝居やアニメ映画の上映会を実施</li> </ul> <p>④その他・教室・講習会等（大畑公民館）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ねぶた囃子講習会</li> <li>○子どもねぶた合同運行</li> <li>○大畑子ども会冬期レクリエーション大会</li> </ul>	実績・成果	<p>①こどもゼミナール（中央公民館）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ジオパーク講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和3年6月13日</li> <li>・参加者：8人</li> </ul> </li> <li>○ミュージック講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和3年6月27日</li> <li>・参加者：8人</li> </ul> </li> <li>○科学実験講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和3年7月4日</li> <li>・参加者：13人</li> </ul> </li> <li>○むつ湾ふれあい講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和3年8月1日</li> <li>・参加者：14人</li> </ul> </li> <li>○自然満喫講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和3年9月12日</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</li> </ul> </li> <li>○川内自然散策講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和3年10月10日</li> <li>・参加者：5人</li> </ul> </li> <li>○パソコン講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和3年11月28日 令和3年12月4日</li> <li>・参加者：15人</li> </ul> </li> <li>○お菓子づくり講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和3年12月18日</li> <li>・参加者：24人</li> </ul> </li> <li>○あそんでうんどう講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和4年1月16日</li> <li>・参加者：16人</li> </ul> </li> <li>○和菓子講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和4年1月30日</li> <li>・参加者：12人</li> </ul> </li> </ul> <p>②こども仕事体験館「GOOD JOB（グッジョブ）!!」（中央公民館）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和3年11月14日</li> <li>・参加者：36人</li> <li>・講師：5団体10名</li> </ul> <p>③子どもお楽しみ会（中央公民館）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○夏のお楽しみ会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和3年7月11日</li> <li>・参加者：36人</li> </ul> </li> <li>○冬のお楽しみ会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和3年12月12日</li> <li>・参加者：90人</li> </ul> </li> </ul> <p>④その他・教室・講習会等（大畑公民館）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ねぶた囃子講習会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和3年7月27・28日</li> <li>・参加者：延べ20人</li> </ul> </li> <li>○子どもねぶた合同運行 中止</li> <li>○大畑子ども会冬期レクリエーション大会 中止</li> </ul>

予 算	予算総額	516,793 円	決 算	決算総額	331,597 円
	(内訳)			(内訳)	
	報 償 費	325,000 円		報 償 費	208,500 円
	旅 費	64,453 円		旅 費	43,855 円
	需 用 費	110,700 円		需 用 費	64,282 円
	食 糧 費	1,640 円		食 糧 費	0 円
	原 材 料 費	15,000 円		原 材 料 費	14,960 円
評 価	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、募集定員を当初から少なく設定または当日参加可能な事業を事前申込制へ見直しを行なったの開催であった。概ね募集定員を満たす応募があったことからニーズはとらえていたものと解するが、事業によっては学校活動制限期間中の申込者数減少、当日熱・風邪症状があった場合の参加自粛要請による欠席数増加といった事象が見受けられた。一方電子メール受付も可能とした事業における電子メール使用割合は過半数を超え、昨年度以前よりも共働き世代や平日日中の申込が困難な世帯に上手くアプローチができ始めている。</p>				
課 題	<p>子供向け講座は定員を超える申込があるなど人気がある一方、感染症対策等における定員・実施内容・会場設定等に工夫を要する。</p>	今 後 の 方 針	<p>定員・実施内容・会場設定等へ現在の情勢を柔軟に反映させながら、より気軽に児童・保護者が申込・参加できるような事業を実践していく。</p>		

事業名		かきぞめ大会の開催			
概 要	<p>子ども達が筆に親しみ、日本の伝統美に対する心を養うことを目的に、小・中学生を対象としたかきぞめ大会を開催し、作品の展覧会及び優秀作品の表彰式を行う。</p>				
計 画	<p>①かきぞめ大会（4地区で実施） ○むつ会場（中央公民館） ○川内会場（川内公民館） ○大畑会場（大畑公民館） ○脇野沢会場 （脇野沢地域交流センター）</p> <p>②展覧会 ○中央公民館</p> <p>③表彰式</p>	実 績 ・ 成 果	<p>①かきぞめ大会 ○むつ会場 ・開催日：令和4年1月8日 ・参加者：69人 （内訳）小学生52人 中学生17人 ○川内会場 ・開催日：令和4年1月7日 ・参加者：16人 （内訳）小学生16人 中学生0人 ○大畑会場 ・開催日：令和4年1月8日 ・参加者：18人 （内訳）小学生17人 中学生1人 ○脇野沢会場 ・申込者なく未開催</p> <p>②展覧会 ○中央公民館 ・開催日：令和4年1月15日～23日 ・入場者：440人 ・入賞数：69点 （特選10点、準特選18点、入選41点）</p> <p>③表彰式 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p>		
予 算	予算総額	163,000 円	決 算	決算総額	126,792 円
	(内訳)			(内訳)	
	報 償 費	59,000 円		報 償 費	75,000 円
	旅 費	15,000 円		旅 費	11,288 円
	需 用 費	89,000 円		需 用 費	40,504 円



評価	コロナ禍ではあるものの、かきぞめ大会の参加者は前年度とほぼ変わりなく、日本の伝統であるかきぞめ大会を実施し、参加者へのニーズに応えることはできたと考えられる。		
課題	かきぞめ大会を継続していくために参加者の確保が必要である。	今後の方針	日本の伝統である「かきぞめ」を承継していくためにも、学校と連携を図りながら、参加者の確保に努めていく。

**事業名** 市民大学及び各種講座開設事業

**概要** 自然、芸術、社会、歴史、生活、健康など学習ニーズに対応した講座を開設し、地域の方々の教養の向上、健康の増進、情操の涵養に資することで、心豊かな地域社会を目指す。

計画	<p>○公開講座：10回（中央公民館） 5月から2月まで月1回の開催 講演会形式で登録者以外でも受講可能としている。</p> <p>○ゼミナール：19講座 実技等を伴う講座で、一講座当たり数回の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公民館：9講座</li> <li>・川内公民館：2講座</li> <li>・大畑公民館：4講座</li> <li>・脇野沢公民館：4講座</li> </ul> <p>○修了証の交付 受講登録者で、規定の単位を取得した方に修了証を交付</p>	実績・成果	<p>○公開講座開催状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公開講座</td> <td>8回</td> <td>5回</td> </tr> <tr> <td>聴講者数</td> <td>延 353人</td> <td>延 267人</td> </tr> <tr> <td>登録者数</td> <td>56人</td> <td>62人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康管理、ジオパーク、海上自衛隊の概要など</li> </ul> <p>○ゼミナールの公民館別開催状況 (上段：講座数 下段：登録者数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>公民館</th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">中央</td> <td>8講座</td> <td>8講座</td> </tr> <tr> <td>65人</td> <td>69人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">川内</td> <td>2講座</td> <td>1講座</td> </tr> <tr> <td>28人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">大畑</td> <td>4講座</td> <td>1講座</td> </tr> <tr> <td>58人</td> <td>39人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">脇野沢</td> <td>4講座</td> <td>4講座</td> </tr> <tr> <td>80人</td> <td>51人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計</td> <td>18講座</td> <td>14講座</td> </tr> <tr> <td>231人</td> <td>167人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・料理、着付け、陶芸、歴史探訪など</li> </ul> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公開講座2回、ゼミナール1回中止となった。</p> <p>○修了証の交付者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>修了者数</td> <td>41人</td> <td>53人</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度	令和2年度	公開講座	8回	5回	聴講者数	延 353人	延 267人	登録者数	56人	62人	公民館	令和3年度	令和2年度	中央	8講座	8講座	65人	69人	川内	2講座	1講座	28人	8人	大畑	4講座	1講座	58人	39人	脇野沢	4講座	4講座	80人	51人	計	18講座	14講座	231人	167人		令和3年度	令和2年度	修了者数	41人	53人
			令和3年度	令和2年度																																													
公開講座	8回	5回																																															
聴講者数	延 353人	延 267人																																															
登録者数	56人	62人																																															
公民館	令和3年度	令和2年度																																															
中央	8講座	8講座																																															
	65人	69人																																															
川内	2講座	1講座																																															
	28人	8人																																															
大畑	4講座	1講座																																															
	58人	39人																																															
脇野沢	4講座	4講座																																															
	80人	51人																																															
計	18講座	14講座																																															
	231人	167人																																															
	令和3年度	令和2年度																																															
修了者数	41人	53人																																															
予算	<p>予算総額 1,007,000 円</p> <p>(内訳) 報償費 586,000 円 旅費 388,000 円 需用費 24,000 円 使用料及び賃借料 9,000 円</p>	決算	<p>決算総額 588,397 円</p> <p>(内訳) 報償費 354,000 円 旅費 213,718 円 需用費 20,679 円 使用料及び賃借料 0 円</p>																																														

評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をした上で、可能な範囲での公開講座、ゼミナールを実施し、コロナ禍にありながらも市民が望む学びの場を提供することができた。		
課題	公開講座は誰でも参加できる集客スタイルとしているため、感染症予防対策を十分に講じていく必要がある。 新規の受講者が少なく、全体の受講者数も減少傾向にある。	今後の方針	感染症予防対策をしっかりと講じながら、公開講座、ゼミナールを開催し、引き続き、新規受講者の増加に重点を置き、魅力ある「むつ市民大学」を実施していく。

<b>事業名</b> 婦人学級開催			
概要	女性としての生き方を考え、より豊かな人間性を育み、地域課題、生活課題に向き合うため「自ら学ぶ」ことを基本とした学習活動を展開する。		
計画	○むつ地区7学級 ・各学級毎に年間事業計画を立て、それに沿って活動するほか、他の学級等との合同学習会に参加し交流を深める。	実績・成果	○学級長会議 ・開催日：令和3年4月23日 参加者：5人 ・開催日：令和4年3月11日 参加者：4人 ○学級長研修会 ※中止 ○合同学習会 ・開催日：令和3年6月9日 参加者：15人 ○郷土料理教室 ・開催日：令和3年10月13日 参加者：9人 ・開催日：令和3年10月24日 参加者：10人 ・開催日：令和3年10月29日 参加者：11人
予算	予算総額 173,000 円 (内訳) 報 償 費 96,000 円 旅 費 52,000 円 需 用 費 18,000 円 使用料及び賃借料 7,000 円	決算	決算総額 62,440 円 (内訳) 報 償 費 36,000 円 旅 費 20,235 円 需 用 費 6,205 円 使用料及び賃借料 0 円
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学級長研修会は中止とし、7学級中2学級は学級単位での活動を休止している。活動した学級においても、例年通りの活動が難しい状況であったが、それぞれの学級に対し、感染予防対策等の助言・指導を行い、できる範囲での活動を行わせることができた。		
課題	学級生の高齢化や参加者の減少により、各学級単位での学習が難しくなっている。 そのため、学級間の合同学習会を実施していく必要がある。	今後の方針	学級活動を支援していくため、各婦人学級長への連絡や訪問等を行いながら、学習内容の相談や指導を今後も継続していく。 学級間の合同学習会参加者が少しずつ増加しているため、今後もより積極的な活動ができるよう支援をしていく。

事業名		分館地域づくり講座開催																					
概要	地域住民が共に集い、学び合う場を提供し、活気あふれる地域社会づくりの推進を目的とする。																						
計画	分館長会議を開催し、地域づくり講座の説明をしながら実施について促していく。 (対象：16分館)	実績・成果	令和3年4月16日 分館長会議開催 講座開催の説明を行い、希望を募ったが、締切日まで応募がなかったため講座は開催されなかった。																				
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>45,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>23,000 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>15,000 円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>3,000 円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>4,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	45,000 円	(内訳) 報償費	23,000 円	旅費	15,000 円	需用費	3,000 円	使用料及び賃借料	4,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 報償費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>0 円</td> </tr> </table>	決算総額	0 円	(内訳) 報償費	0 円	旅費	0 円	需用費	0 円	使用料及び賃借料	0 円
予算総額	45,000 円																						
(内訳) 報償費	23,000 円																						
旅費	15,000 円																						
需用費	3,000 円																						
使用料及び賃借料	4,000 円																						
決算総額	0 円																						
(内訳) 報償費	0 円																						
旅費	0 円																						
需用費	0 円																						
使用料及び賃借料	0 円																						
評価	新型コロナウイルス感染症感染防止の影響からか、分館からの応募がないため評価はできない。																						
課題	近年、各分館からの地域づくり講座の応募が少なくなっている。	今後の方針	新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じ、積極的に活用してもらえるよう年間を通して各分館に案内していく。																				

### (3) 社会教育関係団体等の育成支援

事業名		各団体への指導・助言									
概要	婦人教育分野、団体育成について社会教育指導員を配置し、直接指導及び学習相談に応じるなどして育成を行う。少年教育分野、団体育成については職員の人的援助等により助成、育成を行う。										
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中央公民館に社会教育指導員(1名)を配置し、婦人教育の直接指導及び学習相談、並びに社会教育関係団体の育成を行う。</li> <li>○各団体の活動を支援するため補助金等を交付する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・むつ市連合婦人会</li> <li>・むつ市子ども会育成会連絡協議会</li> <li>・下北地区子ども会育成連合会</li> <li>・青森県子ども会安全会負担金</li> </ul> </li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>①むつ地区連合婦人会 <ul style="list-style-type: none"> <li>○むつ市婦人体育まつり <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>②むつ市連合婦人会 <ul style="list-style-type: none"> <li>○むつ市婦人芸能発表会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>③むつ市子どもネブタ運行委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>○むつ市子どもネブタ合同運行補助 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>④下北地区子ども会育成連合会事務局 <ul style="list-style-type: none"> <li>○第37回下北地区子ども会郷土芸能発表会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>								
予算	<table border="0"> <tr> <td>予算総額</td> <td>659,000 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 負担金補助及び交付金</td> <td>659,000 円</td> </tr> </table>	予算総額	659,000 円	(内訳) 負担金補助及び交付金	659,000 円	決算	<table border="0"> <tr> <td>決算総額</td> <td>557,700 円</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 負担金補助及び交付金</td> <td>557,700 円</td> </tr> </table>	決算総額	557,700 円	(内訳) 負担金補助及び交付金	557,700 円
予算総額	659,000 円										
(内訳) 負担金補助及び交付金	659,000 円										
決算総額	557,700 円										
(内訳) 負担金補助及び交付金	557,700 円										

評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、婦人芸能発表会、子ども会郷土芸能発表会等の大規模な事業は中止となったが、各地区婦人会及び子ども会においては、できることが限られる中ではあるものの活動は行われていた。		
課題	<p>婦人団体は、単会の解散及び新規会員数の減少により高齢化が進んでいる。</p> <p>子ども会は、地域の児童・生徒数の減少や活動の多様化により団体の休止や会員数の減少が続いている。</p> <p>また、それぞれの地区の子ども会活動を支援する育成者も減少している。</p>	今後の方針	<p>少子化や多様化に即した対応策を検討しながら、団体の持続や積極的な活動を視野に入れた育成支援及び指導を行っていく。</p>

事業名	公民館まつりの開催		
-----	-----------	--	--

概要	各中央館（中央、川内、大畑、脇野沢）の利用団体等が制作した作品の展示や、日頃の活動の成果を発表する場を設け、各団体との交流と活動の更なる活性化を図るとともに、訪れた市民を通じて市全体の生涯学習の意識の高揚を図る。		
----	--	--	--

計画	<p>○公民館を利用しているサークル等が一堂に会し、日頃の活動を紹介・展示及び実演・体験指導を行い、市民の生涯学習（文化活動）の活性化を図る。</p> <p>各中央館で開催する。</p>	実績・成果	<p>○中央公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大による市有施設一斉閉館のため中止 (令和2年度は展示のみ実施)</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加団体</td> <td>中止</td> <td>13団体</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>中止</td> <td>327人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○川内公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加団体</td> <td>中止</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>中止</td> <td>中止</td> </tr> </tbody> </table> <p>○大畑公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加団体</td> <td>中止</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>中止</td> <td>中止</td> </tr> </tbody> </table> <p>○脇野沢公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加団体</td> <td>中止</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>中止</td> <td>中止</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度	令和2年度	参加団体	中止	13団体	来場者数	中止	327人		令和3年度	令和2年度	参加団体	中止	中止	来場者数	中止	中止		令和3年度	令和2年度	参加団体	中止	中止	来場者数	中止	中止		令和3年度	令和2年度	参加団体	中止	中止	来場者数	中止	中止
	令和3年度	令和2年度																																					
参加団体	中止	13団体																																					
来場者数	中止	327人																																					
	令和3年度	令和2年度																																					
参加団体	中止	中止																																					
来場者数	中止	中止																																					
	令和3年度	令和2年度																																					
参加団体	中止	中止																																					
来場者数	中止	中止																																					
	令和3年度	令和2年度																																					
参加団体	中止	中止																																					
来場者数	中止	中止																																					

予算	<p>予算総額 383,850 円</p> <p>(内訳) 報償費 198,000 円</p> <p>消耗品費 129,850 円</p> <p>役務費 56,000 円</p>	決算	<p>決算総額 73,134 円</p> <p>(内訳) 報償費 0 円</p> <p>消耗品費 63,654 円</p> <p>役務費 9,480 円</p>
----	---	----	--

評価	各地区の現状や各種団体の状況を踏まえ、実施・中止の判断を行ったものである。コロナ禍の中では実施できるものが限られるが、日頃の成果の発表や各種団体の活動の活性化に向け、可能な範囲での実施について協議し、開催を検討していくことが求められる。		
----	--	--	--

課題	<p>参加団体・来館者が減少傾向にあり、作品数も少なくなっている。</p> <p>コロナ禍の中、実施できる内容が限られている。</p>	今後の方針	<p>むやみに中止するのではなく、今実施できるものを精査して可能な範囲で開催することで、次年度以降に繋げていく。また急遽中止になった場合の代替開催等についても検討する必要がある。</p>
----	---	-------	---

事業名		社会教育指導員配置事業	
概要	むつ市社会教育指導員に関する規則に基づき、社会教育の振興を図るため、婦人教育分野についての直接指導及び学習相談、並びに社会教育団体の育成を行う目的で、社会教育指導員を配置する。		
計画	○中央公民館に社会教育指導員を1人配置する。 (むつ市社会指導員に関する規則第4条により指導員の委嘱期間は1年とする。ただし、再任を妨げない。)	実績・成果	○社会教育指導員1名配置 ○任期：令和3年4月1日～令和4年3月31日 ○婦人学級や婦人会等女性団体の事業並びに青少年教育事業について指導・支援し、各種教育の振興に効果的な役割を果たした。
予算	予算総額 1,937,000 円 (内訳) 報酬 1,729,000 円 職員手当等 184,000 円 旅費 24,000 円	決算	決算総額 1,776,196 円 (内訳) 報酬 1,569,132 円 職員手当等 183,064 円 旅費 24,000 円
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、婦人芸能発表会、子ども会郷土芸能発表会等の大規模な事業は中止となったが、各地区婦人会及び子ども会の限られた範囲での活動に対して指導及び相談等を行い、団体の育成支援に寄与している。		
課題	各団体とも、少子高齢化や人口減少により会員数が減少し、組織の維持や活動が難しくなっている。	今後の方針	少子化や多様化に即した対応策を検討し、組織の持続に重点を置きながら活動の支援、指導等を継続していく。

事業名		子どもネブタ合同運行支援	
概要	夏休み期間中、創造力と自主性、協調性を養うとともに豊かなふるさとの行事を意識させ郷土愛を育てるために実施されている子どもネブタの運行委員会への支援、事業協力を行う。		
計画	○田名部地区の子どもネブタ運行委員会の支援・合同運行の事業協力を行う。	実績・成果	○子どもネブタ運行委員会において、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止の決定がなされた。
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を中止したことから評価出来ない。		
課題	子どもネブタ合同運行については、運行の中心となる子どもの数が減少し、それに伴い地域の子どもの支援する大人や、合同運行への参加台数も少なくなっている。	今後の方針	開催される場合は、人的援助を積極的に行い、事業継続へ協力していく。

(4) 生涯学習関連施設等との連携促進

事業名		下北美術展の開催	
概要	下北地域の芸術文化の振興を図るため、児童生徒及び高校・一般から書道、絵画、版画、写真の作品を募集し、児童生徒の優秀作品、また、高校・一般の出品作品を展示及び表彰する。下北地方公民館連絡協議会（1市1町3村で構成）が実施する。		
計画	<p>○児童・生徒の部 開催 (絵画、版画、書道)</p> <p>○高校・一般の部 開催 (絵画、写真、書道)</p>	実績・成果	<p>○児童・生徒の部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出品数：2,316点</li> <li>・入賞数：496点</li> <li>・展覧会</li> </ul> <p>期間：令和3年8月7日～22日 場所：中央公民館</p> <p>○高校・一般の部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出品数：67点</li> <li>・入賞数：25点</li> <li>・展覧会</li> </ul> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため展覧会を中止とする代わりにホームページ上で出品作品を公開</p>
予算	<p>予算総額 375,000 円</p> <p>(内訳) 報償費 25,000 円 負担金 350,000 円</p>	決算	<p>決算総額 375,000 円</p> <p>(内訳) 報償費 25,000 円 負担金 350,000 円</p>
評価	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、高校・一般の部は開催内容を大幅に変更し、展覧会も中止としたが、中央公民館内において展示するスペースが確保できたため、入賞作品のみの展示であるが、作品を来館者の目に触れる機会を設けることができた。</p> <p>また、ホームページ上で出品作品を公開するなど、多くの作品を紹介することができたので、展覧会の目的は達成したと考えられる。</p>		
課題	ここ数年、他町村での展覧会（移動展）を行われていない。	今後の方針	下北美術展は地域の芸術文化の振興に寄与することを目的とした事業であるため、他町村においても展覧会（移動展）を開催してもらおうよう呼びかけ、多くの地域の方々に芸術に触れていただく機会を増やしていく。

事業名		市民大学一日体験入学	
概要	大学での講義・実技講習等の体験を通じ、キャンパスライフを肌身で感じることであり、学ぶ楽しさを実感してもらい生涯学習の一層の充実を図る。		
計画	○青森明の星短期大学一日体験入学	実績・成果	○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
予算	予算額 0 円	決算	決算額 0 円

評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を中止したため、評価出来ない。		
課題	一日体験入学のニーズはあるものの、市外での体験入学となるため、参加できる人数に限りがあり、遠距離の移動は負担が大きい。	今後の方針	令和4年度より、青森大学むつキャンパスが開設したことから、そこで一日体験入学できないか検討してみる。

(5) 視聴覚ライブラリーの活用

事業名	視聴覚ライブラリーの運用		
概要	既存の視聴覚教材を広報等によるPRを行いながら活用の促進を図る。		
計画	○教材目録の整理及びホームページ等に掲載してPRを行う。 ○全国視聴覚教育連盟からの情報収集	実績・成果	○視聴覚教材利用状況 ・DVD 96本 延べ96人 ○全国視聴覚連盟負担金10,000円の納付
予算	予算総額 10,000 円 (内訳) 負担金 10,000 円	決算	決算総額 10,000 円 (内訳) 負担金 10,000 円
評価	来館して初めて公民館に視聴覚教材(DVD)があることを知る市民の方も多かったので、PR方法を検討しながら広報していく必要がある。		
課題	・再生機器がなくなってきているVHSビデオテープ等貸し出しがほとんどない。 ・情報の多様化時代において、既存の視聴覚教材では、多くの視聴覚者のニーズに応えることができない。	今後の方針	・教材目録の整理を行いながら、広報に重点を置きながら視聴覚教材の活用を図っていく。 ・VHSビデオテープ等は著作権の関係もあるため、まずは自主制作したものについて他の媒体に移行するなど保存活用を検討する。

■ 公民館（中央、川内、大畑、脇野沢）の重点項目の評価 ■

<p>公民館の利用者数は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために公民館の閉鎖や利用制限等の措置が取られたことにより、人数は令和2年度よりは若干上回ったものの、新型コロナウイルス感染症が流行する前に比べ5割程度の利用となっている。</p> <p>公民館の主催事業については、市内の各種イベント等が中止されている中で、公民館まつり等一部の事業は中止となったものの、ほとんどの事業を感染予防対策を取りながら実施することができ、コロナ禍の中において、できる範囲での市民が望む学びの場を提供することができた。</p> <p>今後も感染予防対策を念頭に置きながら市民の学習ニーズに応え、可能な範囲で学習の場の確保に努めていく。</p>
--

## 5 図書館

### ■ 重点項目の点検（令和3年度の具体的な取組状況） ■

#### （1）図書館施設の適正管理

事業名		照明器具LED化改修事業	
概要	照明器具の経年劣化により、不点灯箇所が多く見受けられることから快適な読書環境を確保し、且つ経費節減を目的に現在の外観を変えることなく照明器具のLED化を図る。		
計画	○照明器具のLED化改修工事  ○非常用照明器具のLED化改修工事	実績・成果	○LEDに交換したことにより館内が明るくなり快適な読書環境が確保できた。 23,100,000円  ○非常用照明器具をLEDに改修した。 3,410,000円
予算	予算総額 30,019,000 円 (内訳) 工事請負費 30,019,000 円	決算	決算総額 26,510,000 円 (内訳) 工事請負費 26,510,000 円
評価	外観を変えることなく、快適な読書環境を確保し且つ、経費節減を目的に照明器具のLED化の改修工事を計画どおり実施できた。		
課題	LED化により、電気使用料の削減が期待できるが、それ以上に不必要な点灯が無いよう節電に努める。	今方後の針	来館者に快適な読書環境を提供するよう、適正な維持管理を行う。

事業名		施設・設備の整備事業	
概要	開館して20年以上が過ぎ建物及び設備、機器類に不具合が多くなってきている。快適な読書環境を提供するために施設、設備の整備を図る。		
計画	○空調設備の改修 (令和3年度から計画的に改修) ※事務室・視聴覚ホール・会議室・集会室・玄関ホール  ○防火設備の改修  ○新型コロナウイルス感染症対策水道設備改修工事	実績・成果	○事務室系統空調設備改修工事 9,680,000円  ○排煙窓・排煙オペレーター修繕工事 1,292,500円  ○水道設備改修工事 (蛇口3箇所を非接触水栓に交換) 212,300円
予算	予算総額 11,653,000 円 (内訳) 工事請負費 11,653,000 円	決算	決算総額 11,184,800 円 (内訳) 工事請負費 11,184,800 円
評価	計画した施設、設備の整備を図ることができ、快適な読書環境を提供することができた。		
課題	開館して20年以上が過ぎ建物及び設備、機器類に不具合が多くなってきている。	今方後の針	劣化等で破損した部分に関してはその都度対応し、設備及び機器類については、計画的に更新、改修を進めていく。



(2) 資料の収集・保存と活用

事業名		資料の購入																																					
概要	最新情報の把握と利用者のリクエストによる新刊図書の購入や基本的な図書の更新、話題性のある図書の購入、AV資料の更新・購入を図り利用者のニーズに応じていく。																																						
計画	<p>○小説、思想・哲学、歴史、社会科学（法律、経済、教育等）、自然科学（物理・化学、医学等）、技術（工学、機械、家政等）産業、芸術の全ての分野を網羅した選書を行い、年鑑、白書、統計等、年度更新が必要な資料について、利用者のニーズに応じた購入を定期的に行う。</p>	実績・成果	<p>○購入数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般：1,652冊</li> <li>・児童：628冊</li> <li>・郷土：43冊</li> <li>・AV資料：34点（内朗読CD12点）</li> </ul> <p>○蔵書状況（令和4年3月31日時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>前年度</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般</td> <td>120,288</td> <td>121,624</td> <td>▲ 1,336</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>40,745</td> <td>42,016</td> <td>▲ 1,271</td> </tr> <tr> <td>郷土</td> <td>20,224</td> <td>20,566</td> <td>▲ 342</td> </tr> <tr> <td>非図書</td> <td>25</td> <td>24</td> <td>▲ 1</td> </tr> <tr> <td>図書計</td> <td>181,282</td> <td>184,230</td> <td>▲ 2,948</td> </tr> <tr> <td>雑誌</td> <td>4,544</td> <td>4,467</td> <td>▲ 77</td> </tr> <tr> <td>AV</td> <td>4,346</td> <td>4,728</td> <td>▲ 382</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>190,172</td> <td>193,425</td> <td>▲ 3,253</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度	前年度	増減	一般	120,288	121,624	▲ 1,336	児童	40,745	42,016	▲ 1,271	郷土	20,224	20,566	▲ 342	非図書	25	24	▲ 1	図書計	181,282	184,230	▲ 2,948	雑誌	4,544	4,467	▲ 77	AV	4,346	4,728	▲ 382	合計	190,172	193,425	▲ 3,253
	令和3年度	前年度	増減																																				
一般	120,288	121,624	▲ 1,336																																				
児童	40,745	42,016	▲ 1,271																																				
郷土	20,224	20,566	▲ 342																																				
非図書	25	24	▲ 1																																				
図書計	181,282	184,230	▲ 2,948																																				
雑誌	4,544	4,467	▲ 77																																				
AV	4,346	4,728	▲ 382																																				
合計	190,172	193,425	▲ 3,253																																				
予算	<p>予算総額 4,800,000 円                      (内訳) 備品購入費 4,800,000 円</p>	決算	<p>決算総額 4,703,389 円                      (内訳) 備品購入費 4,703,389 円</p>																																				
評価	<p>損傷や劣化が激しい児童書の更新、法改正や技術革新により現状にそぐわなくなっている社会科学・自然科学・技術分野の更新をすることが難しく、利用者のニーズに応じているとはいえない。</p>																																						
課題	<p>損傷や劣化が激しい児童書の更新、法改正や技術革新により現状にそぐわなくなっている社会科学・自然科学・技術分野の更新が必要。</p>	今後の方針	<p>経過年数や各分野の蔵書構成を把握し、図書館ICT化事業を進めながら更新を図っていく。</p>																																				

事業名		寄贈資料受入	
概要	郷土資料の受け入れや、団体からの寄贈の申し出に対応するとともに、雑誌スポンサー制度を周知し、資料提供の機会を広げる。		
計画	<p>○寄贈資料の受領に関する取扱基準に基づき、受入処理を適切に行う。</p> <p>○雑誌スポンサー 雑誌の購入費用を負担してもらい、提供いただいた最新号のカバーにスポンサーの名称や広告を掲載する。</p>	実績・成果	<p>○寄贈の状況 1,428冊</p> <p>○団体寄贈 3団体 (寄贈品：図書)</p> <p>○雑誌スポンサー 3者（4誌）</p>
予算	<p>予算額 0 円                      (内訳) 円</p>	決算	<p>決算額 0 円                      (内訳) 円</p>

評価	寄贈資料の受け入れ時期が年度末に集中することから、登録、装備等に時間がかかり、利用者へ新しい図書の貸出がすぐにできなかった。		
課題	市民からの寄贈の申し出の多くが、受領基準に達しない図書のためお断りしている。受け入れ不可の理由に納得のいかない方も少なからずいる。	今後の方針	受領基準の説明とともに、その根拠についても明確に説明を行いつつ、企業・団体からの寄贈の受け入れも積極的に行っていく。

事業名	資料の貸出事業			
概要	図書館運営の基礎となる、資料の貸出をスムーズに行うとともに、利用者の利便性に配慮した特別貸出やリクエストの受付を行う。			
計画	<p>○蔵書点検や年末年始の休館中にも図書を読めるよう、特別貸出を実施する。</p> <p>○蔵書数の少ない分館の利用者へ本館と同様に図書館サービスが受けられるようリクエストサービスを受け付ける。</p>	実績・成果	<p>○蔵書点検や年末年始の休館中にも図書を読めるよう、貸出期間を長くする特別貸出を実施した。</p> <p>○利用状況 別表のとおり</p> <p>○リクエスト受付件数 川内分館 23件 大畑分館 46件 脇野沢分館 40件</p>	
予算	予算額 (内訳)	0 円 円	決算 (内訳)	0 円 円
評価	臨時休館の為利用人数は減少したが、令和2年度末に規則改正し貸出上限数を変更した結果、貸出冊数は増となり利用者から好評であった。			
課題	貸出冊数上限を引き上げたこととの因果関係は、はっきりしていないが、資料の未返却件数が増加している。	今後の方針	未返却者への督促方法や紛失した場合の弁償方法を他機関も参考にしながら検討していく。	

別表 各図書館（室）等の利用状況

		3年度	2年度	増減
本館	人数	34,001	35,652	▲ 1,651
	冊数	140,238	149,514	▲ 9,276
移動	人数	1,728	1,730	▲ 2
	冊数	5,954	5,489	465
川内	人数	105	103	2
	冊数	418	278	140
大畑	人数	376	347	29
	冊数	1,104	1,147	▲ 43
脇野沢	人数	203	213	▲ 10
	冊数	385	388	▲ 3



自殺予防週間に伴う図書の展示  
(健康づくり推進課との協働)

(3) 図書館サービス活動の充実

事業名		図書館協議会の開催	
概要	図書館協議会は、図書館法第14条の規定により、図書館の運営に関し、館長の諮問に応じるとともに、図書館の行うサービスについて館長に意見を述べる。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図書館協議会の開催               <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員定数：10人以内</li> <li>・任期：2年</li> </ul> </li> <li>○会議の開催と先進地視察の実施</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図書館協議会委員：9人               <ul style="list-style-type: none"> <li>・任期：令和3年5月1日～令和5年4月30日</li> </ul> </li> <li>○協議会の開催               <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回：令和3年5月28日</li> <li>・第2回：令和4年2月（書面会議）</li> </ul> </li> </ul>
予算	予算総額 265,000 円 (内訳) 報酬 176,000 円 費用弁償 89,000 円	決算	決算総額 82,393 円 (内訳) 報酬 52,000 円 費用弁償 30,393 円
評価	図書館協議会の改選時期であったため、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め委嘱状交付式を実施。事業報告及び事業計画について説明。それ以後に関しては書面会議にて状況を説明し委員から理解を得て実施した。		
課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら会議の開催をどのように開催していくかが求められる。	今後の方針	定期的を開催し、様々な知見からの助言をいただく機会を確保する。あらゆる感染防止対策をし、また、それでも開催が困難な場合は書面会議の円滑実施にも努める。

事業名		図書館奉仕員配置事業	
概要	図書館奉仕員の有する技能・技術を市民対象の講習会等へ活用し、図書活動及び図書サービスの充実を図るため継続した任用を行う。また、図書館業務の中で最も重要であるレファレンス（調査相談業務）への対応を行う。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図書館奉仕員を配置し、窓口サービスの充実を図る。</li> <li>○レファレンス（調査相談業務）への対応</li> <li>○図書館奉仕員を講師とした一般向け講習会を実施する。（ブックコート講習、修理講習）</li> <li>○大人向け英語絵本読書会の実施</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図書館奉仕員（会計年度任用職員）配置人数：12人</li> <li>○レファレンス件数：27件</li> <li>○ブックコート講習会 5月20日（金） 6名参加</li> <li>○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止               <ul style="list-style-type: none"> <li>・こわいおはなしの会</li> <li>・大人の英語絵本読書会</li> </ul> </li> </ul>
予算	予算総額 23,307,000 円 (内訳) 報酬 20,735,000 円 職員手当 2,197,000 円 旅費 375,000 円	決算	決算総額 23,275,151 円 (内訳) 報酬 20,793,111 円 職員手当 2,131,640 円 旅費 350,400 円 ※決算総額のうち17,000,000円は、電源立地地域対策交付金
評価	カウンター業務は熟練した奉仕員が揃っているので、利用者の要求に迅速に対応できている。		
課題	図書館及びサービスについては、役割を十分果たしているが、レファレンスに関しては、年々複雑化してきているため個々のスキルアップが必要である。	今後の方針	多様化しているレファレンスについては、ニーズに応えるように研修会及び講習会へ積極的に参加出来るように、又、リモート可能な環境づくりを整える。

事業名		移動図書館車の運行業務委託	
概要	本館から離れた遠隔地に居住する市民へ移動図書館車を運行し、図書館資料の利用拡大を図る。		
計画	○小・中学校、幼稚園、保育所、公民館、集会所等19ステーションに5月から12月まで毎週火～金曜日、年間107日運行を行う。	実績・成果	○運行期間 令和3年5月11日～12月16日(95日間) ※運行休止 8月31日～9月9日 感染症防止 ○利用人数：1,728人 ○貸出冊数：5,954冊
予算	予算総額 902,000 円 (内訳) 委託料 902,000 円	決算	決算総額 900,900 円 (内訳) 委託料 900,900 円
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため運休したが、貸出冊数は昨年より多かった。感染拡大防止策を講じ移動図書館利用者のニーズに応えることができた。		
課題	利用者の多くが児童である。利用者を獲得するには、一般利用者への周知も必要である。	今方後の針	令和4年度の新移動図書館車巡回に合わせ、広報活動及び新規事業や、他機関とも協力しながら新たな利用者獲得に努める。

事業名		相互貸借事業																									
概要	むつ市立図書館で所蔵のない資料を全国の図書館から借用して利用者へ貸出することで利用者のニーズに応える。																										
計画	○利用者のリクエストに応じ、県内外の図書館の所蔵を調査し、借用依頼する。 ○他の図書館からの借用依頼にも対応する。	実績・成果	○相互貸借件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">借受</td> <td>652点</td> <td>703点</td> <td>▲ 51</td> </tr> <tr> <td>(県内:595点)</td> <td>(県内:621点)</td> <td>▲ 26</td> </tr> <tr> <td>(県外: 57点)</td> <td>(県外: 82点)</td> <td>▲ 24</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">貸出</td> <td>203点</td> <td>247点</td> <td>▲ 44</td> </tr> <tr> <td>(県内:160点)</td> <td>(県内:220点)</td> <td>▲ 60</td> </tr> <tr> <td>(県外: 43点)</td> <td>(県外:27)</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度	令和2年度	増減	借受	652点	703点	▲ 51	(県内:595点)	(県内:621点)	▲ 26	(県外: 57点)	(県外: 82点)	▲ 24	貸出	203点	247点	▲ 44	(県内:160点)	(県内:220点)	▲ 60	(県外: 43点)	(県外:27)	16
	令和3年度	令和2年度	増減																								
借受	652点	703点	▲ 51																								
	(県内:595点)	(県内:621点)	▲ 26																								
	(県外: 57点)	(県外: 82点)	▲ 24																								
貸出	203点	247点	▲ 44																								
	(県内:160点)	(県内:220点)	▲ 60																								
	(県外: 43点)	(県外:27)	16																								
予算	予算総額 150,000 円 (内訳) 手数料 150,000 円	決算	決算総額 75,457 円 (内訳) 手数料 75,457 円																								
評価	リクエストサービス(予約含む)の約2割強を相互貸借で対応しており、他館と連携しながらリクエスト申込者のニーズに応じている。																										
課題	新刊の場合、多くの図書館で相互貸借の貸出不可期間を数カ月設けているため、利用者のリクエストへ対応が難しい。	今方後の針	新刊のリクエストは相互貸借せず、購入対応するために、脆弱な分野の把握をしつつ図書購入費の予算確保に努める。																								

事業名		各種企画事業	
概要	各種事業を開催することで、図書館に親しんでもらう機会を提供し、読書意欲の向上と来館者の増加を目指す。		
計画	<p>○図書館展示ホールやあすなろホールを使用し、コンサートの開催やAV資料を活用した児童及び一般向け映画の上映会を開催するほか、川島雄三監督映画上映会も実施する。</p> <p>○貸出回数によってポイントがたまるスタンプラリーや、図書館の無料配布を主体としたブックフェスティバル等を開催する。</p>	実績・成果	<p>○日曜シネマ（毎月第2日曜日） 3回上映 参加者：53人 ※7～3月 感染症拡大防止のため中止</p> <p>○映画監督川島雄三上映会 中止</p> <p>○図書館ギャラリーコンサート 中止</p> <p>○スタンプラリー ・夏休み 参加者739人 令和3年7月17日～8月27日 ・読書週間 参加者：712人 令和3年10月31日～11月30日</p> <p>○ぬいぐるみお泊まり会 申込者：35人 ・令和3年10月13日～10月16日</p> <p>○ブックフェスティバル 中止</p> <p>○雑誌付録抽選会 参加者：321人 ・令和4年1月28日～2月13日</p>
予算	<p>予算総額 167,000 円</p> <p>(内訳) 消耗品費 50,000 円 映像資料上映許諾使用料 117,000 円</p>	決算	<p>決算総額 107,138 円</p> <p>(内訳) 消耗品費 41,138 円 映像資料上映許諾使用料 66,000 円</p>
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、上半期の事業を中心に中止の事業が多かった。また、市の大規模接種事業の業務従事により事業計画の縮小があったが、実施した事業については好評であった。		
課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により中止した事業が多くあった。アフターコロナを見据えた企画実施方法を検討する必要がある。	今後の方針	日々の感染症対策の他、不特定多数が集まるイベントにおける対策を検討・実施していくが、参加者個々の意識の違いに対応していく必要がある。

事業名		詩歌コンクール事業	
概要	詩、短歌、俳句、川柳の4部門において、創作に対する関心を高め、読書と創作のつながりを設けることと、読書意欲向上のため詩歌コンクールを実施する。		
計画	<p>○応募資格 むつ市在住及びむつ市通勤・通学者</p> <p>○応募方法 ・作品は未発表のオリジナル作品 ・各部門とも、小学生・中学生・高校生・一般ごとに審査する</p>	実績・成果	<p>○むつ市詩歌コンクール ・募集期間 令和3年8月1日～9月10日 ・表彰式 中止 ・作品展示 令和3年11月19日～12月6日 ・応募作品数：1,613点 ・応募者数：1,591人 ・入賞作品数：190点</p>
予算	<p>予算総額 219,000 円</p> <p>(内訳) 報償費 172,000 円 消耗品費 47,000 円</p>	決算	<p>決算総額 163,153 円</p> <p>(内訳) 報償費 126,000 円 消耗品費 37,153 円</p>

評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、表彰式は中止。図書館職員も市の大規模接種事業に参加することによって事業の縮小があり、制限付の作品募集となったことにより昨年度より大幅に減となった。		
課題	応募作品は少なかったが、作品の中には、剽窃や盗作と見られる作品もあり、応募者への周知や倫理観の醸成が必要である。また、応募作品のデータ化に多くの業務時間が割かれている。一般参加者の常連化が顕著である。	今後の方針	応募作品のデータ化については、A I - O C R の活用を検討し、業務の効率化を目指す。一般部門の廃止等内容のスリム化を目指す。

※A I - O C R…手書きの書類の読み取りを行い、データ化するO C RへA I 技術を活用すること

事業名	集会施設の貸出事業		
概要	市民の身近な公共施設として、社会教育活動及び生涯学習の推進及び支援をする。		
計画	○市民の社会教育及び生涯学習の活動場所を提供するため集会施設の貸出を行う。	実績・成果	○集会施設の利用状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・集会室 : 96回 961人</li> <li>・会議室 : 117回 820人</li> <li>・視聴覚ホール : 34回 738人</li> <li>・展示ホール : 21回 772人</li> </ul>
予算	予算額 0 円 (内訳) 円	決算	決算額 0 円 (内訳) 円
評価	施設の改修及び新型コロナウイルス感染症拡大を受け、図書館の休館、集会施設の貸出制限のもと利用者数は減少となった。		
課題	施設の老朽化に伴い、建物及び設備関係に不具合を生じて生きている、利用者に不自由を強いている。	今後の方針	修繕、工事に関しては計画的に改修していく。設備、備品に関して施設単独でなく教育委員会全体として計画的に更新していく。

#### (4) 子どもの読書活動の推進

事業名	子育て・子ども向け事業		
概要	季節に関連した図書やテーマ展示を行い、子どもたちの読書活動の意欲を高める。図書館見学や映画上映会、工作教室を企画し、図書館に親しむ機会を増やし、読書推進へつなげる。		
計画	○児童の特別展示・季節の展示	実績・成果	○特別展示:23回・季節の展示:15回 ○夏休み工作教室 参加者4名 令和3年8月20日 ○以下の事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども見学ツアー</li> <li>・夏休み子ども映画劇場</li> <li>・冬休み子ども映画劇場</li> <li>・冬休み親子工作教室</li> <li>・乳幼児健診への協力</li> </ul>
予算	予算総額 15,000 円 (内訳) 消耗品費 15,000 円	決算	決算額 0 円 (内訳) 消耗品費 0 円

評価	児童の特別展示・季節の展示は貸し出しも多く利用者のニーズに応じている。その他の事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止したため評価できない。		
課題	幼児のソーシャルディスタンスの確保が困難なため、会場・実施方法を含め対策を検討する必要がある。	今後の方針	市及び県のイベント開催方針に沿いながら、事業の運営を実情と合うように柔軟に対応し、感染リスク軽減に努める。

事業名		おはなし会等の開催	
概要	子ども向けの読み聞かせや紙芝居の上演を行うおはなし会を毎週開催し、季節ごとに大規模なおはなし会を開催して子どもたちの読書推進を図る。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎週土曜日開催「土曜おはなし会」</li> <li>○季節の「おはなし会」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・はるのひのおはなし会</li> <li>・あきのひのおはなし会</li> <li>・ふゆのひのおはなし会</li> </ul> </li> <li>○「こわいおはなし会」</li> <li>○国際交流員による英語の読み聞かせ（ムチュリーディング）</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「土曜おはなし会」 午後2時～2時30分 31回：延べ158人</li> <li>○季節の「おはなし会」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・はるのひのおはなし会 令和3年5月15日：17人</li> <li>・ふゆのひのおはなし会 令和3年12月18日：20人</li> </ul> </li> <li>※あきのひのおはなし会は中止</li> <li>○「こわいおはなし会」中止</li> <li>○ムチュリーディング 毎月第1水曜日 9回：延べ81人 (9月、2月、3月が中止)</li> </ul>
予算	予算総額 12,000 円 (内訳) 消耗品費 12,000 円	決算	決算総額 5,775 円 (内訳) 消耗品費 5,775 円
評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、上半期の事業は中止したが、再開後の事業のいくつかは参加者が前年度より増となっており、参加者からも好評であった。		
課題	事業の安定的な運営も必要だが、マンネリ化している部分もある。	今後の方針	事業のマンネリ化を防ぐため情報提供をしつつ、高校や大学との連携を図り新たな企画を取り入れ、参加者の増加を目指す。

事業名		職場体験・見学の受け入れ	
概要	学校からの依頼により館内見学や利用体験、調べ学習の場として活用いただくとともに、職場体験学習の受け入れを積極的に行う。		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市内及び郡内の学校及び幼稚園から図書館見学・職場体験学習を連絡調整し受け入れる。</li> </ul>	実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設見学 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 (11校)：249人</li> </ul> </li> <li>○職場体験（インターンシップ） <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校 (3校)：11人</li> <li>・短期大学 (1校)：1人</li> </ul> </li> </ul>
予算	予算額 0 円 (内訳) 円	決算	決算額 0 円 (内訳) 円

評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため施設見学の受け入れができない期間があったが、感染防止対策をし学校関係者のニーズに応えることができた。		
課題	職場体験の時期が重なり、一部の学校しか受付できない。新型コロナウイルス感染症の影響により、県外大学等からのインターンシップの受け入れに制限がある。大規模校の施設見学の対応に人員が多く必要となる。	今後の方針	県外大学等からの職場体験は、対策及び健康観察を行った上で、受け入れが可能となるよう関係部署と検討する。大規模校の施設見学時の対応を新たに検討する。

(5) 人と本をつなげるまちづくり事業の推進

事業名	移動図書館車の購入		
概要	移動図書館車（ほほえみ号）も20年が経過し、エンジン及び車体全体に老朽化が進み運行に支障を来していることから、安全に安心して巡回サービスを提供出来るよう移動図書館車を購入する。		
計画	○移動図書館車の購入	実績・成果	○移動図書館車購入 契約期間（仮契約も含め）議決後本契約 令和3年6月5日～令和4年3月31日 23,042,690円 （令和4年度へ繰越明許）  物品購入変更 ①受注者において移動図書館車を製作するにあたり、新型コロナウイルス感染症の影響による輸入部品等の不足のため、土台となるトラックの入荷に遅延が生じ年内の納入が困難となったため。 納入期限 令和4年5月31日 ②受注者より移動図書館車の外観ラッピングについて、協議が必要なため日程調整を行ったが、受注者が指定した期日まで協議できず回答が遅れ5月末の納車が困難となったため。 納入期限 令和4年6月30日
予算	予算総額 23,753,000 円  （内訳） 旅 費 110,000 円 役 務 費 57,000 円 備品購入費 23,568,000 円 公 課 費 18,000 円	決算	決算額 0 円 繰越明許 23,043,000 円  （内訳） 旅 費 0 円 役 務 費 0 円 備品購入費 0 円 公 課 費 0 円
評価	令和3年度内に事業を完了できなかった。遠隔地の学校、保育園（幼稚園）、福祉施設及び地域の方々に巡回サービスの提供を令和4年度当初から行うことができなくなった。		
課題	学校、保育園（幼稚園）の巡回時間が昼休み集中するので巡回するスケジュールを組むのが難しい。	今後の方針	遠隔地だけでなく、市内でも希望があれば巡回したい。そのためにも巡回時間及びスケジュールの組立方の検討が必要である。



事業名		移動図書館車での新規事業の検討・準備	
概要	<p>コロナ禍において、図書館への来館が困難になることや、控える方が増える状況が続くことが想定されるため、新しい生活様式に沿った対応が求められる。そのためにも、「会いに来る図書館」と称した移動図書館車の役割が大きくなる。</p>		
計画	<p>○おでかけおはなし会 本を紹介しながら保育園や学校（なかよし会）、公園で読み聞かせを実施する。</p> <p>○出張図書館 市内のイベントへ参加し、イベントのコンセプトで選書を行い、会場で貸出する。</p> <p>○宿題お助け隊 夏休みの自由研究、読書感想文、なかなか手が付かない宿題をお手伝いするため、テーマに沿った児童書を持って、夏休み中学校や公園などに出張する。</p> <p>○ボランティア活動の拡大 青森明の星短期大学下北キャンパスの保育専攻の学生や青森大学むつキャンパスの学生がボランティアを行う場を提供する。</p>	実績・成果	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止や市の大規模接種事業による図書館事業の縮小等で中止。</p>
予算	<p>予算額 0 円 (内訳) 円</p>	決算	<p>決算額 0 円 (内訳) 円</p>
評価	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止により事業計画を中止したため評価できない。</p>		
課題	<p>中止したため課題が見つからなかった。</p>	今後の方針	<p>図書館の利用者及び移動図書館車の利用者のニーズを把握し、事業内容を再度検討していく。</p>

### ■ 図書館の重点項目の評価 ■

<p>図書館での読書環境が快適であるよう施設の修理・改修が実施できた。今後も計画的に進めて行きたい。</p> <p>蔵書については予算内で常に新鮮で適切な資料等の収集・整備を行っており、図書館機能の充実に繋がっているが部分的にしかできていない分野もあり、今後も継続していく必要がある。</p> <p>新型コロナウイルス感染症により中止した事業も多く、今後は感染症対策を念頭に置いて事業を進めて行く必要がある。</p>
--



雑誌付録抽選会の様子



ブックコート講習会の様子

## 点検・評価対象事務事業一覧（令和3年度）

担当課	重点項目		
	重点項目の内容		
	具体的な事業	むつ市総合経営計画における施策内容	頁
総務課	(1) 安全・安心で夢を育む教育環境の整備		
	学校統合による通学手段の確保		
	スクールバス運行管理事業	3-(1)-①学力の向上	8
	まさかり高校、下北Projectの推進		
	まさかり高校医学部進学・特進コース事業	3-(1)-①学力の向上	9
	下北Project（学びのイノベーション）事業	3-(1)-③夢を育む教育	9
	GIGAスクール端末等購入事業	3-(1)-①学力の向上	10
	学校情報通信環境管理運営事業	3-(1)-①学力の向上	10
	小学校大規模改修事業(市立苫生小学校空調改修工事)	3-(1)-①学力の向上	11
	〃 (市立第二田名部小学校空調改修工事)	3-(1)-①学力の向上	11
	(2) 教職員の適正・適切な配置		
	学校現場の実情の的確な把握		
	県費負担職員の任免、服務、その他の人事管理	3-(1)-①学力の向上	12
	(3) 通学区域制度の適切な運用及び再編		
	通学区域制度の運用の適切なあり方に係る調査研究・検討		
	むつ市通学区域審議会の設置	3-(1)-①学力の向上	12
	(4) 学校規模の適正化に係る研究・検討		
	複式学級の解消、その他の学校規模の適正化に係る調査研究・検討		
	学校規模適正化のための地域説明会等の開催	3-(1)-①学力の向上	13
	(5) 就学困難な児童生徒等に係る就学援助		
	就学困難な児童生徒に係る就学援助事業の推進		
	要保護児童生徒援助事業	3-(1)-①学力の向上	14
	準要保護児童生徒援助事業	3-(1)-①学力の向上	14
	特別支援教育就学奨励事業の推進		
	医療的ケア児童生徒就学支援事業	3-(1)-①学力の向上	15
	特別支援教育就学奨励事業	3-(1)-③夢を育む教育	15
	(6) コミュニティ・スクール制度の推進		
	学校運営協議会の推進		
	学校運営協議会の設置	3-(1)-④地域とともにある学校	16
	(7) 奨学金制度の充実		
	奨学金制度に係る住民への啓発		
	奨学金貸付事業	3-(1)-③夢を育む教育	16
	奨学金事業の推進		
次代を担うプラチナ人材育成プロジェクト (未来人材育成奨学金プロジェクト)	2-(1)-④医療体制の充実	17	
(8) 学校保健の充実			
学校保健会及び関係団体と相互協力を図る			
健康診断委託事業	3-(1)-②体育・健康教育の充実	18	
学校保健事業に係る学校施設整備の安全点検・安全管理の徹底			
学校医委託事業	3-(1)-②体育・健康教育の充実	19	
学校災害共済給付事業	3-(1)-②体育・健康教育の充実	20	
学校保健会補助事業	3-(1)-②体育・健康教育の充実	20	
学校災害入院補償事業	3-(1)-②体育・健康教育の充実	22	
(9) 学校給食の充実			
学校給食施設の充実			
学校給食管理事業	3-(1)-②体育・健康教育の充実	22	
学校給食衛生管理の徹底			
学校給食設備整備事業	3-(1)-②体育・健康教育の充実	23	
児童・生徒の食生活の改善と体位向上			
(仮称)防災食育センター建設事業	3-(1)-②体育・健康教育の充実	23	

担当課	重点項目		
	重点項目の内容		頁
	具体的な事業	むつ市総合経営計画における施策内容	
生涯学習課	(1) 生涯学習の推進		
	生涯学習・社会教育諸計画の立案・調査・研究		
	社会教育委員の設置	3-(1)-⑤社会教育の充実	2 5
	社会教育事業に関する相談・指導体制の充実		
	社会教育指導員による学習支援	3-(1)-⑤社会教育の充実	2 6
	各種講演・講習会等の開催		
	成人式の開催	3-(1)-⑤社会教育の充実	2 6
	生涯学習関連団体との連携強化		
	自然観察会の開催	3-(1)-⑤社会教育の充実	2 7
	(2) 学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進		
	家庭教育推進の支援		
	放課後子ども教室推進事業	3-(1)-⑤社会教育の充実	2 7
	(3) 社会教育施設の機能充実		
	むつ市海と森ふれあい体験館の管理・運営		
	むつ市海と森ふれあい体験館の管理・運営	3-(1)-⑤社会教育の充実	2 8
	むつ市下北自然の家の管理・運営		
	むつ市下北自然の家の管理・運営	3-(1)-⑤社会教育の充実	2 9
	(4) 芸術・文化活動の奨励と振興		
	芸術鑑賞機会の提供		
	むつ市文化賞・文化奨励賞受賞者作品展示	3-(1)-⑤社会教育の充実	3 0
	文化活動の推進と関連団体の育成		
	東京藝術大学出身演奏家による芸術鑑賞教室	3-(1)-⑤社会教育の充実	3 0
	(5) 郷土の文化遺産の保護・保存と活用		
文化財の調査・研究			
むつ市文化団体、民俗芸能の保存と伝承等支援事業	3-(1)-⑥文化の充実・文化財の保存活用	3 1	
文化財の保護保存と活用			
文化財保護審議会の設置	3-(1)-⑥文化の充実・文化財の保存活用	3 1	
文化財収蔵庫の管理・運営	3-(1)-⑥文化の充実・文化財の保存活用	3 2	
北の防人大湊式番館の活用とガイド活動支援	3-(1)-⑥文化の充実・文化財の保存活用	3 3	
文化財・自然調査事業	3-(1)-⑥文化の充実・文化財の保存活用	3 4	
埋蔵文化財発掘調査事業	3-(1)-⑥文化の充実・文化財の保存活用	3 4	
田名部館遺跡本発掘調査事業	3-(1)-⑥文化の充実・文化財の保存活用	3 5	
文化財保護保存管理事業	3-(1)-⑥文化の充実・文化財の保存活用	3 6	
重要文化財保存修理事業(二枚橋2遺跡出土品)	3-(1)-⑥文化の充実・文化財の保存活用	3 7	
// (旧大湊水源地水道施設)	3-(1)-⑥文化の充実・文化財の保存活用	3 8	
学校教育課	(1) 小中一貫教育の充実		
	小中一貫教育ブロック研究の推進		
	9ブロックでの小中一貫教育推進研究	3-(1)-①学力の向上	3 9
	9年間の教育課程の研究推進		
	むつ市小中一貫教育推進委員会開催	3-(1)-①学力の向上	3 9
	小中一貫教育非常勤講師の配置と活用		
	小中一貫教育非常勤講師配置	3-(1)-①学力の向上	4 0
	(2) 質の高い教育課程の創造		
	指導の方針と重点の周知徹底		
	指導の方針と重点に関する指導・支援	3-(1)-①学力の向上	4 1
幼稚園・保育園・小学校との情報交換			
幼稚園・保育園と小学校の情報交換	3-(1)-①学力の向上	4 1	

担当課	重点項目		
	重点項目の内容		
	具体的な事業	むつ市総合経営計画における施策内容	頁
学校教育課	(3) 学力向上対策の充実		
	学力調査・知能検査の実施		
	総合学力調査・知能検査実施	3-(1)-①学力の向上	4 2
	教員の指導力向上		
	活用力育成講座開催	3-(1)-①学力の向上	4 2
	思考力・判断力・表現力等の向上		
	研究大会への派遣助成	3-(1)-①学力の向上	4 3
	デジタル教科書購入	3-(1)-①学力の向上	4 3
	新聞を活用した学習への支援	3-(1)-①学力の向上	4 4
	(4) 生徒指導の充実と関係機関との連携強化		
	学校環境適応感尺度「アセス」の実施		
	生徒指導検査実施	3-(1)-③夢を育む教育	4 4
	むつ市いじめ防止基本方針に基づく対策の点検及び評価		
	むつ市いじめ問題対策委員会開催	3-(1)-③夢を育む教育	4 5
	いじめ防止に向けた児童生徒の主体的活動		
	むつ市いじめ防止宣言フォーラム	3-(1)-③夢を育む教育	4 5
	(5) 特別支援教育体制の充実		
	スクールサポーターの配置と活用		
	スクールサポーター配置	3-(1)-③夢を育む教育	4 6
	教育支援・就学相談の充実		
	むつ市就学事務説明会・就学相談研修会開催	3-(1)-③夢を育む教育	4 6
	特別支援教育推進委員会の充実		
	むつ市特別支援教育推進委員会開催	3-(1)-③夢を育む教育	4 7
	(6) 教育相談活動の充実		
	むつ市教育相談室の充実		
	むつ市教育相談室開設	3-(1)-③夢を育む教育	4 7
	自立支援相談員配置	3-(1)-③夢を育む教育	4 8
	適応指導教室開設	3-(1)-③夢を育む教育	4 8
	(7) 国際化に対応する教育と、郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進		
	外国語指導助手（ALT）の配置と活用		
	外国語指導助手配置	3-(1)-③夢を育む教育	4 9
	国際交流事業の推進		
	むつ市ジュニア大使派遣事業	3-(1)-③夢を育む教育	5 0
中華民国陽明国民中学との友好交流	3-(1)-③夢を育む教育	5 0	
地域理解の促進			
ジオパーク体験活動推進	3-(1)-④地域とともにある学校	5 1	
(8) 教育研修センター講座等の充実			
教職員研修講座の充実			
教職員研修講座開設	3-(1)-①学力の向上	5 1	
(9) 弘前大学との連携強化			
センター講座との連携強化			
教育研修センター講座等連携	3-(1)-①学力の向上	5 2	
ラボ・バス実験教室実施			
学生との交流	3-(1)-③夢を育む教育	5 2	
健康課題の解決			
「健康の未来」を変えるプロジェクト授業	3-(1)-②体育・健康教育の充実	5 3	
(10) キャリア教育の充実			
児童・生徒の夢をはぐくむ体験の充実			
むつ市子ども夢育成基金	3-(1)-③夢を育む教育	5 3	
むつ市こども議会	3-(1)-③夢を育む教育	5 4	
むつ市中学生夢はぐくむ体験入学事業	3-(1)-③夢を育む教育	5 4	
関係機関との連携	3-(1)-③夢を育む教育	5 5	
ゲストティーチャーによる講演会の開催			
キャリア教育推進事業	3-(1)-③夢を育む教育	5 5	

担当課	重点項目		
	重点項目の内容		
	具体的な事業	むつ市総合経営計画における施策内容	頁
公民館 (中央、川内、大畑、脇野沢)	(1) 公民館の適正管理と運営の充実		
	中央館・地区館の管理運営体制の確立		
	公民館運営審議会委員の委嘱	3-(1)-⑤社会教育の充実	5 6
	地区館長・分館長の委嘱	3-(1)-⑤社会教育の充実	5 6
	公民館施設・設備の整備		
	中央公民館照明器具LED化事業等	3-(1)-⑤社会教育の充実	5 7
	(2) 公民館事業の推進		
	青少年教育事業の充実		
	子ども向け各種講座開設	3-(1)-⑤社会教育の充実	5 8
	かきぞめ大会の開催	3-(1)-⑤社会教育の充実	5 9
	成人教育事業の充実		
	市民大学及び各種講座開設	3-(1)-⑤社会教育の充実	6 0
	婦人教育事業の充実		
	婦人学級開催	3-(1)-⑤社会教育の充実	6 1
	地区館・分館活動の充実		
	分館地域づくり講座開催	3-(1)-⑤社会教育の充実	6 2
	(3) 社会教育関係団体等の育成支援		
	社会教育関係団体の自主性・自立性の確立		
	各団体への指導・助言	3-(1)-⑤社会教育の充実	6 2
	サークル活動の推進		
	公民館まつりの開催	3-(1)-⑤社会教育の充実	6 3
	社会教育指導員の有効活用		
	社会教育指導員配置事業	3-(1)-⑤社会教育の充実	6 4
	社会教育関係団体等の支援		
	子どもネブタ合同運行支援	3-(1)-⑤社会教育の充実	6 4
	(4) 生涯学習関連施設等との連携促進		
	下北地方公民館連絡協議会との連携		
下北美術展の開催	3-(1)-⑤社会教育の充実	6 5	
大学等高等教育機関との連携			
市民大学一日体験入学	3-(1)-⑤社会教育の充実	6 5	
(5) 視聴覚ライブラリーの活用			
視聴覚機器・教材の利用促進			
視聴覚ライブラリーの運用	3-(1)-⑤社会教育の充実	6 6	
図書館	(1) 図書館施設の適正管理		
	図書館施設・設備の整備		
	照明器具LED化改修事業	3-(2)-⑤社会教育の充実	6 7
	施設・設備の整備事業	3-(3)-⑤社会教育の充実	6 7
	(2) 資料の収集・保存と活用		
	利用者のニーズに応える資料の収集		
	資料の購入	3-(1)-⑤社会教育の充実	6 8
	地域資料の充実		
	寄贈資料受入	3-(1)-⑤社会教育の充実	6 8
	資料の利用促進		
	資料の貸出事業	3-(1)-⑤社会教育の充実	6 9
	(3) 図書館サービス活動の充実		
	図書館協議会の設置		
	図書館協議会の開催	3-(1)-⑤社会教育の充実	7 0
	図書館奉仕員の配置と活用		
	図書館奉仕員配置事業	3-(1)-⑤社会教育の充実	7 0
	移動図書館車の効率的運行		
移動図書館車の運行業務委託	3-(1)-⑤社会教育の充実	7 1	
関連機関との連携促進			
相互貸借事業	3-(1)-⑤社会教育の充実	7 1	

担当課	重点項目		
	重点項目の内容		
	具体的な事業	むつ市総合経営計画における施策内容	頁
図書館	図書館の利用促進		
	各種企画事業	3-(1)-⑤社会教育の充実	7 2
	詩歌コンクール事業	3-(1)-⑤社会教育の充実	7 2
	社会教育活動の支援		
	集会施設の貸出事業	3-(1)-⑤社会教育の充実	7 3
	<b>(4) 子どもの読書活動の推進</b>		
	子供の読書活動推進事業の展開		
	子育て・子ども向け事業	3-(1)-⑤社会教育の充実	7 3
	関係機関との連携促進		
	おはなし会等の開催	3-(1)-⑤社会教育の充実	7 4
	学校への支援		
	職場体験・見学の受け入れ	3-(1)-⑤社会教育の充実	7 4
	<b>(5) 人と本をつなげるまちづくり事業の推進</b>		
	移動図書館車の更新事業		
	移動図書館車の購入	3-(1)-⑤社会教育の充実	7 5
移動図書館車での新規事業の検討・準備	3-(1)-⑤社会教育の充実	7 6	





令和4年度  
むつ市教育委員会の事務の点検及び  
評価に関する報告書  
－ 令和3年度の実績 －

編 集 むつ市教育委員会総務課  
発 行 むつ市教育委員会  
発行年月 令和4年8月